Orthodontic Suite

MOS



Rx only

ME-UG-702K-US
Revision 9 (2026.10)
SW version 2.3.2

Progressive Orthodontics USA
135 Columbia #101, Aliso Viejo
California 92656, United States

Table of contents

Medit Orthodontic Suite

記号 5

概要および一般情報 6

デバイスの操作 6

意図された用途と免責事項 6

使用適応 7

対象ユーザー 7

警告 7

注意事項 7

禁忌 8

手動による決定への影響 8

市販ソフトウェア 8

AI/MLの使用 8

相互運用性とインターフェース 9

サイバーセキュリティの安全性 9

システム要件 10

ハードウェア要件 10

ソフトウェア要件 11

インストールガイド 11

データ管理 13

入力データ 13
出力データ 13
ケースデータの準備 13
3Dデータコントロール 14
ケースの保存 16
ユーザーインターフェース 17
タイトルバー 18
データツリー 19
操作コントロールボタン 19
ツールボックス 20
サイドツールバー 22
ビューキューブ 24
指導リクエスト 25

ワークフロー

ワークフロー 27
データ編集 29
咬合表 34
歯の識別 36
セファロトレース 41
セファロの重ね合わせ 43
歯列弓フォームの選択 45
噛み合わせの分類 47

シミュレーションプレビュー 49
結果の概要 57
アライナー 57
ブラケット 71

別表

別表 74
Medit Aligners設計サービス 75
アライナーの注文とエクスポート 80

記号

番号	記号	説明
1		ユーザーガイドをお読みください
2		ユーザーガイドを参照
3		注意
4		警告
5		処方箋での使用(米国)
6		ソフトウェアのリリース日
7		メーカー
8		ヒント

概要および一般情報

デバイスの操作

Medit Orthodontic Suite（旧称：Progressive Orthodontics）は革新的なアプリ（FDA 21 CFR 801.109に準拠した処方のみ）であり、歯科医療従事者が最も一般的な歯科矯正治療のリアルで再現可能なシミュレーションを数分で生成できます。 口腔内スキャンとオプションの頭部X線撮影を利用し、いくつかの基本的なランドマークを識別すると、このアプリは各ケースに対して3〜9の一般的な治療オプションを含む予想される結果を即座に表示します。



注意

詳細については、以下の「データ管理」、「ユーザーインターフェース」、および「ワークフロー」の章を参照してください。

意図された用途と免責事項

このソフトウェアは、データ検証分析手法を利用して、患者の診察中に視覚的補助として使用することを目的としています。 生成されたシミュレーション結果は、医療ガイダンスの唯一の情報源として使用しないでください。 Meditは、ソフトウェアの間違った伝達または不適切な使用に関して責任を負わず、ソフトウェアからの情報に基づく決定や行為についてユーザーまたは患者のいずれにも責任を負いません。

ユーザーは以下の事項に関して一切の責任を負うものとします。

- 生成された結果とそのさらなる解釈および患者への伝達。
- このソフトウェアによって生成された結果は正確または信頼できない可能性があることを患者に通知すること。
- 生成された結果に基づいた措置と治療の決定。



注意

このソフトウェアアプリケーションは、患者の人体計測スキャンデータを変更しません。このデータは、Medit Scanソフトウェアの3Dグラフィック描写ツールを通じて表示されるため、医療従事者が引き続きアクセスできます。

⚠ 注意

Medit Orthodontic Suiteは、SmileStreamサービス(指導用)と統合されています。 Meditはこれらのサービスのパフォーマンスや品質に関連するいかなる問題についても責任を負いませんのでご了承ください。 お問い合わせや問題がある場合は、SmileStreamサポートチームにお問い合わせください。

使用適応

Medit Orthodontic Suiteアプリは、矯正歯科モデル、系統的検査、詳細分析、治療シミュレーション、仮想器具設計オプションを管理するフロントエンドソフトウェアツールとして使用することを目的としており、逐次アライナートレイまたはリテーナーに使用できます。 これらのアプリケーションは、矯正治療を開始する前の患者歯列の3Dスキャンに基づいています。 また、治療中にも適用して、治療の進行状況を検査および分析することもできます。 治療の最後に使用して、結果が計画された/望ましい治療目標と一致しているかどうかを評価できます。

本プログラムを使用するには、矯正歯科の実践に必要なトレーニングと専門知識を持っていて、本ソフトウェアの使用に関する専用のトレーニングを受けている必要があります。

対象ユーザー

本ソフトウェアの対象ユーザーグループは、矯正歯科を行っている歯科医院で働いている歯科医師および歯科医療従事者です。

警告

- 米国連邦法により、本ソフトウェアの使用は歯科医師または免許を有する歯科医療従事者に制限されています。
- 歯科矯正治療は不快感を引き起こす可能性があり、こ特に調整後にはその傾向が顕著です。 患者は歯や歯茎の痛みを経験する場合があります
- 長期にわたる歯科矯正治療は歯根吸収を引き起こし、歯根が短くなることがあります。
- 歯列矯正器具を使用すると口腔衛生の維持が難しくなり、虫歯、歯周病、脱灰のリスクが高まります。
- 歯科矯正治療を成功させるには、患者が器具を装着し、定期的に診察を受けることが不可欠です。

注意事項

- Medit Orthodontic Suiteアプリを使用するには、矯正歯科に必要なトレーニングと専門知識を持っていて、本ソフトウェアの使用に関する専用のトレーニングを受けている必要があります。

- これはソフトウェア専用のデバイスです。 アライナーなどの物理的な製品は、FDA(米国食品医薬品局)の規制対象となる医療機器であり、市販前承認を受け、FDAに登録・届出されている製造元によって製造される必要があります。
- アプリを使用する前に、病歴の確認を行い、出血性疾患、心臓病、糖尿病など、治療を複雑にする可能性のある状態を確認してください。
- 治療中は、患者が定期的に歯科検診を受けるようにして、口腔の健康状態をモニタリングしてください。
- コンタクトスポーツに参加する患者は、マウスガードを使用して、歯列矯正器具と歯の両方を怪我から保護するようにしてください。

禁忌

本ソフトウェアは、以下の患者に対するシミュレーションを生成するために使用しないでください。

- 活動性疾患:活動性口腔疾患のある患者の場合、症状を悪化させるリスクがあるため、歯科矯正治療は禁忌です。 歯周病、虫歯、および歯内/根尖疾患は、歯科矯正治療を開始する前に解決する必要があります。
- 重度の骨量減少:歯の周囲で骨量が著しく減少すると、歯の安定性が損なわれる可能性があるため、歯科矯正治療ができなくなる場合があります。
- 重度の顎関節症:重度の顎関節症(TMJ)は、歯科矯正治療によって悪化する可能性があるため、慎重に評価する必要があります。
- 特定の全身性疾患:コントロールされていない糖尿病、特定の心臓疾患、骨粗しょう症などの疾患はリスクが増大するため、歯科矯正治療が禁忌となることがあります。
- 口腔衛生の不良:適切な口腔衛生を維持できない、または維持する意思のない患者は、合併症のリスクが高いため、歯科矯正治療に適さない可能性があります。

手動による決定への影響

このアプリが提供する情報と選択肢に基づいて、歯科医師がすべての決定を行うため、手動による決定には影響はありません。

市販ソフトウェア

市販ソフトウェアは使用しません。

AI/MLの使用

AI/MLの使用は、頭部X線画像上の点の識別に限定されます。 関連するアルゴリズムは、同じ入力が適用されるたびに同じ結果を返すようにロックされており、使用によって変化しません

相互運用性とインターフェース

幅広い3Dソフトウェアとの相互運用性を実現するために、STL、OBJ、PLYなどの標準形式に加えて、当社独自のmeditMesh形式をサポートしています。 Medit Orthodontic Suiteアプリは、Meditスキャナーとは別の独立したソフトウェアであり、両者の間に直接のユーザーインターフェースはありません。 このアプリは、Medit Linkおよびプロセス間通信(IPC)プロトコルを介して内部的に定義されたAPIを使用して、STLファイルのパス情報のみを受信します。

サイバーセキュリティの安全性

サイバーセキュリティレベル:レベル3(高)

Medit Orthodontic Suiteアプリは、患者データの機密性、整合性、可用性を保護するために強力なサイバーセキュリティ対策を採用しています。 このアプリはHIPAAやGDPR などの業界標準および規制に準拠しています。 本アプリケーションはMedit Linkからダウンロードされ、SmileStreamサービスと統合されます。 Medit LinkソフトウェアとSmileStreamはどちらもAWSによってホストされており、AWS Firewall Managerを使用しています。

使用方法

- ユーザー認証:許可されたユーザーのみがMedit Orthodontic Suiteアプリにアクセスできるようにします。 固有のユーザー名とパスワード資格情報を使用してログインします。 アカウントの設定またはパスワードのリセットについては、システム管理者にお問い合わせください。
- データ暗号化:Medit Orthodontic Suiteは、保存時および転送中に機密性の高い患者データを暗号化します。 本ソフトウェアにアクセスする際は、安全なインターネット接続を使用し、推奨されるセキュリティプロトコルに従ってください。
- セキュアなアクセス:Medit Orthodontic Suiteアプリには、信頼できるデバイスとMedit Linkからのみアクセスします。 不正アクセスや傍受を防ぐため、患者データへのアクセスには公共のWi-Fiや共有デバイスを使用しないでください。
- インシデント報告:疑わしいアクティビティ、セキュリティインシデント、潜在的なデータ侵害が発生した場合は、直ちにシステム管理者またはITセキュリティチームに報告してください。 迅速な調査と解決のために、確立されたインシデント報告手順に従ってください。
- 定期的な更新:最新のセキュリティパッチと更新プログラムを適用して、Medit Orthodontic Suiteアプリを最新の状態に保ってください。 ソフトウェアの更新を定期的に確認し、速やかに適用して既知の脆弱性に対処し、サイバーセキュリティ防御を強化します。 データは定期的にバックアップし、ハードウェアの「復元」機能がオンになっていることを確認してください。
- セキュリティ意識:矯正歯科ソフトウェアに関連するサイバーセキュリティのベストプラクティスと脅威について最新情報を入手します。 サイバーセキュリティ意識向上トレーニングセッションに参加し、患者データの保護とシステムセキュリティの維持に関する推奨ガイドラインに従ってください。

セキュリティ関連連絡先情報

	システム管理者	ITセキュリティチーム
名前	Derrick Sanchez	Diana Fernández
メール	derrick@posortho.com	diana@posortho.net
電話	(714)973-2266 #109	+34 946361097
フリーダイヤル番号	(800)443-3106	(800)443-3106

コンプライアンス宣言

Medit Orthodontic Suiteアプリは、HIPAA、GDPR、業界のベストプラクティスなど、関連するサイバーセキュリティ規制と標準に準拠しています。 このアプリは患者データを保護し、最高水準のサイバーセキュリティを確保するように設計されています。

> ⚠ **免責事項**
>
> Medit Orthodontic Suiteアプリは強力なサイバーセキュリティ対策を採用していますが、推奨されるセキュリティ慣行に従い、潜在的な脅威に対して警戒を怠らないことが重要です。 ソフトウェアプロバイダーは、ユーザーの過失やセキュリティ指示の不遵守によって生じた損害については責任を負いません。

システム要件

ハードウェア要件

	Windows	macOS
CPU	Intel Core i5 2.6GHz以降	8コア以上
チップ	-	M1/M2以上
RAM	16GB以上	16GB以上

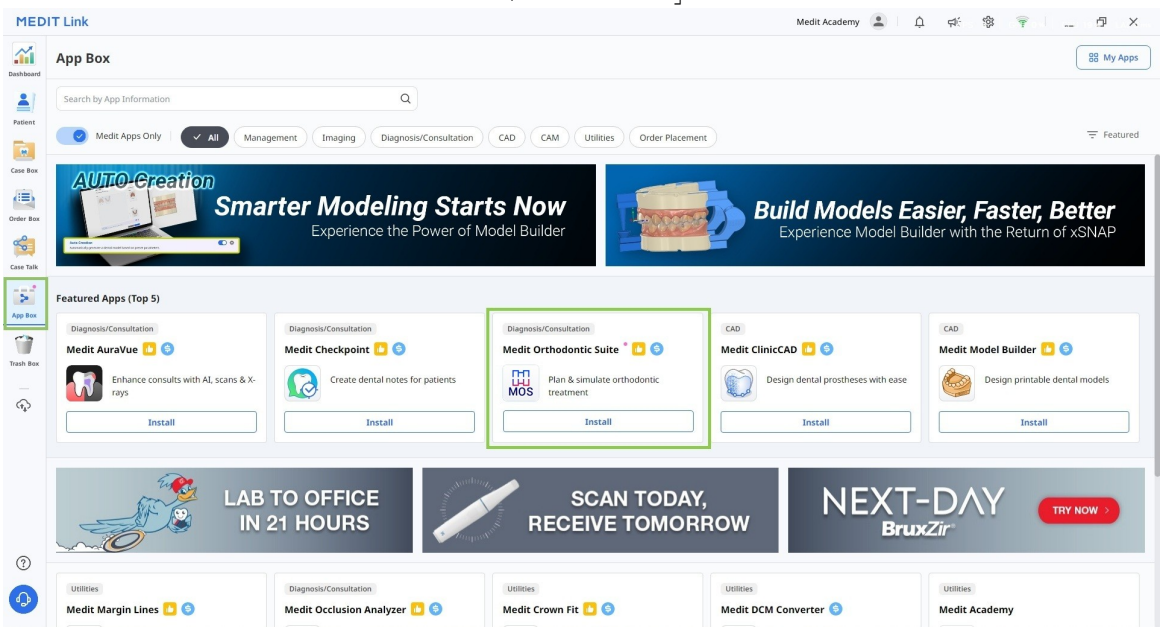
	Windows	macOS
グラフィックカード	NVIDIA GeForce GTX 1060（2 GB）以上	-

ソフトウェア要件

	Windows	macOS
OS	Windows 10 64ビット Windows 11 64ビット	Sonoma 14以降

インストールガイド

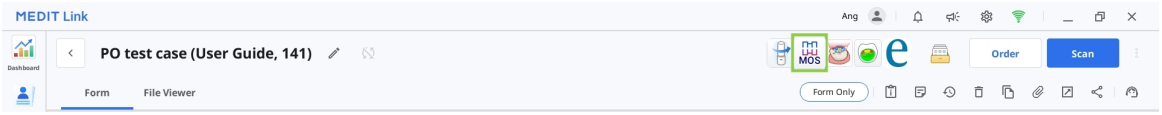
1. Medit Linkアカウントにログインし、左側のメニューでApp Boxに移動します。
2. Medit Orthodontic Suiteアプリを見つけて、「インストール」をクリックします。



3. アプリがダウンロードされ自動的にインストールされます。 インストールプロセスが完了するまでに数分かかる場合があります。PCの電源をオフにしたり、Medit Linkを閉じないでください。

> ⚠ **警告**
>
> CUDAのインストールはスキップしないでください。セファロデータと関連機能の使用を有効にするにはこれが必要です。 これがないと、プログラムの機能が制限されます。

4. アプリがインストールされると、ケースの詳細画面の右上隅にあるアプリアイコンをクリックして Medit Linkのいずれかのケースから起動できます。



5. プログラムをアンインストールするには、App Boxを開き、Medit Orthodontic Suiteアプリを探します。 アプリカードを選択し、詳細ページを開き、「アンインストール」をクリックします。

データ管理

入力データ

アプリケーションを起動したら、┌データの割り当て┘ダイアログから次のデータをインポートする必要があります。

- 3D口腔内スキャンデータ(STL、OBJ、PLY、meditMesh)
- 2D顔写真および口腔内写真(BMP、JPG、JPEG、PNG)
- 頭蓋測定用およびパノラマX線画像(BMP、JPG、JPEG、PNG)

出力データ

アプリケーションで作業を完了すると、治療シミュレーションの結果が得られ、STL、OBJ、PLY、meditMesh形式で保存できます。

ケースデータの準備

プログラムを使用するには、上顎スキャン、下顎スキャン、頭部X線画像データが必要です。 このアプリは頭部X線画像なしでも使用できますが、シミュレーションが治療の決定ではなく、患者診察のための視覚的補助として生成される場合に限られます。 参考のために、パノラマX線写真、顔写真、口腔内写真などの他の患者記録も含めることができます。

警告

頭部X線画像および関連機能を使用できるようにするには、必ずシステム要件を確認し、CUDAをインストールしてください。

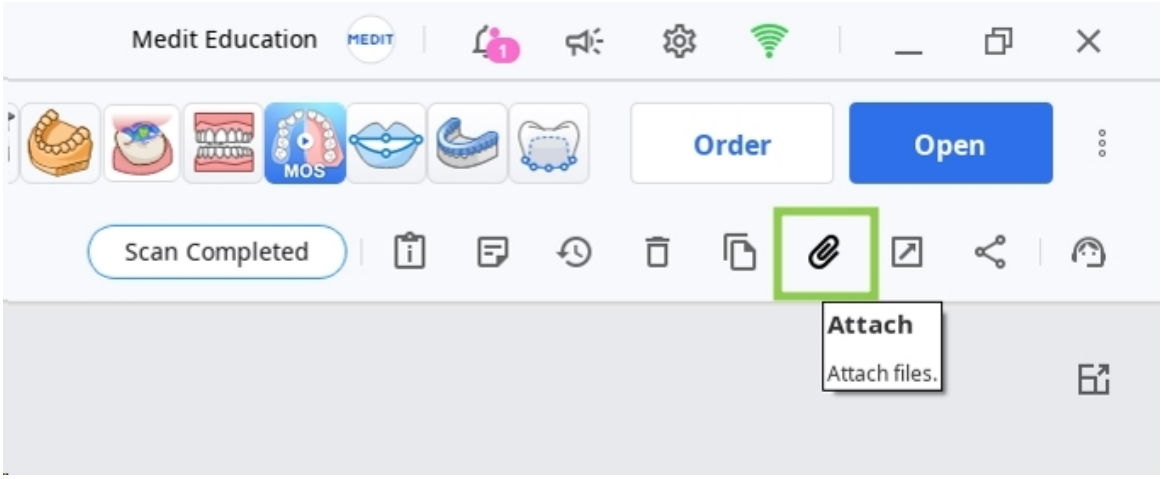
注意

セファロデータがない場合は、次の制限が適用されるので注意してください。

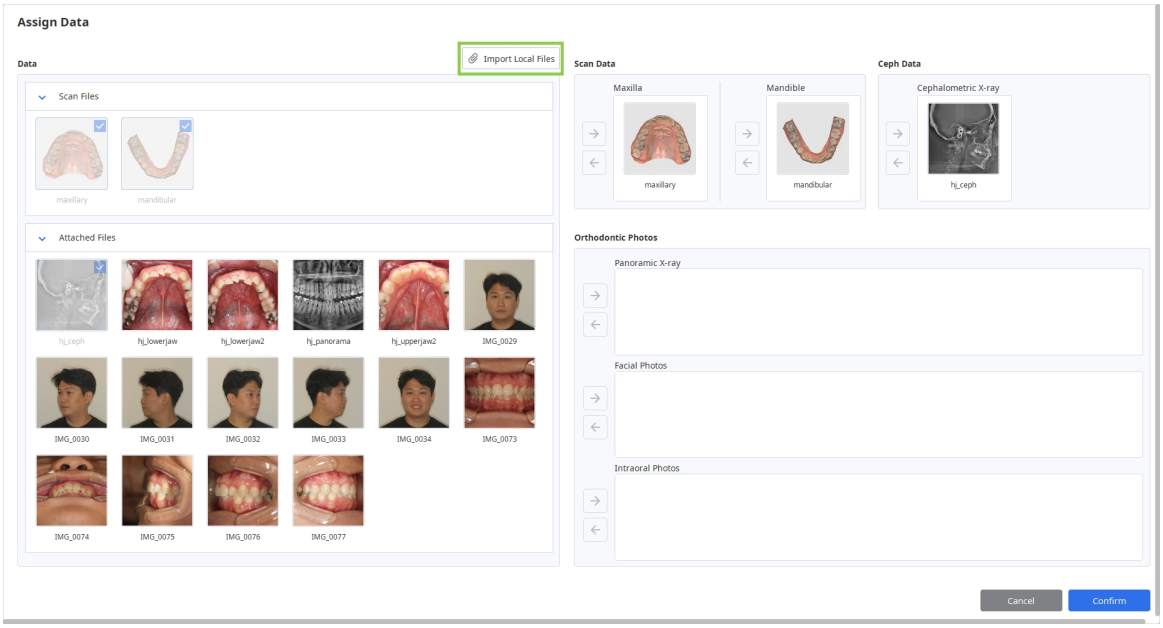
- Witsは自動的に-3〜+3の範囲に設定されます。
- 患者の成長は考慮されません。
- ┌セファロの重ね合わせ┘機能は利用できないため、骨構造上の最終的な歯の位置を視覚化できません。

利用可能なすべてのデータは、プログラムを開いた際に自動的にインポートされるように、同じMedit Linkケースに収集する必要があります。 以下のステップに従って、作業するケースを準備してください。

1. Medit Scanソフトウェアで上顎と下顎をスキャンします。
2. その他の記録(X線写真と矯正写真)をローカルファイルからMedit Linkケースにインポートします。 ┌ケースの詳細┘ウィンドウの┌添付┘機能を使用します。



3. このアプリを実行し、このプロジェクトで使用するデータを割り当てます。 ローカルに保存されているデータも、このステップで┌ローカルファイルをインポート┘機能を使用してインポートできます。



3Dデータコントロール

マウスのみまたはマウスとキーボードの両方を使用して3Dデータをコントロールできます。

マウスを使用して3Dデータをコントロール

ズーム	マウスホイールをスクロールします。	
ズームフォーカス	データをダブルクリックします。	
ズームフィット	背景をダブルクリックします。	
回転	右クリックしてドラッグ。	
パン	両方のボタン(またはホイール)を押したままドラッグ。	

マウスとキーボードを使用して3Dデータをコントロール

	Windows	macOS
ズーム		
回転		
パン		

ケースの保存

ケースプロジェクトを保存するには、「完了」と「名前を付けて保存」の2つの方法があります。

仕上げ

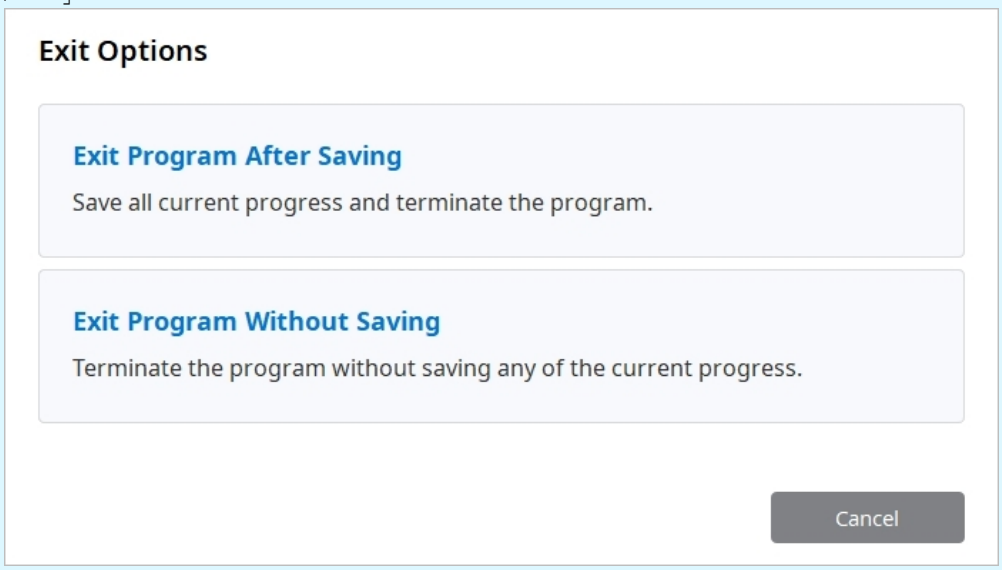
「完了」ボタンは、最後のワークフローステップの右下隅に表示されます。 これをクリックすると、完了したプロジェクトがMedit Linkの現在のケースに保存され、プログラムが閉じられます。

別名で保存

このオプションを使用すると、進行状況を失うことなく、いつでも未完了のプロジェクトを保存できます。 この機能は、ケースの作業を一時停止し、後で再開する場合に使用します。 これを使用するには、タイトルバーのメニューに移動し、「名前を付けて保存」を選択します。 次回同じケースからこのプログラムを実行すると、保存したプロジェクトを続行するかどうかを尋ねられます。

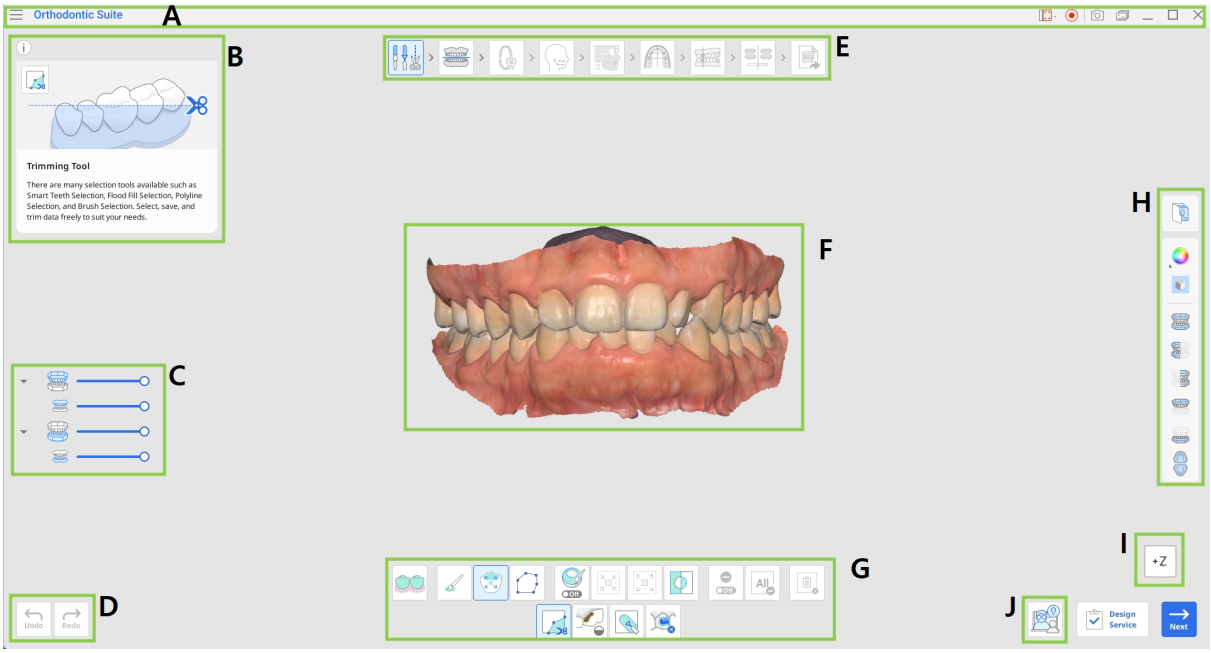
注意

「終了」をクリックしても、作業を保存することができます。



ユーザーインターフェース

ユーザーインターフェースの一覧



A	タイトルバー
B	情報ボックス
C	データツリー
D	操作コントロールボタン
E	ワークフロー
F	3Dデータ
G	ツールボックス
H	サイドツールバー
I	ビューキューブ
J	指導リクエスト

注意

これは主要な要素の概要なので注意してください。 一部のインターフェース要素は、各ワークフローステップの内容に応じて若干異なる場合があります。

タイトルバー

タイトルバーは、アプリケーション画面の上部にあるリボンで右側に基本コントロール、左側にプログラムメニューがあります。 ここにはアプリ名と開かれたケース名も表示されます。

	メニュー	開いたプロジェクトの管理、使用可能なヘルプ情報へのアクセス、アプリ詳細の確認を行います。
	ヘルプセンター	このアプリ専用のMeditヘルプセンターページに移動します。
	動画の録画領域を選択	動画録画用に録画する領域を指定します。
	動画録画を開始する	画面の動画録画を開始・停止します。
	スクリーンショット	スクリーンショットを撮ります。 自動選択を使用してタイトルバーあり、またはなしでアプリを撮影またはクリック&ドラッグして希望する領域のみを撮影します。
	スクリーンショットマネージャー	スクリーンショットを表示、エクスポートまたは削除します。 完了したら、すべての撮影された画像は自動的にケースに保存されます。

ー	最小化	アプリケーション画面を最小化します。
□	復元する	アプリケーション画面を最大化または復元します。
×	終了	アプリケーションを閉じます。

データツリー

データ ツリーは画面の左側、情報ボックスの下にあり、使用しているデータがグループで表示されます。 ツリー内のアイコンをクリックしてデータを表示または非表示にしたり、対応するスライダーを動かしてデータの透明度を変更できます。



注意

データツリーの有無や構造は、各ステップのの目的によって異なるので注意してください。

操作コントロールボタン

ワークプロセス全体をコントロールする4つのボタンがあります。 これらのボタンはアプリケーションウィンドウの左右下隅にあります。

[完了]ボタンは最終ステップでのみ表示されます。

元に戻す	前の操作に戻します。
やり直す	直前の操作をやり直します。
次へ	変更を適用し、次のステップに移動します。
仕上げ	ケースの作業を終了し、Medit Linkに結果を保存します。
完了	現在のツールで行った変更を保存し、前のワークフローステップ(歯の方向と治療の調整で利用可能)に戻ります。

ツールボックス

各ステップのツールボックスには、そのステップの主な目標を達成するのに必要な機能が用意されています。 以下は、ワークフロー全体にわたるツールボックスにある機能の説明です。

データ編集

	トリミングツール	さまざまな選択ツールを使用して、不要なデータを選択および削除します。
	穴の充填	3Dメッシュデータの空いているスペースを埋めます。
	スカルプティング	ツールを使用してデータをスカルプティングし、そのパーツを追加、削除、モーフ、またはスムースにします。
	アタッチメント削除	スキャンデータ内に取得されているアタッチメント領域を切り離し、削除します。

咬合平面板/セファロの重ね合わせ

	点を削除	最後に追加した点を削除します。
	データ分離	整列をリセットし、データを当初の位置に移動します。 データ上の点を選択して、手動で揃えます。

歯の識別

	成長期の患者の設定	性別(男性/女性)、年齢、歯の成熟度など、患者の成長に関する情報を提供します。

セファロトレース

	編集	自動的に生成されたトレース線を修正します。
	リセット	自動トレースの結果を復元します。

歯列弓フォームの選択

	対称	正中線に対する歯列弓の左側と右側の対称性を評価するための垂線を表示します。

シミュレーションプレビュー

	歯の向き	シミュレーション1.1に基づき歯の向きを確認し、調整します。 サブツールを使用すると、歯に対して「回転」、「アンギュレーション(傾斜)」、「インクリネーション(トルク)」などの操作を行うことができます。
	デンタルコンペンセーション(歯性補償)	前方のコンペンセーションの傾きを調整して患者の骨格タイプに一致させます。

結果の概要

	治療の調整	生成される治療結果をより良くするために歯の運動、歯列弓フォーム、IPR値、デフォルトのアタッチメントを微調整します。
	治療プラン	詳細な治療プランを確認してください。

サイドツールバー

サイドツールバーには、データコントロールと視覚化のためのツールセットと、いくつかのステップ固有のツールが用意されています。 サイドツールバーの構成は現在のステップの目的によって異なります。

画像管理

	矯正写真	ケースからインポートした写真やレントゲンを参照します。

データ表示ツール

	データ表示モード	異なるデータ表示オプション間で変更します。 (光沢あり/光沢なし/エッジ付き光沢なし/モノクロ/エッジ付きモノクロ)
	グリッド表示(mm)	データにグリッドを重ねて表示します。

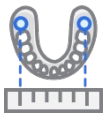
表示ツール

	正面ビュー	データの正面側を表示します。
	右水平ビュー	データの右水平側を表示します。
	左水平ビュー	データの左水平側を表示します。
	正面ビュー(上顎)	上顎のみの正面側を表示します。
	正面ビュー(下顎)	下顎のみの正面側を表示します。
	咬合面ビュー	上顎と下顎の咬合面を表示します。

視覚化ツール(歯の識別で)

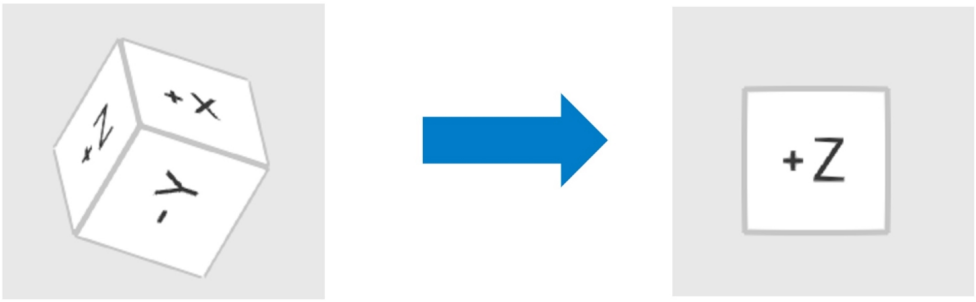
	カラーラベル	歯のタイプごとに歯にカラー分けします。
	ズームフィット	データサイズを画面に合わせます。

シミュレーションレビューツール(「シミュレーションプレビュー」および「結果の概要」)

	歯の運動データ	それぞれの歯についてシフト、チルト、回転など治療中の動かし方をどのように計画するかを確認します。
	ボルトン分析	ボルトン分析の結果表を確認します。
	測定	データ間の空間的な位置関係を測定し検査します。
	アニメーション	アニメーションによるシミュレーションを表示します。
	重ね合わせ	元のスキャンデータとシミュレーションを重ね合わせます。
	セファロを重ねて合わせて比較	シミュレーションをセファログラムに揃えます。
	咬合関係	色で表示された咬合の接触を検査します。

ビューキューブ

ビューキューブは、3Dビュー方向を表示し、3Dデータを同時に回転し3次元でデータの位置を理解できるようになります。 キューブの見える面をクリックして、データを回転させて特定の視点で確認できます。



指導リクエスト

指導リクエスト機能には、各ステップの右下隅からアクセスできます。 クリックすると、ユーザーはSmileStreamにリダイレクトされ、現在のケース情報をProgressive Orthodontic Seminarsの経験豊富なインストラクター(矯正歯科トレーニングとソフトウェアの使用経験が長い有資格の歯科医師)の1人のアカウントにページ上で共有します。 ユーザーは、利用するテクニカルサポートサービスのタイプとしてコンサルティングまたはメンタリングを選択できます。 利用可能なサービスタイプに関する一般情報を以下で確認してください。

注意

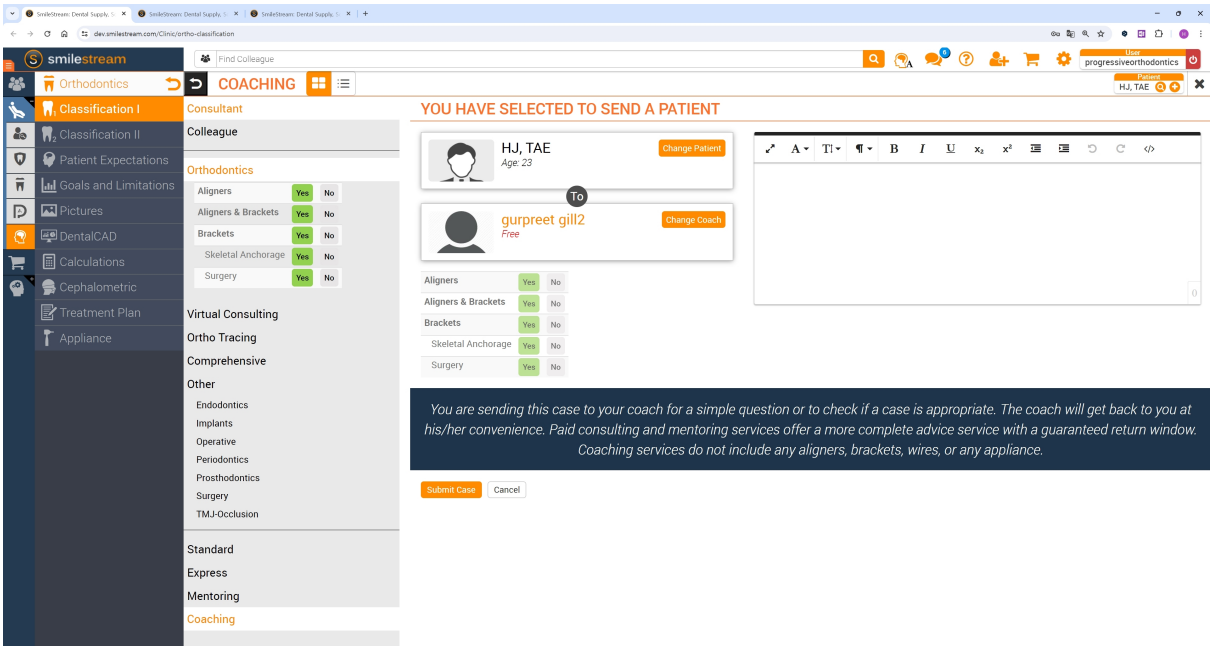
リクエスト送信前に、関連する写真がすべてプロジェクトに添付されているかを確認します。ケース画像を完全に揃えると、指導の質の向上と遅延の可能性の削減に役立ちます。

サービスタイプ	平均コスト	期間
相談する	$300	1〜2時間
メンタリング	$600	3〜4時間

説明
初期診断時にテクニカルサポートを提供します。
初期診断時にテクニカルサポートを提供し、継続的なサポートを提供します。

注意

これはSmileStreamサービスの一般的な紹介です。詳細やお問い合わせについては、SmileStreamにアクセスするか、問題が発生した場合は、support@posortho.netのサポートチームにお問い合わせください。

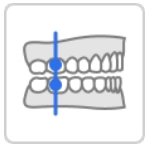

smilestream
Find Colleague
progressiveorthodontics
Orthodontics
Classification I
Classification II
Patient Expectations
Goals and Limitations
Pictures
DentalCAD
Calculations
Cephalometric
Treatment Plan
Appliance
COACHING
HJ, TAE
Consultant
Colleague
Orthodontics
Aligners Yes No
Aligners & Brackets Yes No
Brackets Yes No
Skeletal Anchorage Yes No
Surgery Yes No
Virtual Consulting
Ortho Tracing
Comprehensive
Other
Endodontics
Implants
Operative
Periodontics
Prosthodontics
Surgery
TMJ-Occlusion
Standard
Express
Mentoring
Coaching
YOU HAVE SELECTED TO SEND A PATIENT
HJ, TAE
Age: 23
Change Patient
To
gurpreet gill2
Free
Change Coach
Aligners Yes No
Aligners & Brackets Yes No
Brackets Yes No
Skeletal Anchorage Yes No
Surgery Yes No
You are sending this case to your coach for a simple question or to check if a case is appropriate. The coach will get back to you at his/her convenience. Paid consulting and mentoring services offer a more complete advice service with a guaranteed return window. Coaching services do not include any aligners, brackets, wires, or any appliance.
Submit Case
Cancel

ワークフロー

ワークフロー全体は9つのステップで構成され、データ編集からシミュレーションの生成、そして最終的には治療器具の確認と注文までをユーザーにガイドします。 ユーザーは、これらのステップを指定された順序で完了する必要があります。

> **注意**
>
> 最初にセファロデータが割り当てられていない場合、ワークフローには「セファロトレース」と「セファロの重ね合わせ」のステップは含まれません。

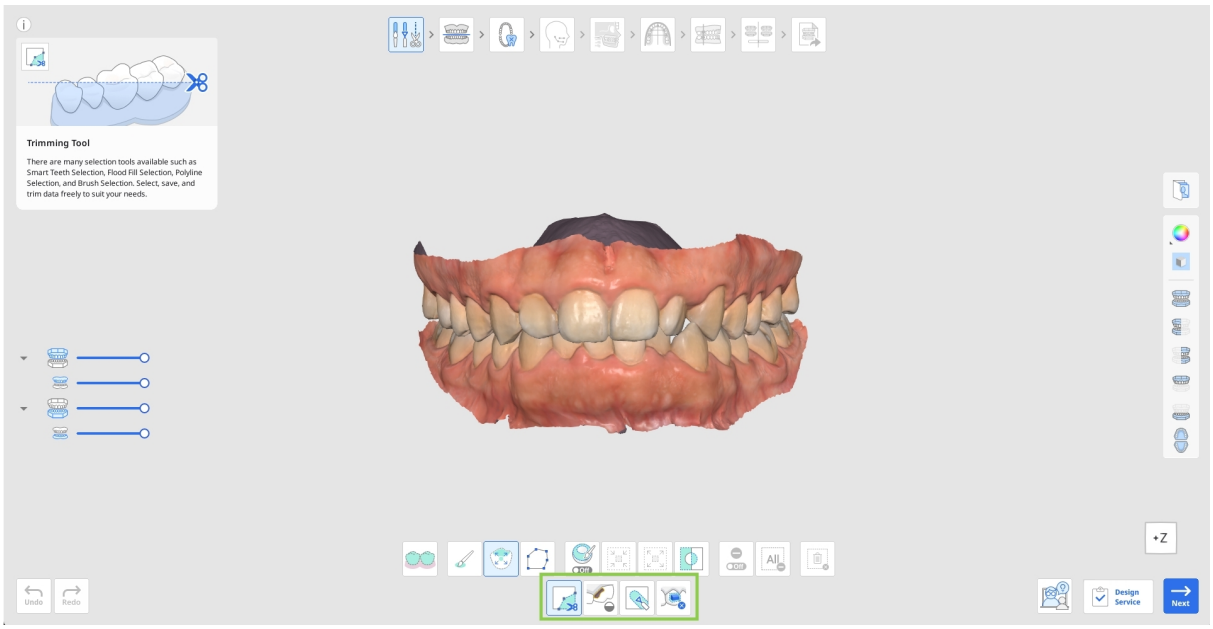
	概要	スキャンデータを確認します。
	データ編集	提供されている様々な機能を使用して、データを編集・トリミングします。
	咬合表	咬合表の位置を設定するためにスキャンデータを面に揃えます。
	歯の識別	患者の歯列を記録します。
	セファロトレース	自動でトレースされた横側面のセファログラムを検査します。
	セファロの重ね合わせ	スキャンデータをセファログラムに揃えます。
	歯列弓フォームの選択	上顎と下顎用の歯列弓フォームを選択します。

	噛み合わせの分類	歯と歯の関係に基づいて噛み合わせを分類します。
	シミュレーションプレビュー	生成されたシミュレーションを検査して、治療シナリオを選択します。
	結果の概要	選択したシナリオの治療詳細を見直します。

データ編集

データの割り当てが完了すると、[データ編集]ステップに進んで、不要な部分をトリミングしたり、メッシュの穴を埋めたり、データをスカルプトしてシミュレーション結果を最適化できます。

データに余分な歯肉データや欠損歯データがないかを確認し、必要な修正を加えます。 スキャンデータにスキャン中に取得した突起物などの不要なものが含まれている場合には、専用の機能を使用して処理する前にそれらを削除します。 完了したら、画面の上部にある次のステップアイコンまたは右下隅の[次へ]ボタンをクリックします。



データのトリミング方法

1. 選択ツールの1つを選択して、削除するデータの部分を指定します。

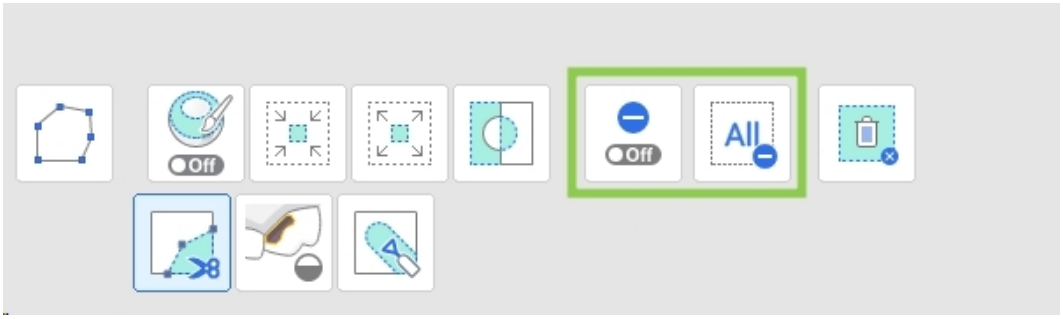
	スマートティース選択	歯肉部分以外の歯列弓/アーチの歯全てを自動で選択します。
	ブラシ選択	画面上に手書きで描かれたパス上のすべてのものを選択します。 前面のみが選択されます。 ブラシには3つのサイズがあります。
	スマートシングルトゥース選択	歯肉の部分を省いて、1本の歯の領域を自動で選択します。 歯の上でマウスをクリックしてドラッグします。

	多角形選択	画面上で描いた多角形内のすべてのものを選択します。

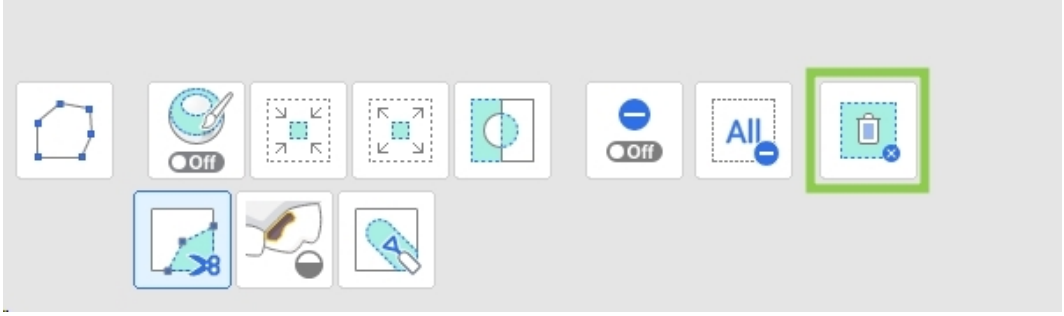
2. 必要に応じて、以下のツールオプションを使用して選択した領域を修正します。

	選択した領域を自動入力する	選択した領域に自動入力します。
	選択領域の縮小	ボタンを押すたびに選択領域が縮小されます。
	選択した領域を拡大	ボタンを押すたびに、選択領域が拡大されます。
	選択済み領域を反転	選択領域を反転します。

- また、[選択解除モード]をオンにして選択範囲を手動で変更したり、[すべての選択範囲を解除]を使用してすべての選択範囲を自動的に解除することもできます。

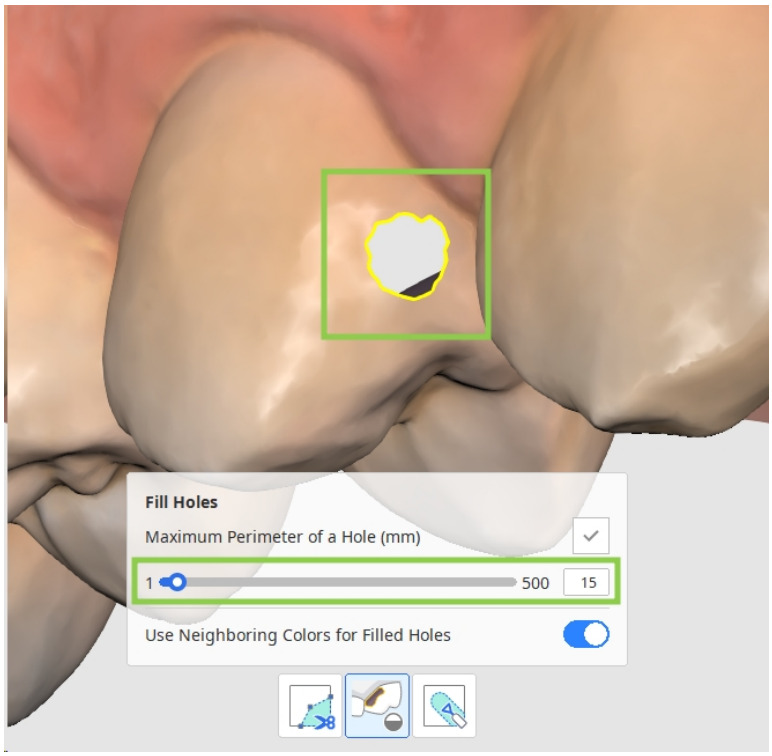


3. トリミングを完了するには、[選択した領域を削除]をクリックします。



穴の充填方法

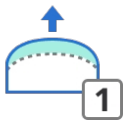
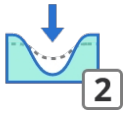
1. 欠落しているデータ領域を特定し、「穴の最大周囲長」を調整します。「充填された穴に隣接色を使用」オプションがオンの場合、プログラムは一致するカラーパレットを使用して領域を埋め、その他の場合にはグレーで埋めます。

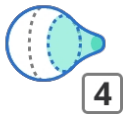


2. 「適用」をクリックし、新しいメッシュで穴を埋めます。

データのスカルプティング方法

修正が必要な領域を特定し、以下のツールを使用して、その部分の追加、削除、スムージング、変形を行うことができます。

	追加	マウスを使用して、データの一部を追加します。 ホットキー:1
	削除	マウスを使用して、データの部分を削除します。 ホットキー:2
	スムース	マウスを使用して、データの部分をスムースにします。 ホットキー:3

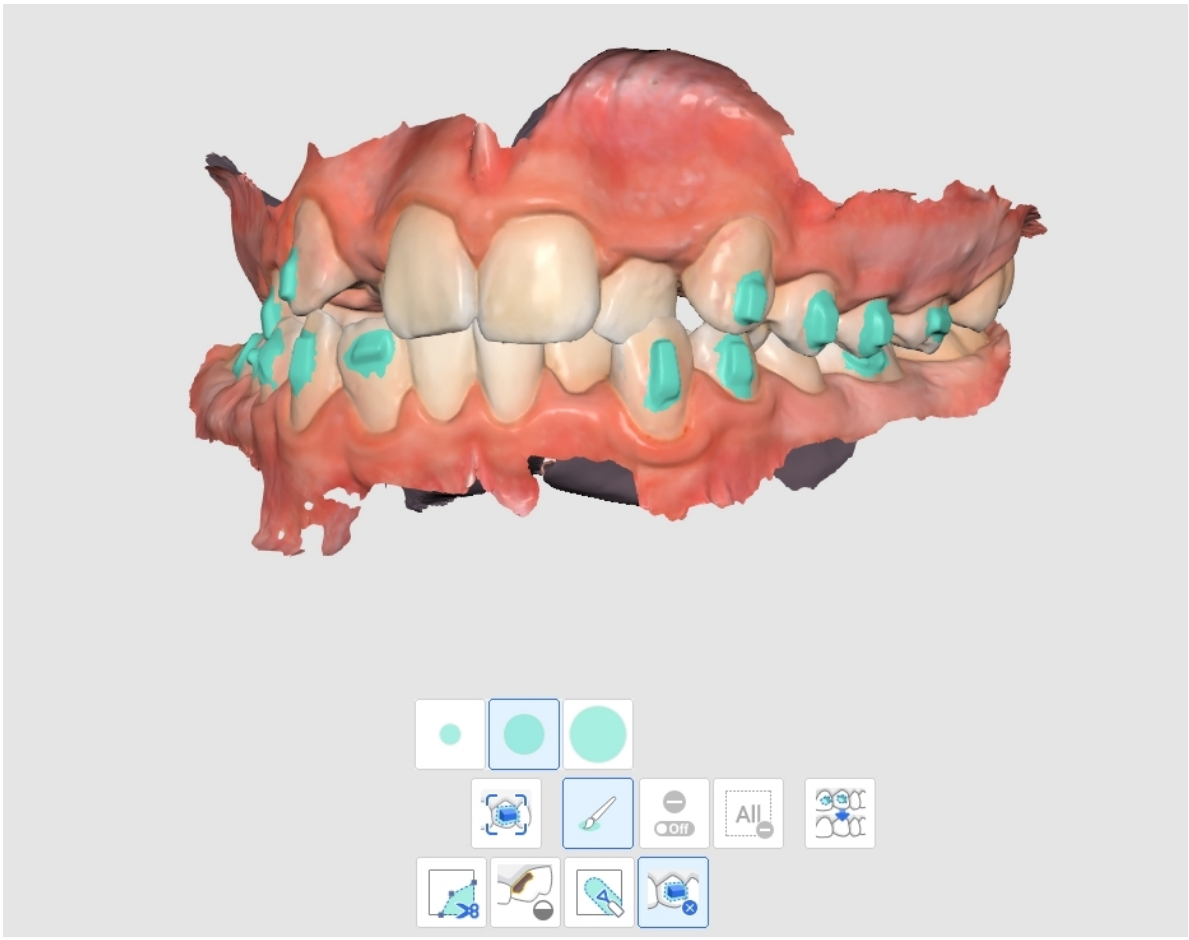
	モーフィング	マウスを使用して、データの部分をモーフィングします。 ホットキー:4

アタッチメントの削除方法

スキャンデータにアタッチメントやブラケットが含まれている場合は、治療計画やシミュレーションを行う前に、それらを除去する必要があります。

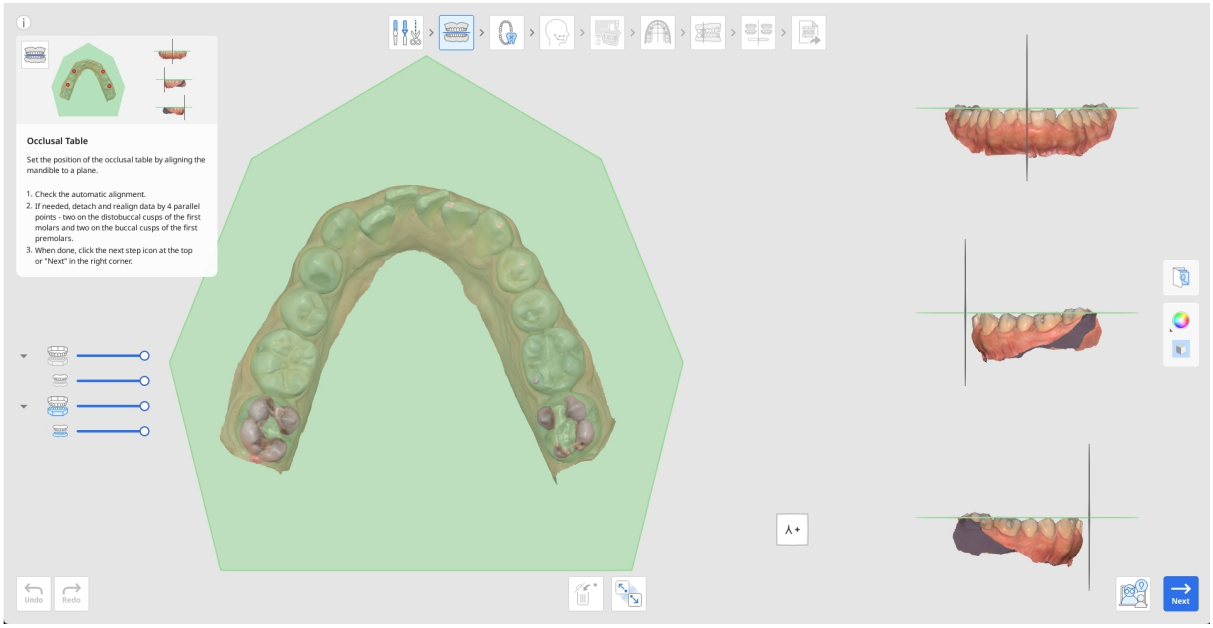
	自動検出	歯に取り付けられた着脱可能なオブジェクトを自動的に検出し、選択します。
	ブラシ選択	画面上に手書きで描かれたパス上のすべてのものを選択します。 前面のみが選択されます。 ブラシには3つのサイズがあります。
	選択解除モード	オンになっているとき、様々なツールを使い、領域の選択を解除します。
	すべての選択を消去	すべての選択範囲を解除。
	削除し穴を埋める	選択範囲を削除し、その結果できた穴を埋めます。

提供されている選択ツールを使用してアタッチメントまたはブラケットのスキャンデータを手動で選択したり、「自動検出」を使用して、歯の上の取り外し可能なオブジェクトを自動で検出し、選択したりできます。「削除し穴を埋める」をクリックし、選択したデータを削除し、生じている隙間を自動的に修正します。

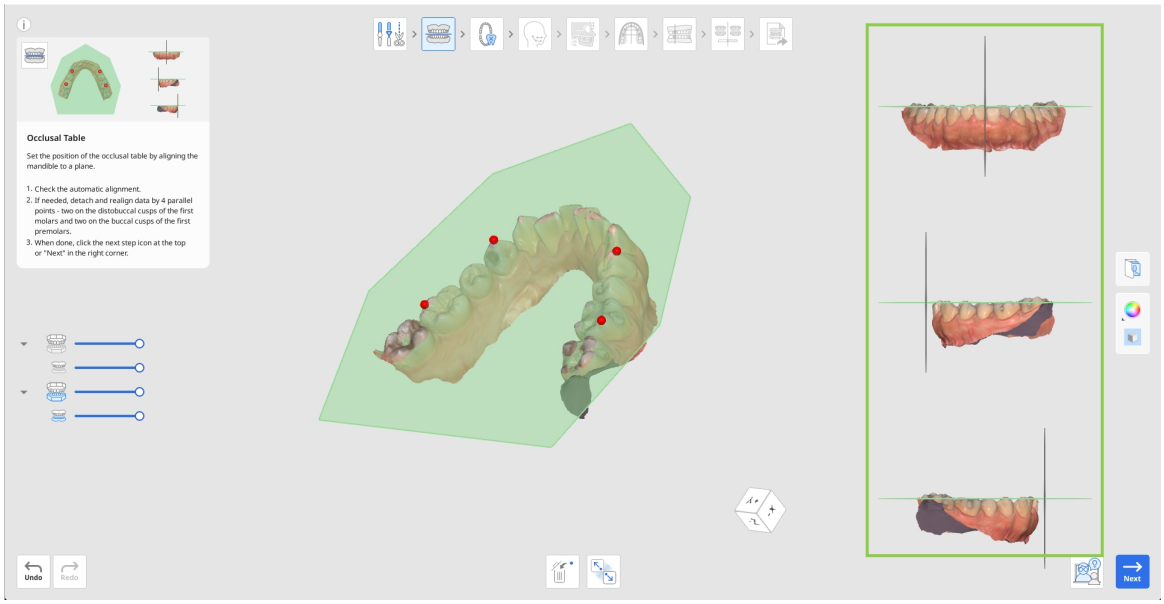

Off
All

咬合表

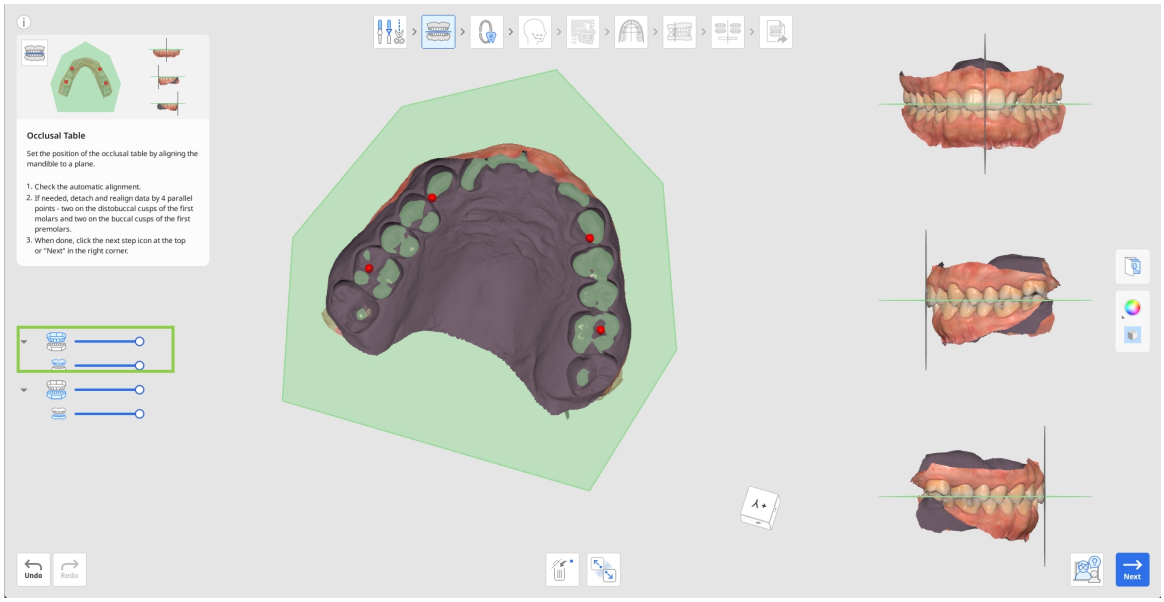
ワークフローの2番目のステップでは、下顎弓(咬合平面板)に基づいて研削面の位置を決定することに重点が置かれます。 これには、指定された4つの点を使用して、下顎のスキャンデータを平面に位置合わせすることが含まれています。 デフォルトでは、この位置合わせプロセスはユーザーの利便性のために自動化されています。



1. まず、マルチビューで表示したり、「ビューキューブ」で回転回転させて、自動データ整列を確認します。



2. 咬合関係を確認する場合は、左側のデータツリーにある上顎アイコンをクリックして表示し、下顎データと合わせて確認します。



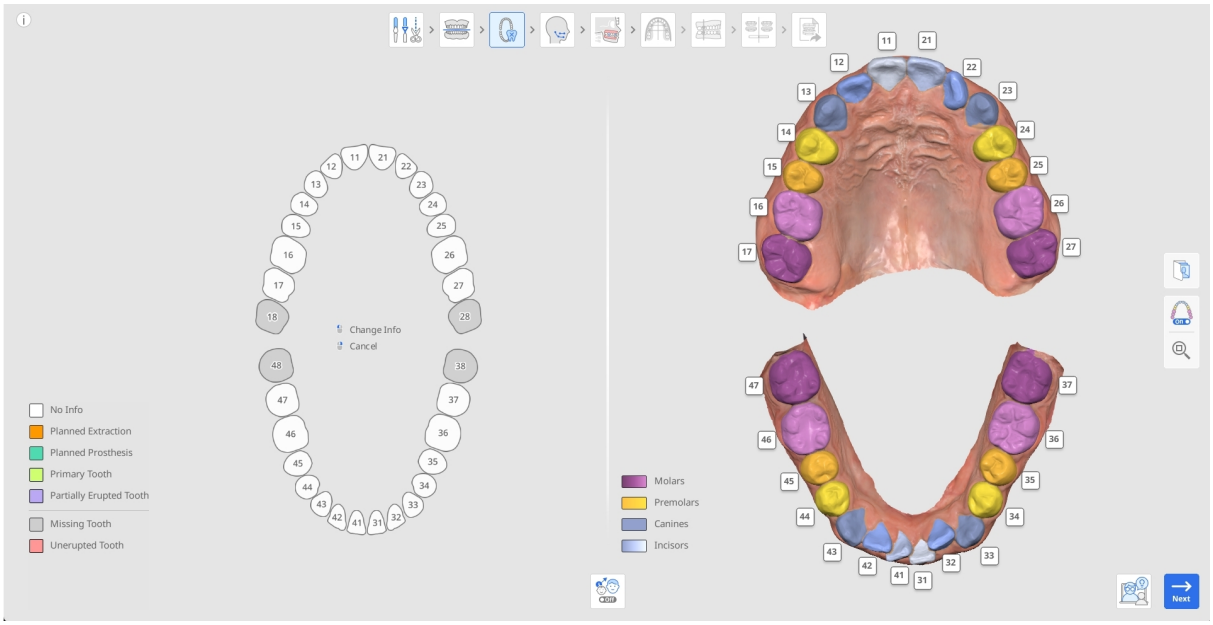
3. 再配置が必要な場合は、下部の[データの分離]ツールをクリックし、上顎に4つの平行点を設定して手動でデータを配置してください。 下の図に示すように、2点は第1大臼歯の遠心頬側咬頭に、残りの2点は第1小臼歯の頬側咬頭にあります。



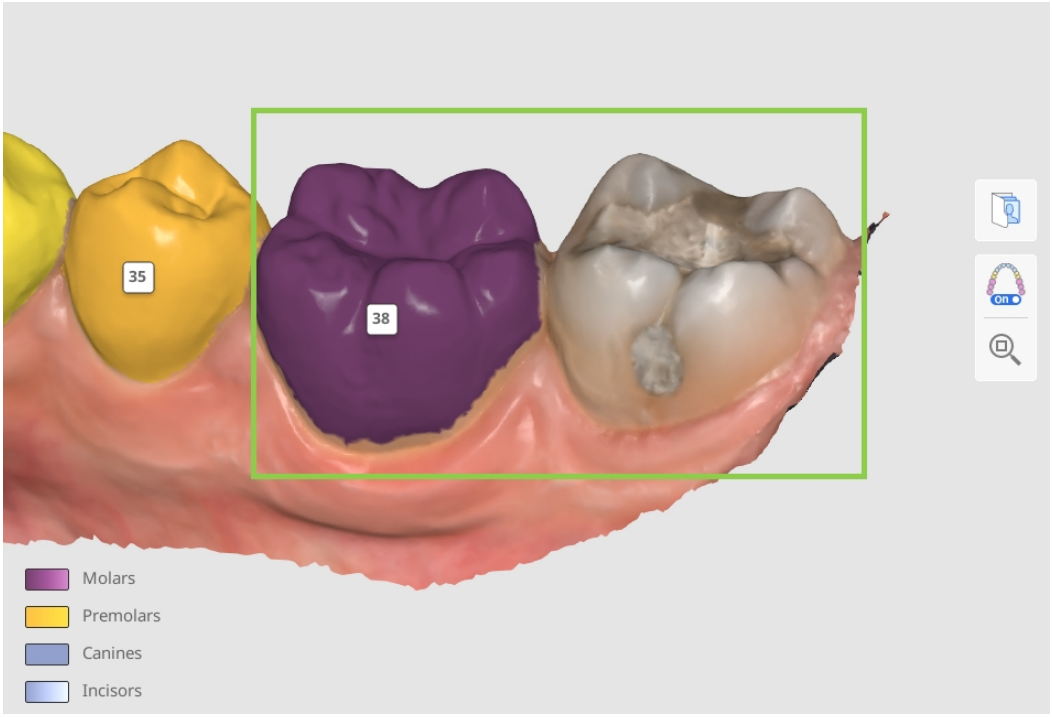
4. 完了したら、画面の上部にある次のステップアイコンまたは右下隅にある[次へ]ボタンをクリックします。

歯の識別

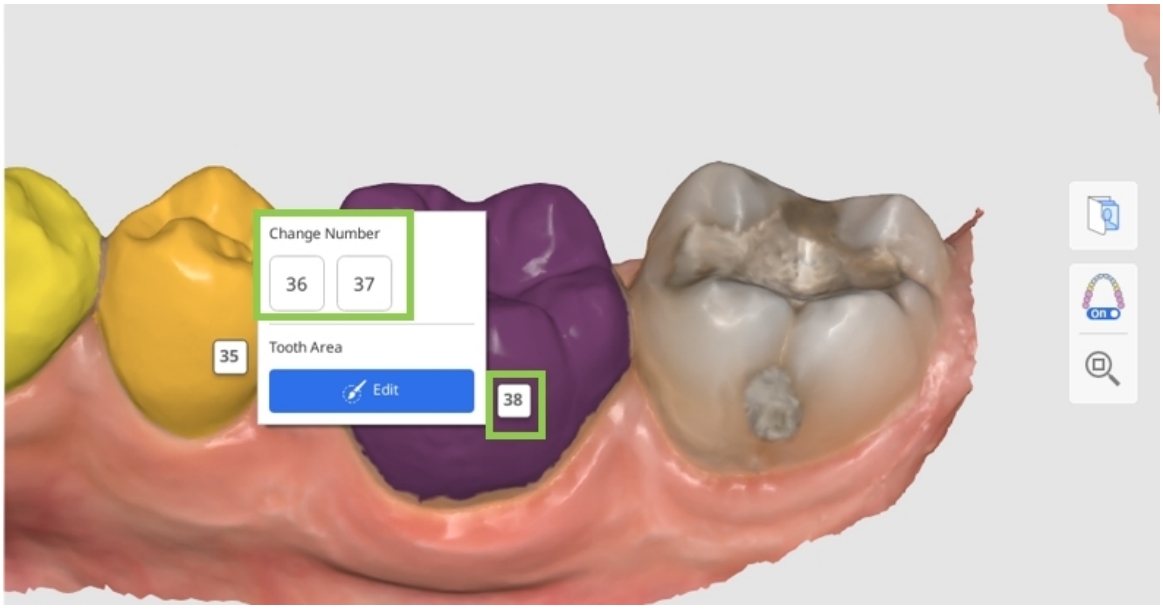
「歯の識別」は、現在のプロジェクトの詳細な歯のカルテを作成する手順です。 ここでは、右側で歯番を確認し、左側に歯列の詳細を記録する必要があります。 このステップで入力したすべての詳細は、後で歯の移動を生成するときに考慮されます。



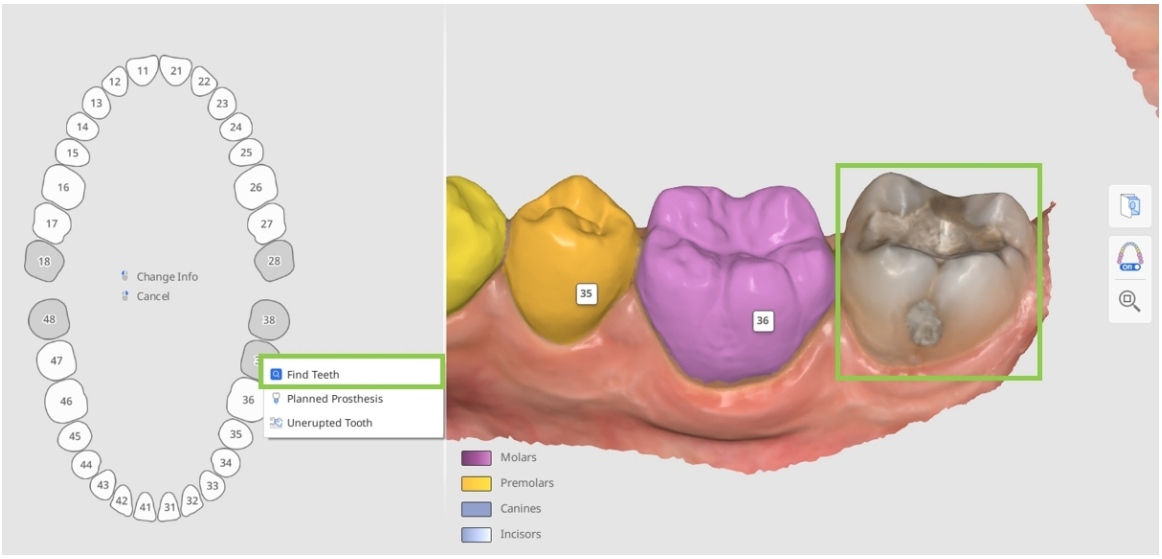
1. まず、右側で自動処理された歯番を確認し、すべての歯が正しく識別され、番号が付けられていることを確認します。



• 歯番が間違っている場合は、その番号をクリックして再割り当てします。



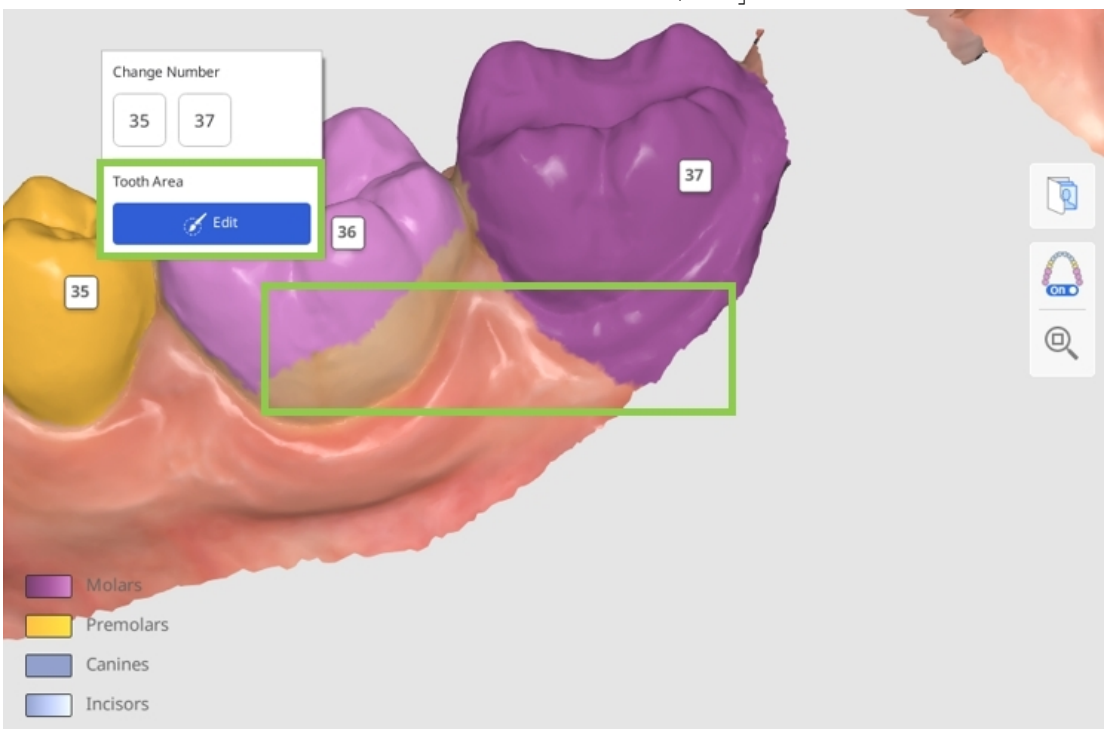
• 識別されていない歯がある場合は、左側のカルテに欠損として表示されます(灰色で表示)。 その歯を手動で識別するには、カルテでその歯をクリックし、┌歯を検索┘オプションを選択します。 これにより、スキャンされた歯のデータを手動で選択できるようになります。



チップ

複雑なケースでは、現在の位置だけでは歯番を特定するのが難しい場合があり、その場合は矯正写真機能を使用します。 インポートしたパノラマX線画像を表示して、歯番とデータ選択を確認できます。

- 各歯のデータが正確かつ精密に選択され、歯肉データなしで歯全体がカバーされていることを確認します。 これにより、後で各歯の移動をより詳細に行うことができます。
  選択内容を調整または修正するには、歯番をクリックして[編集]を選択します。



- 次に、患者の現在の歯列や予定されている治療の詳細を左側のカルテに記録する必要があります。
  追加した情報はすべて、記入されたカルテの詳細に従ってシミュレーションを変更します。 特定の歯に関する情報を追加するには、その歯をクリックします。削除するには、右クリックします。
  以下は、既存歯(白)と欠損歯(灰色)に適用される詳細と操作のリストです。

既存歯	欠損歯
抜歯予定	補綴予定
補綴予定	未萌出歯
乳歯	歯を検索
部分萌出歯	
歯をピン留め	

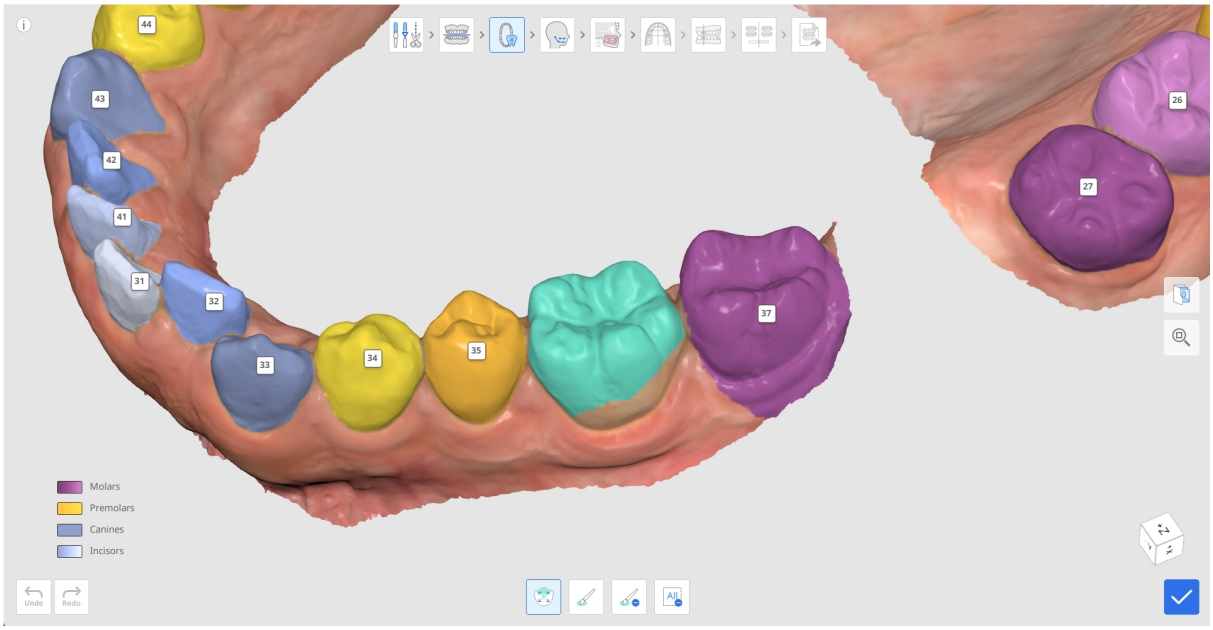
チップ

シミュレーション中に歯が動かないようにするには、カルテでその歯を[ピン留め]します。

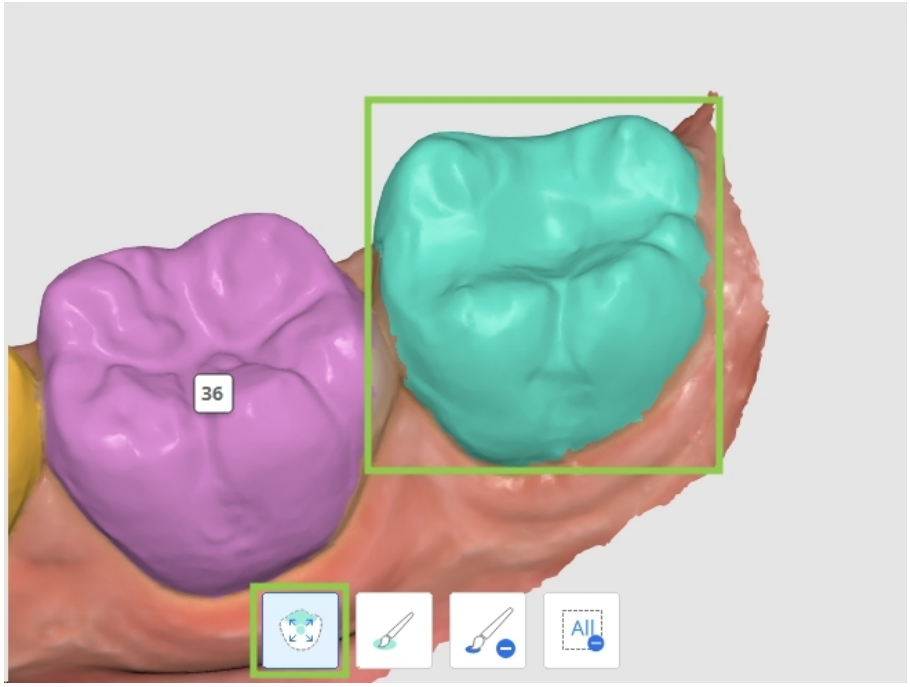
- 歯が「補綴予定」に設定されている場合、シミュレーションでは、使用可能な場合は対合歯のデータが使用され、使用不能な場合は歯のライブラリのデータが使用されます。 歯が当初「欠損歯」としてマークされていて、その後「補綴予定」に変更された場合、その変更が有効になるのは、「結果の概要」に表示される最終工程のステップです。 歯が当初「情報なし」としてマークされていて、その後「補綴予定」に変更された場合、その変更が適用されるのは、アライナー工程プロセスの開始時からです。

歯のデータの選択方法

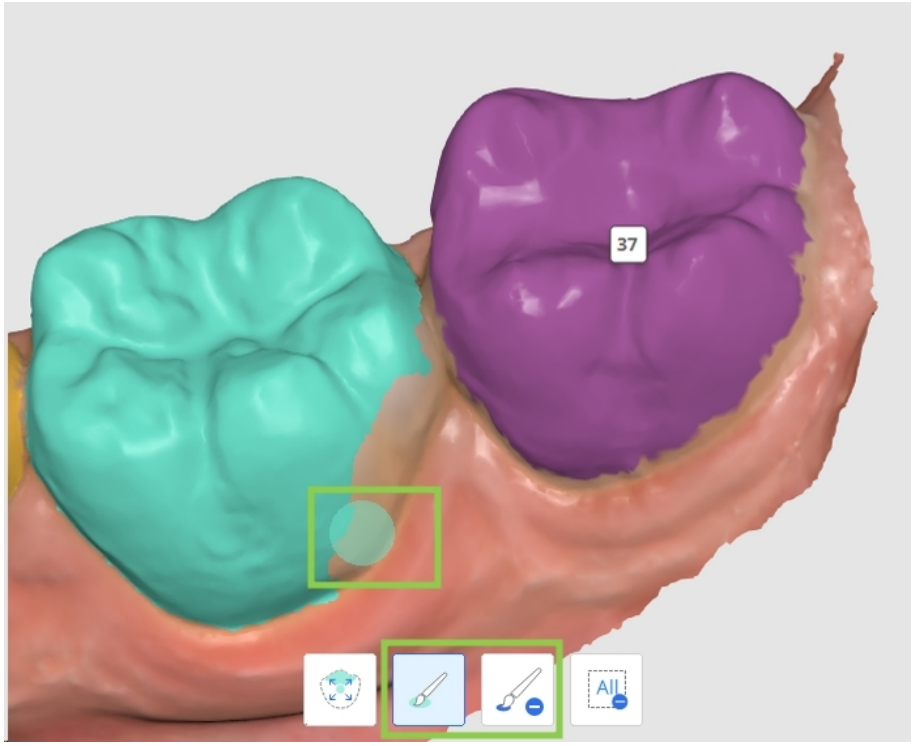
特定できていない歯のデータを手動で選択したり、既存のデータ選択を修正したりする必要があるかどうかを確認する、選択編集モードが表示されます。



1. 「スマートトゥースセレクション」ツールを使って、クリック&ドラッグして1本の歯の部分を自動で選択します。



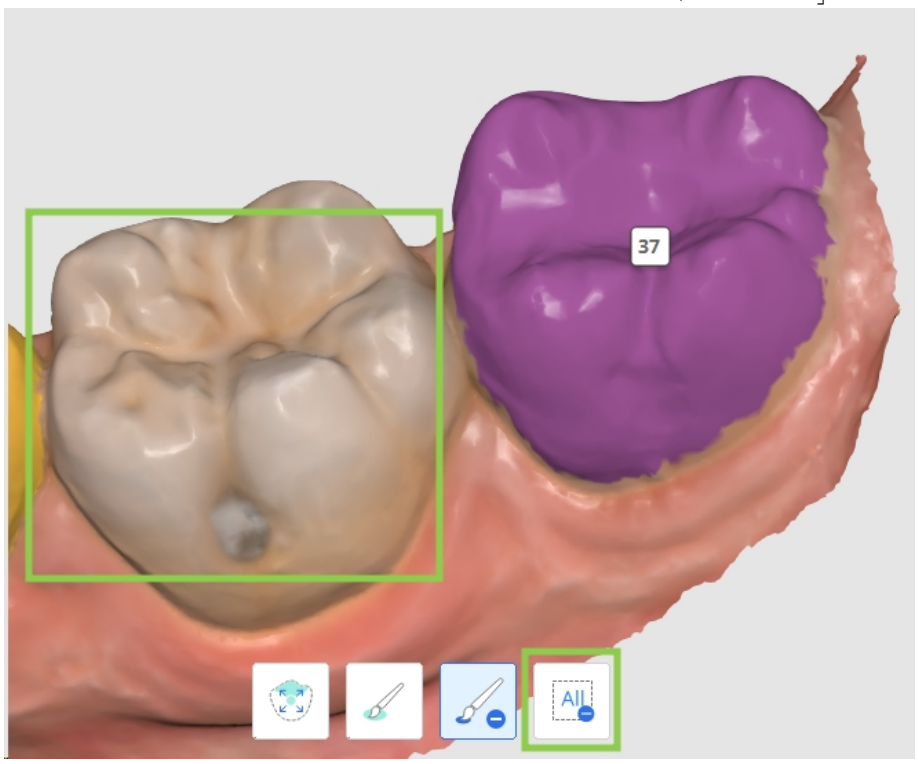
2. データ選択をより正確に行うために、「ブラシ選択」または「ブラシ選択を解除」を使用して調整します。



注意

複数の歯の選択編集が必要な場合は、それらの歯番をクリックしてフォーカス対象を切り替えます。

3. すべての選択範囲を解除して最初からやり直すためには、「選択を消去」を使用します。

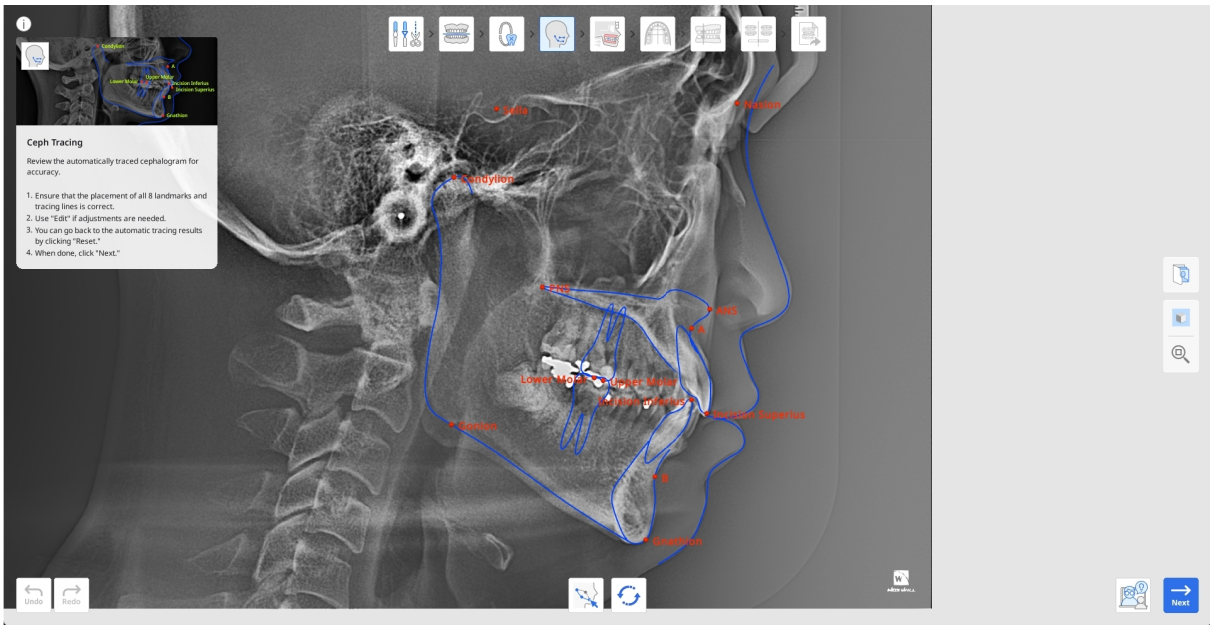


4. 完了したら、右下隅の「完了」をクリックして変更を保存し、カルテに戻ります。

セファロトレース

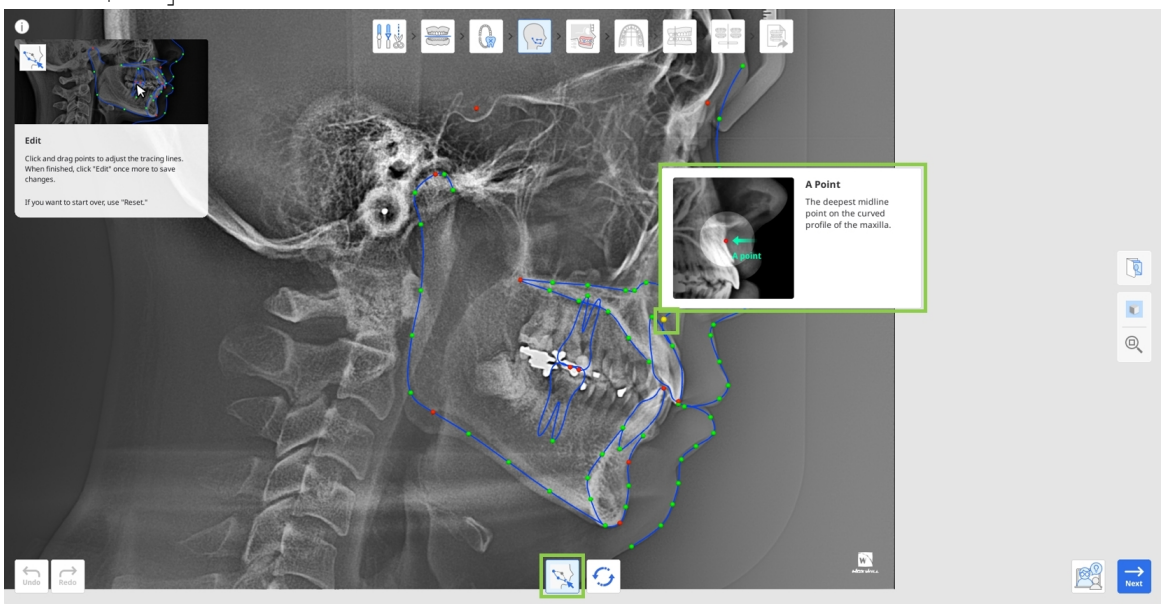
セファロトレースのステップが利用可能となるのは、データ割り当て時にセファロデータがインポートされた場合のみです。 その目的は、デジタルトレースされたセファログラムを作成することです。 このプログラムは、インポートされたX線画像上に骨と組織の構造の輪郭を自動的に描画し、いくつかの主要なランドマークを配置します。

> ⚠ **注意**
>
> 実用的な治療決定を行うには、セファロデータをインポートする必要があります。 セファロデータなしでプログラムを実行する場合は、治療オプションの検討にのみ使用してください。 セファロデータなしでプログラムを実行する場合は、次のような制限があります。
>
> - Witsは自動的に-3〜+3の範囲に設定されます。
> - 患者の成長は考慮されません。
> - ┌セファロの重ね合わせ┘機能は利用できないため、骨構造上の最終的な歯の位置を視覚化できません。



1. まず、自動トレースの結果を検査します。 輪郭に鋭角がないこと、および13個のキーポイントがすべて正しく配置されていることを確認します。
   このアプリは次の点とランドマークを特定する必要があります:A点、B点、グナチオン(Gn)、コンディリオン(Con)、上顎大臼歯、下顎大臼歯、上顎切歯切端点(Is)、下顎切歯切端点(Ii)、鼻根点(N)、トルコ鞍(S)、前鼻棘(ANS)、後鼻棘(PNS)、下顎角点(Go)。
2. 調整が必要な場合は、┌編集┘をクリックし、コントロール点をドラッグします。 赤色の点にマウスを合わせると、その点を配置する必要がある場所にガイドが表示されます。

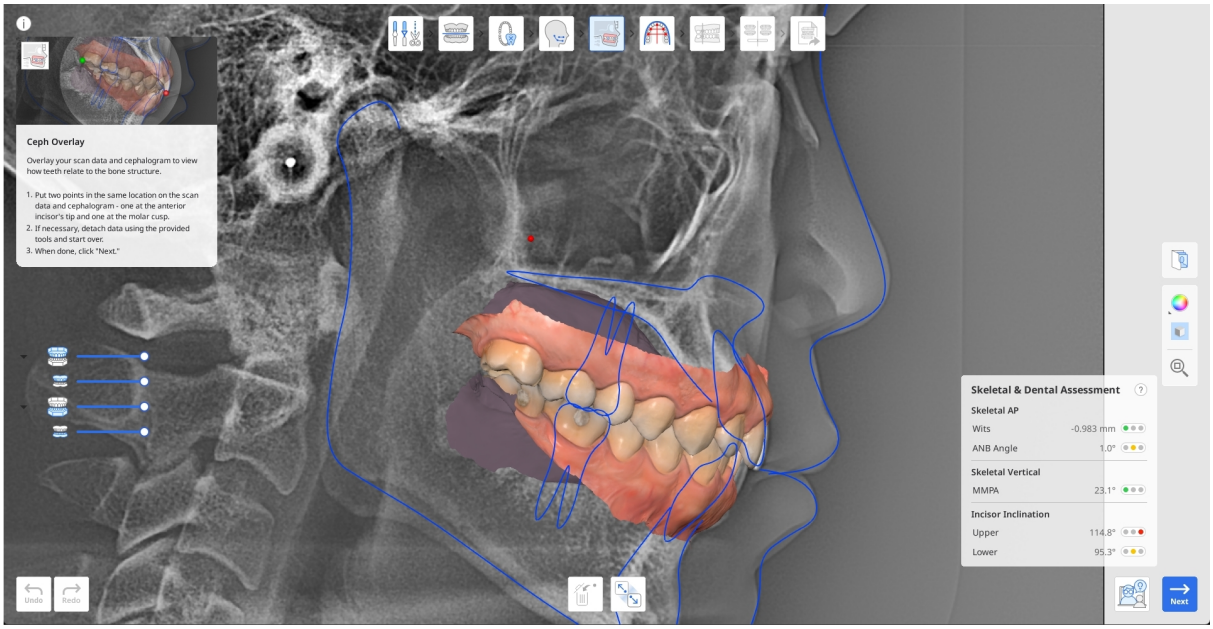
もう一度[編集]をクリックすると、変更が保存されます。



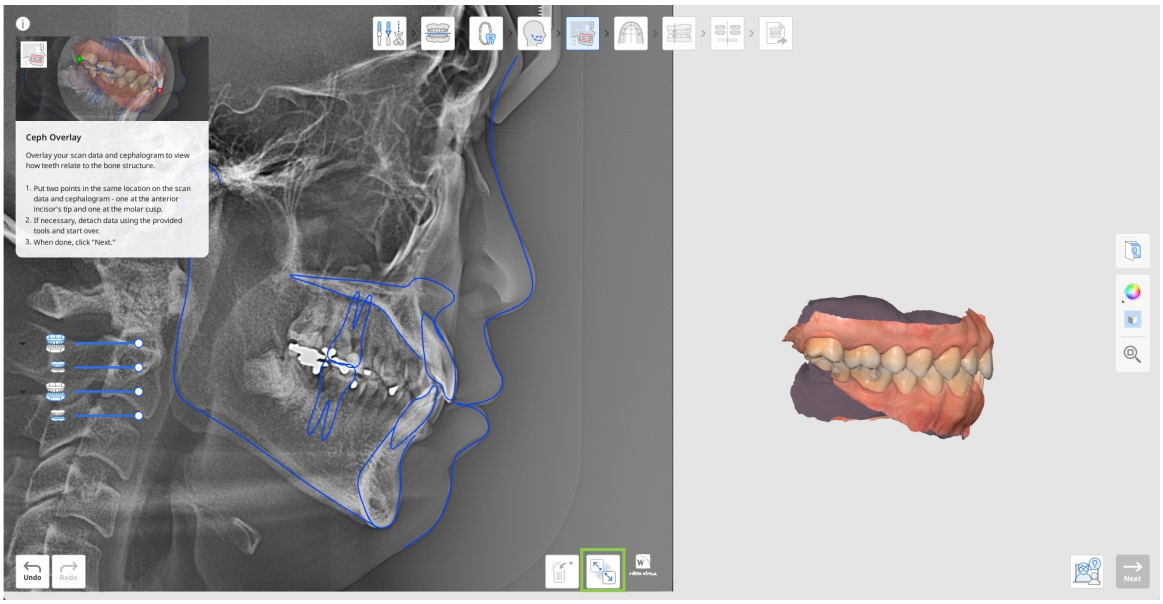
3. 自動トレースの結果は、[リセット]をクリックするといつでも復元できます。
4. 完了したら、[次へ]をクリックします。

セファロの重ね合わせ

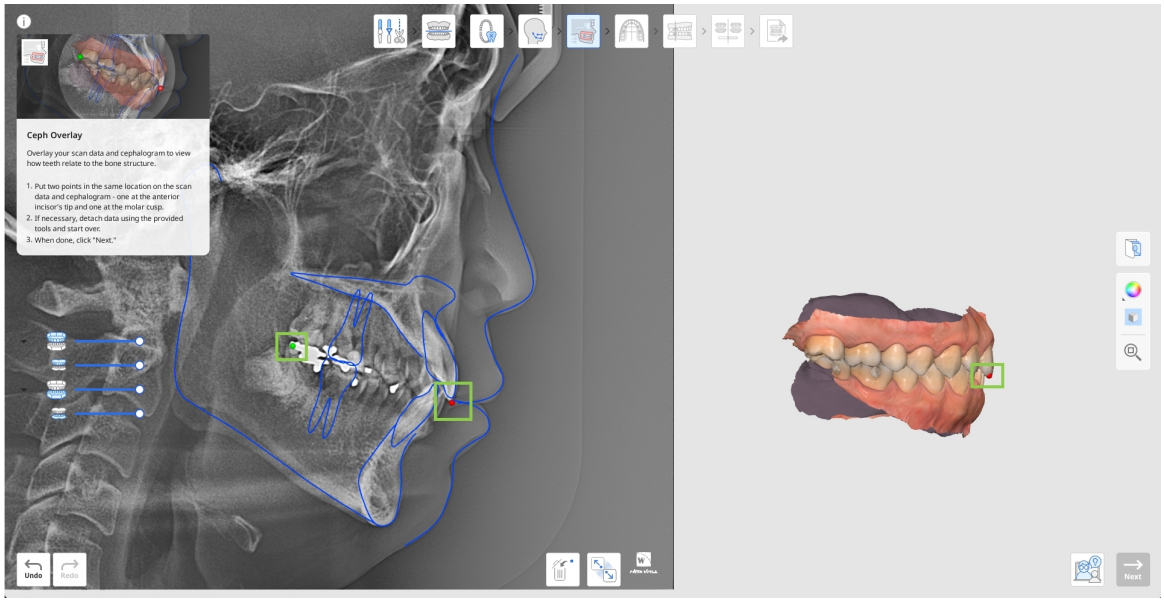
このステップは、ケースにセファロデータが含まれている場合にのみアクセスできます ここでは、スキャンデータがトレースされたセファログラムと自動的に位置合わせされ、歯と骨の構造の関係を調べることができます。



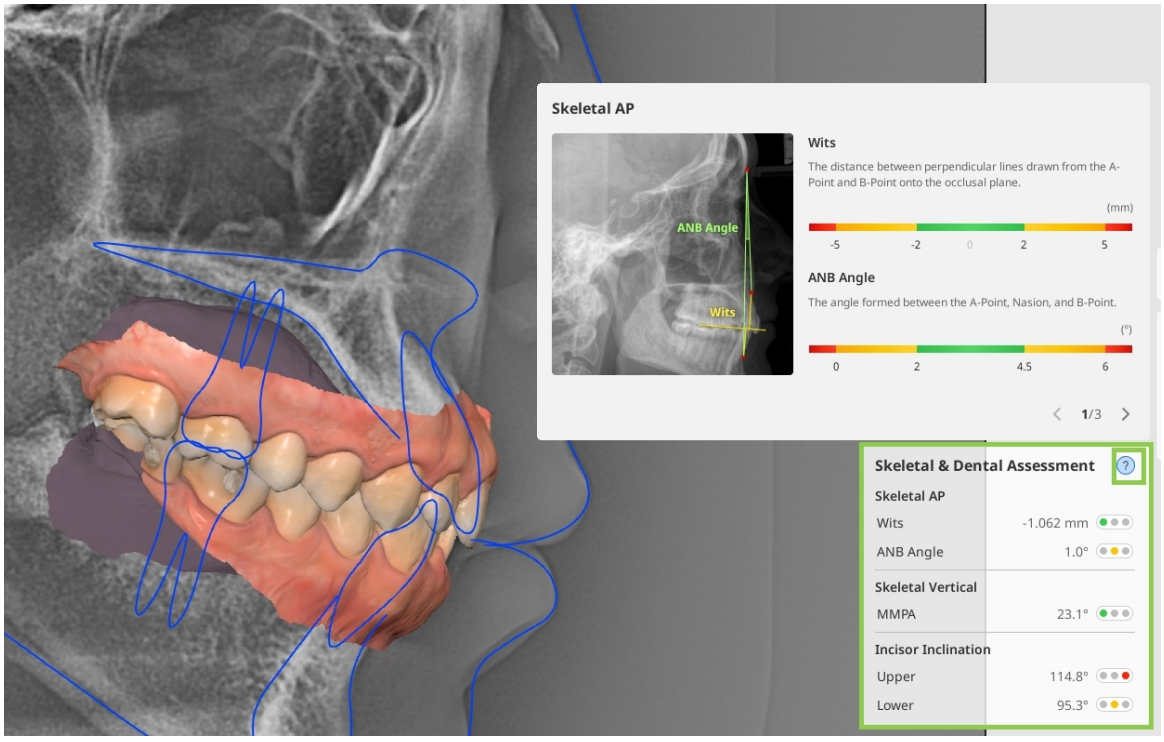
1. 自動オーバーレイの結果を確認します。 調整が必要な場合は、下部の[データの分離]オプションを使用して、セファログラムからデータを分離します。



2. 手動で再調整するには、スキャンデータとセファログラムの両方で同じ場所に2つのポイントを配置します。下図に示すように、1つは前切歯の先端、もう1つは臼歯の尖頭です。



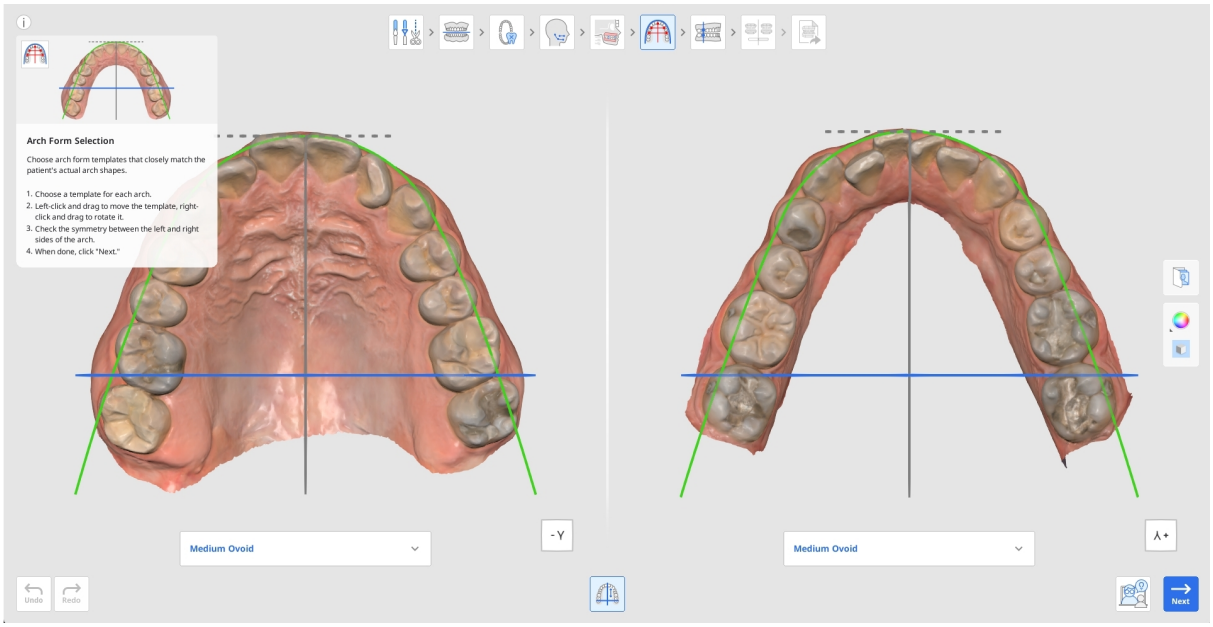
3. 次に、下記のウェジェットに示されたいくつかの基準に沿って骨格と歯の評価の結果を確認します。 すべての値は自動的に計算され、ケースの治療の潜在的な難易度を示す色分けされたマークが表示されます。 ボックス内の疑問符をクリックすると、詳細が表示されます。



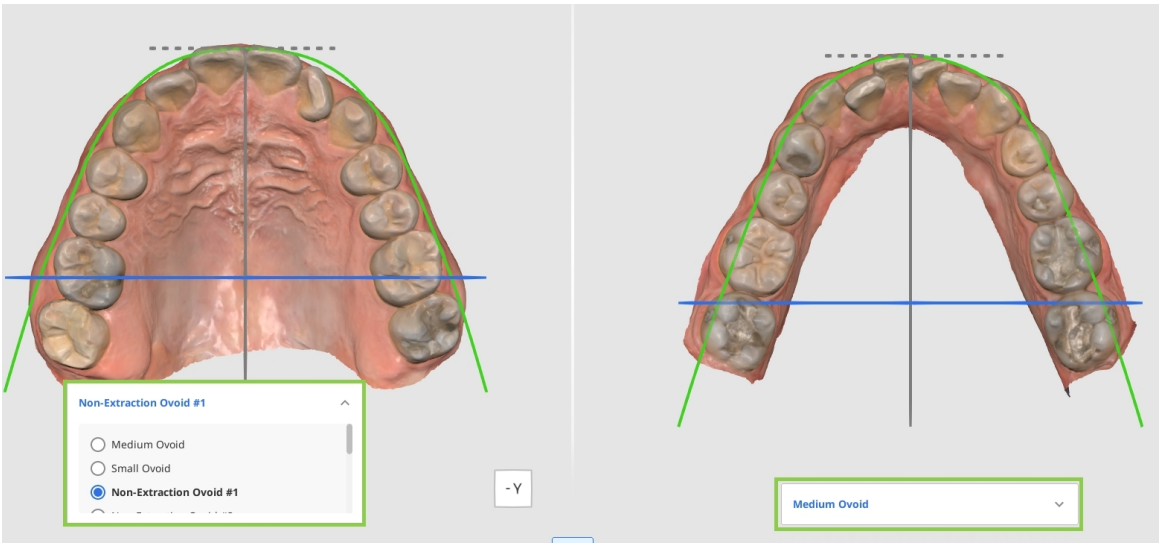
4. 完了したら、「次へ」をクリックします。

歯列弓フォームの選択

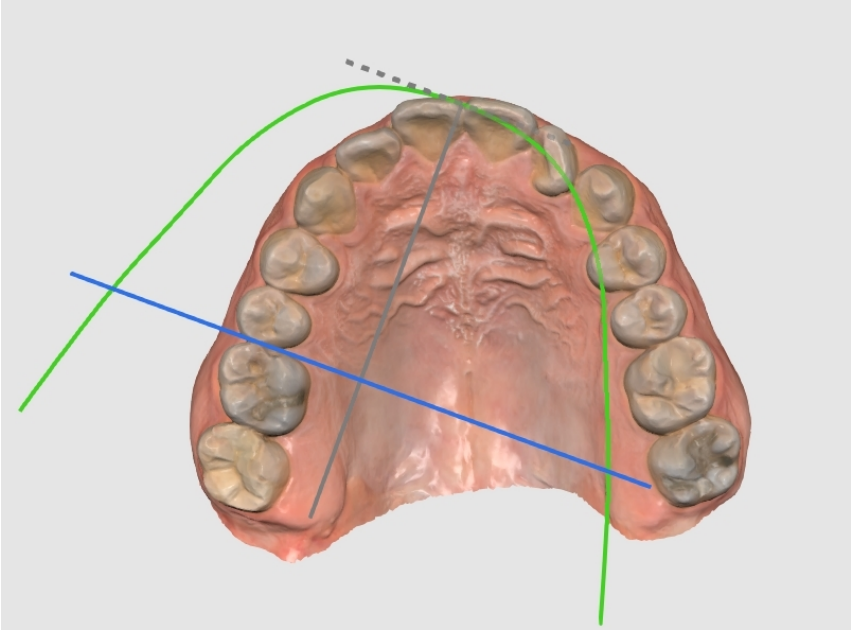
次のステップは歯列弓フォームの選択で、患者の実際の歯列弓の形状とサイズにぴったり一致する歯列弓フォームテンプレートを選択します。



1. 上顎と下顎のテンプレートを、それぞれの下にあるドロップダウンメニューから選択します。 実際の形状とサイズにぴったり一致するものを選択してください。

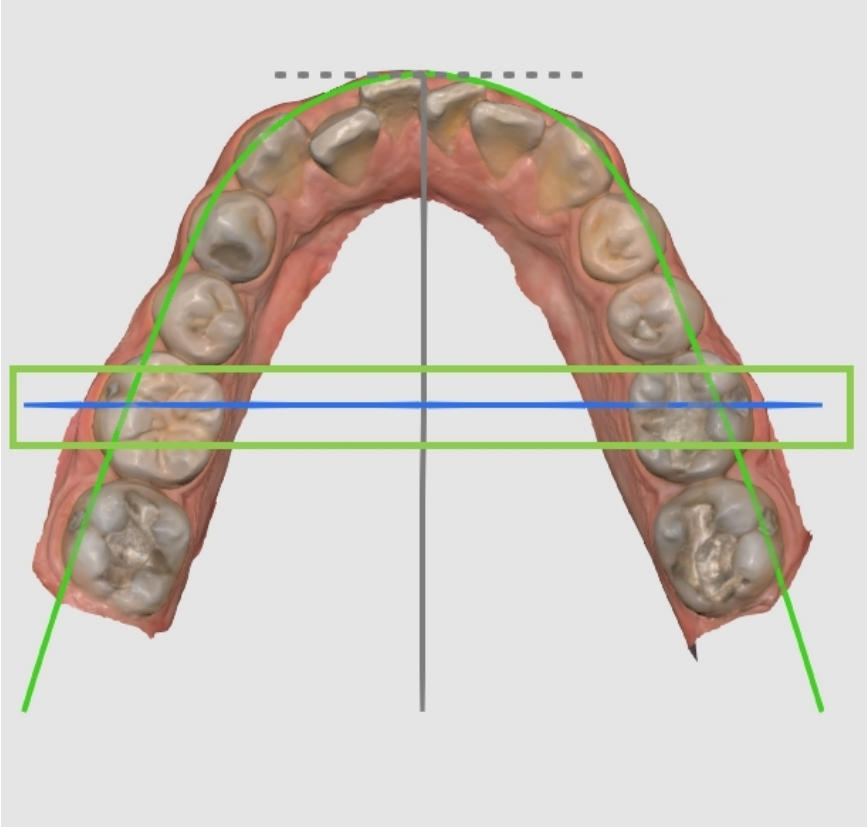


2. 必要に応じて、マウスを使用して選択したテンプレートの位置を変更します。移動するには左クリックしてドラッグし、回転するには右クリックしてドラッグします。



> ⚠ **注意**
>
> 歯列弓フォームが不均等または中心からずれて配置されていないか確認してください。 歯列弓フォームの位置によって歯の移動方向が決まります。

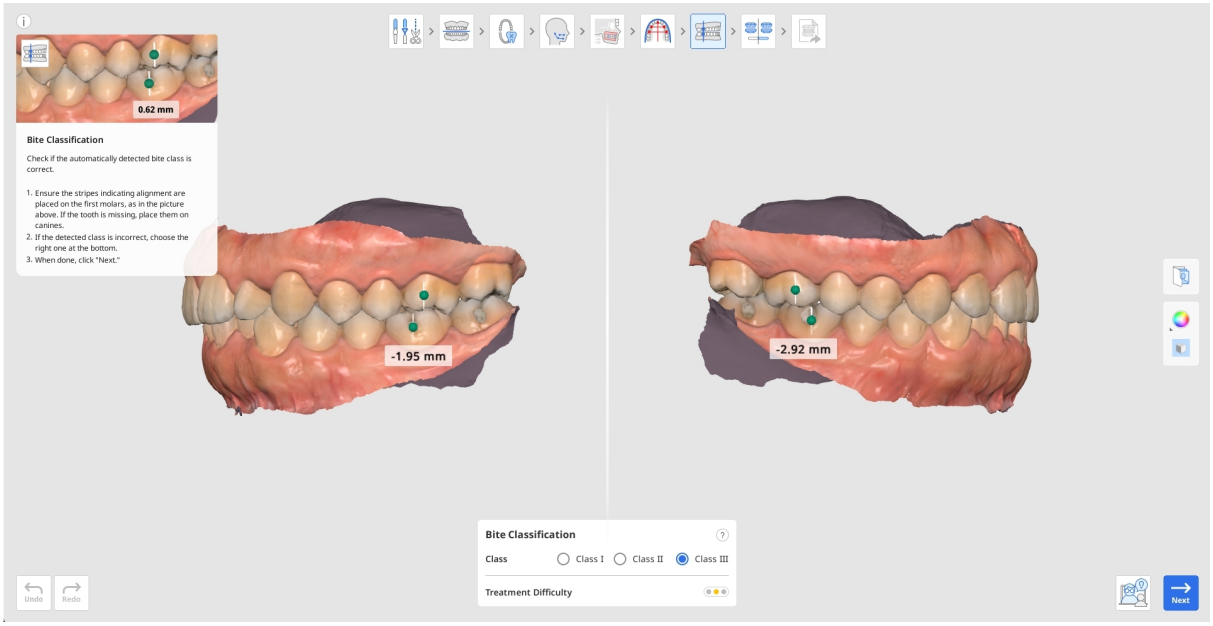
3. スキャンデータ上で歯列弓フォームが対称的に配置されていることを確認してください。 垂直線を使用して対称性を評価します。青い線はマウスで移動できます。



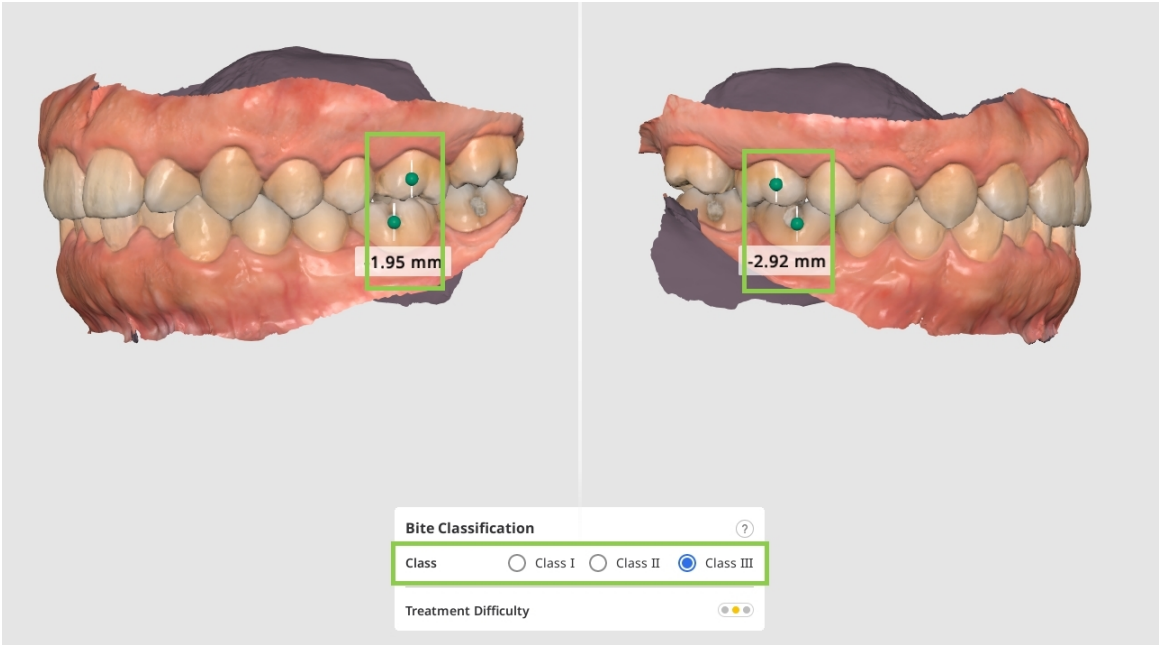
4. 完了したら、「次へ」をクリックします。

噛み合わせの分類

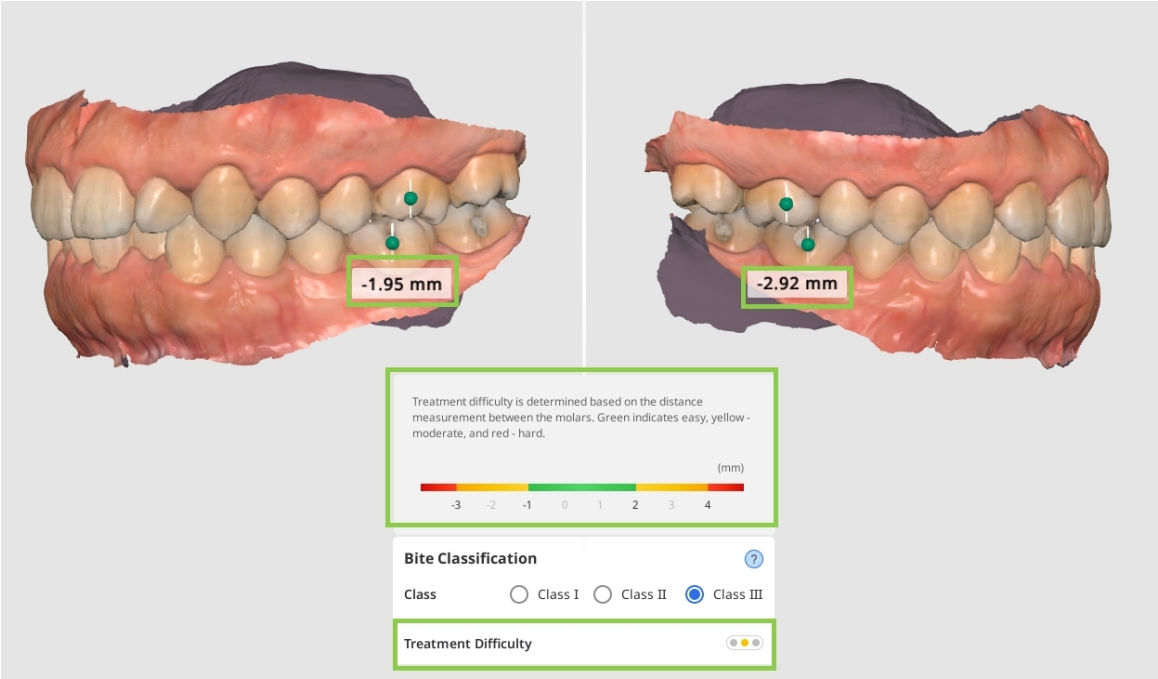
噛み合わせの分類は、歯の移動をシミュレーションる前の最終ステップです。 その主な目的は、臼歯の関係に基づいて噛み合わせ分類を特定することです。 このステップは自動的に行われますが、必要に応じて、または欠損歯がある場合は、検出された分類を調整できます。



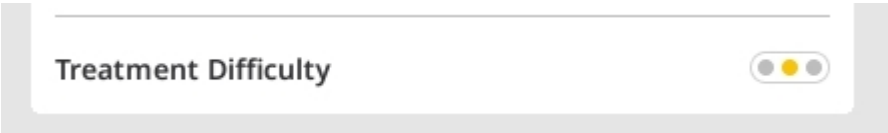
1. 位置合わせストライプが正しく配置されていることを確認します。1つは上顎第1大臼歯の近心頬側咬頭の先端に、もう1つは下顎第1大臼歯の頬側溝にに配置されています。 第1臼歯が欠損している場合は、犬歯を代用できます。
   自動検出された分類が正しくない場合は、画面下部のボックスに表示されるオプションから正しいものを選択してください。



2. 大臼歯間の距離は自動的に測定され、治療の難易度を推定するために使用されます。



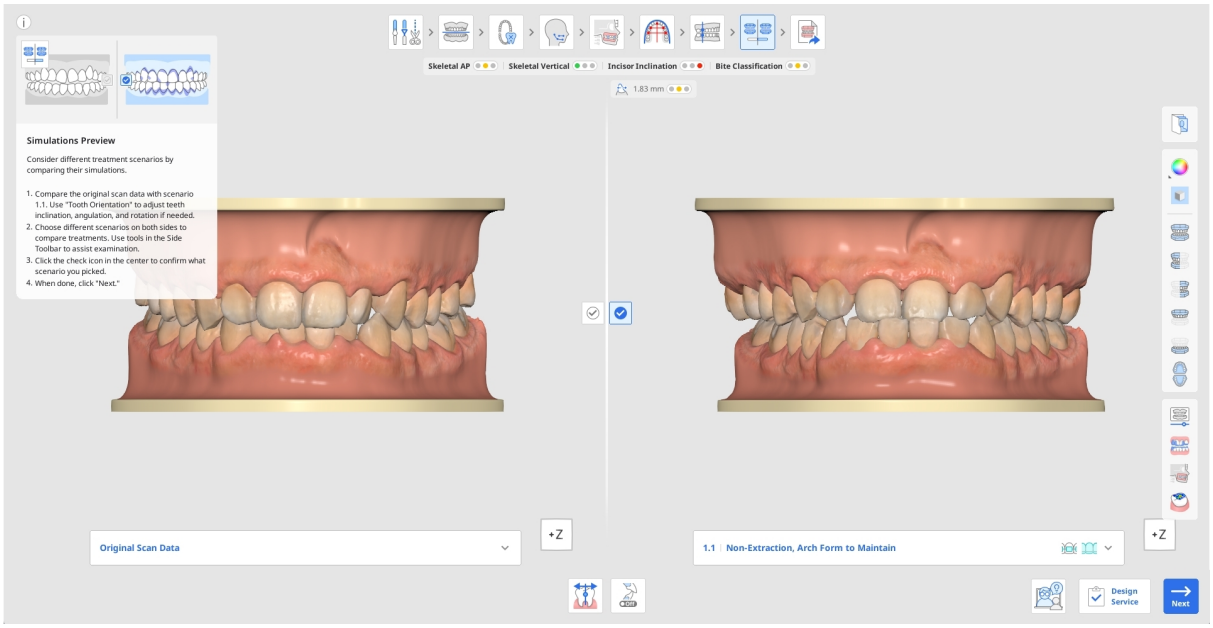
3. 「治療の難易度」オプションの横にある信号機アイコンは、難易度に応じて異なる色で表示されます。 緑色は低度、黄色は中度、赤色は高度を示しています。



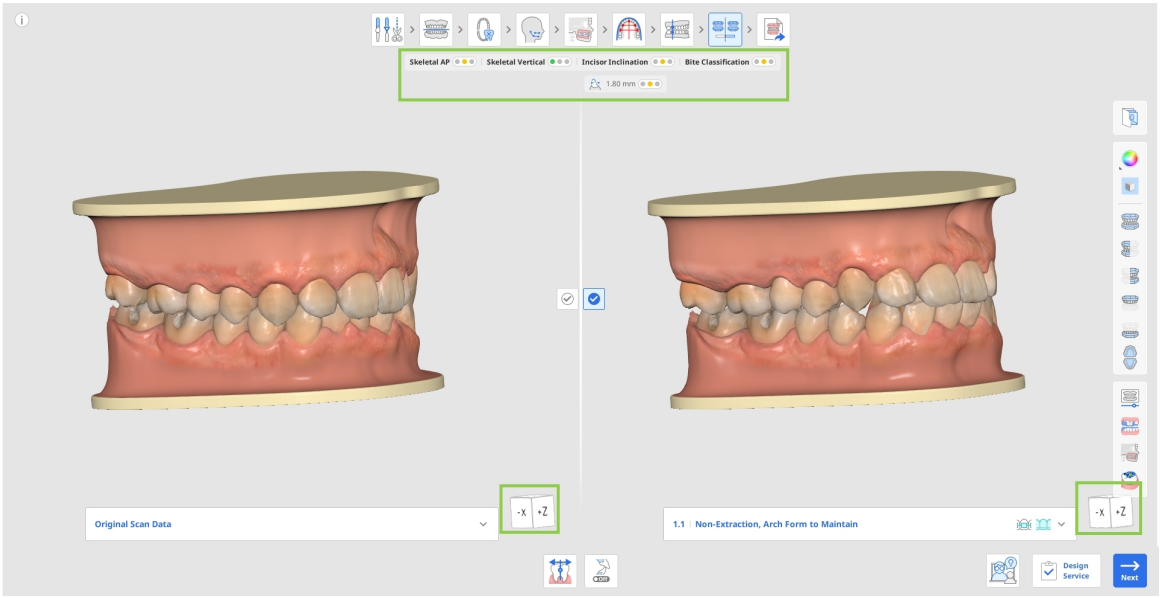
4. 終了したら、「次へ」をクリックします。

シミュレーションプレビュー

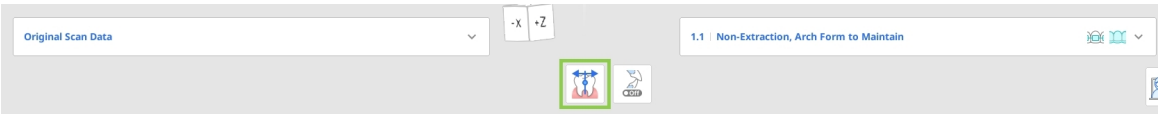
「シミュレーションプレビュー」ステップには、前のステップで提供された情報に基づいて歯の移動シミュレーションが生成されます。 ここでの主な目標は、可能性のある治療シナリオを評価し、最適な治療方針を決定することです また、これらのシミュレーションは患者の診察中に使用して治療プロセスと予想される結果を視覚的に説明することができ、それによって患者の将来の処置に対する理解を深めることができます。



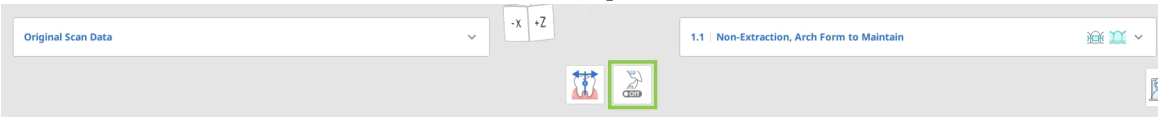
1. まず、元のスキャンデータとシナリオ1.1のシミュレーションを比較します。「情報ボックス」をクリックして非表示にし、「サイドツールバー」の「ビューキューブ」または表示ツールを使用して目視検査を行います。



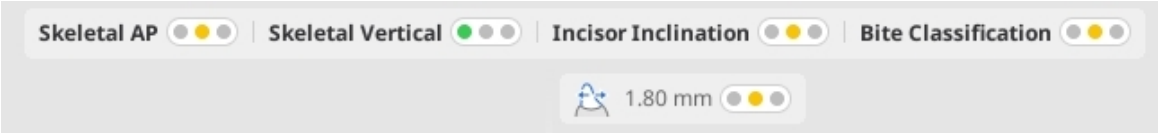
- このシミュレーションで歯並びに不良がないか確認します。 不良がある場合は、「歯の向き」ツールを使用して調整します。このツールでは、各歯の向きを個別に変えることができます。 このツールの使用方法の詳細については、本章の最後をご覧ください。



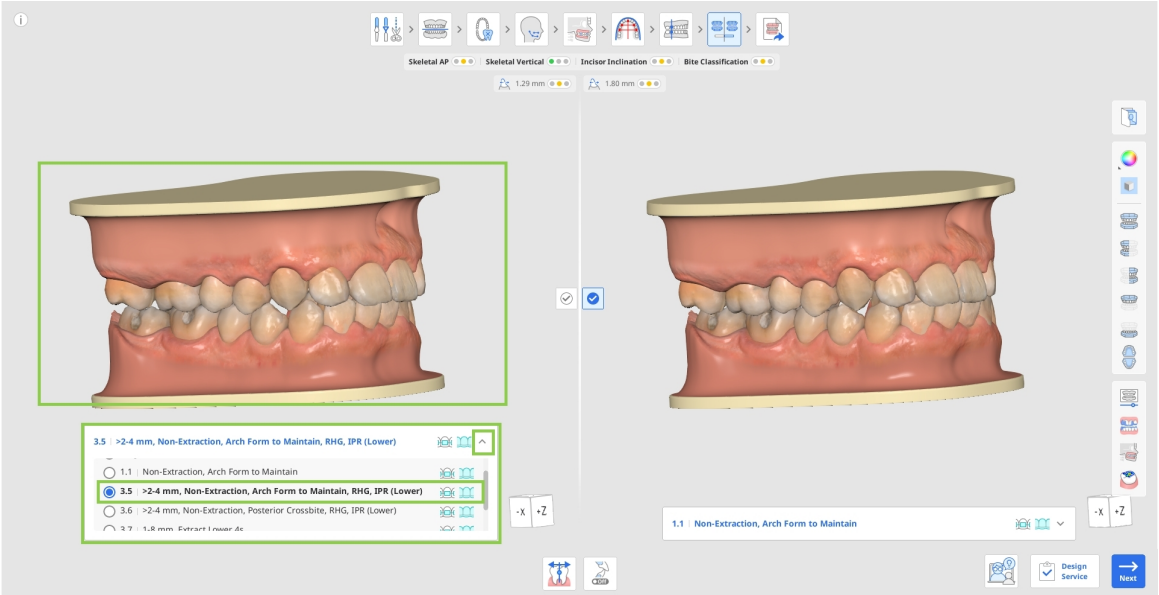
- 必要に応じて、希望するコンペンセーションの傾きを選択して、歯の傾きとアラインメントを患者の骨格タイプに合わせて調整し、セファロデータがなくても治療プランを有効にできます。 これを実行するには、下部の「デンタルコンペンセーション」ツールを使用します。



- シナリオを比較する場合は、ワークフローステップの下にあるケースの概要を確認してください。これには治療の難易度の概要が信号機の色で示されています。 この概要は、骨格と歯の関係の簡単な診断概要を提供し、「顎の前後的な位置関係」、「歯の垂直的な傾き」、「切歯の傾斜」、「噛み合わせの分類」などのカテゴリを示します。



2. 現在のケースに関する追加の治療オプションを検討するには、元のスキャンデータまたはシミュレーション1.1のシナリオリストを開きます。 利用可能なシナリオのいずれかをクリックして、そのシミュレーションをプレビューします。 リスト内の各シナリオには、治療に使用可能な器具タイプのオプションも示されています。



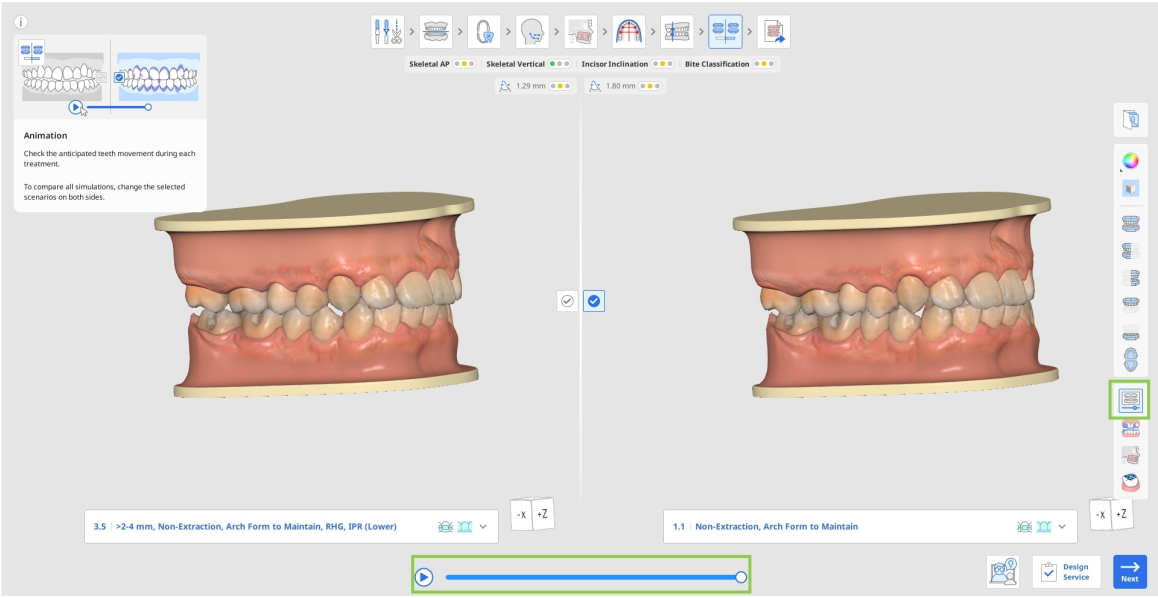
ヒント

サイドツールバーの「矯正写真」を使用して、インポートした他の画像(X線写真、口腔内写真、顔写真)を参照し、提案された突出が現在の患者に妥当かどうかを確認します。

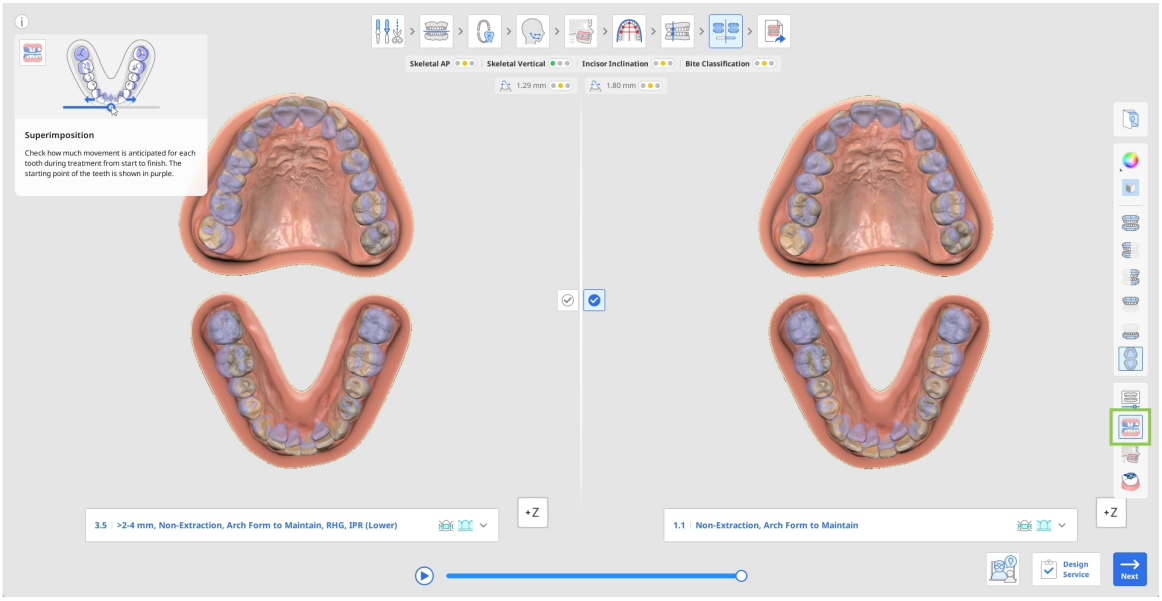
3. 画面両側のシナリオを切り替えて、異なる治療シミュレーションを並べて比較します。 サイドツールバーのツール(「アニメーション」、「重ね合わせ」、「セファロを重ねて合わせて比較」、「咬合関係」)を利用してください。



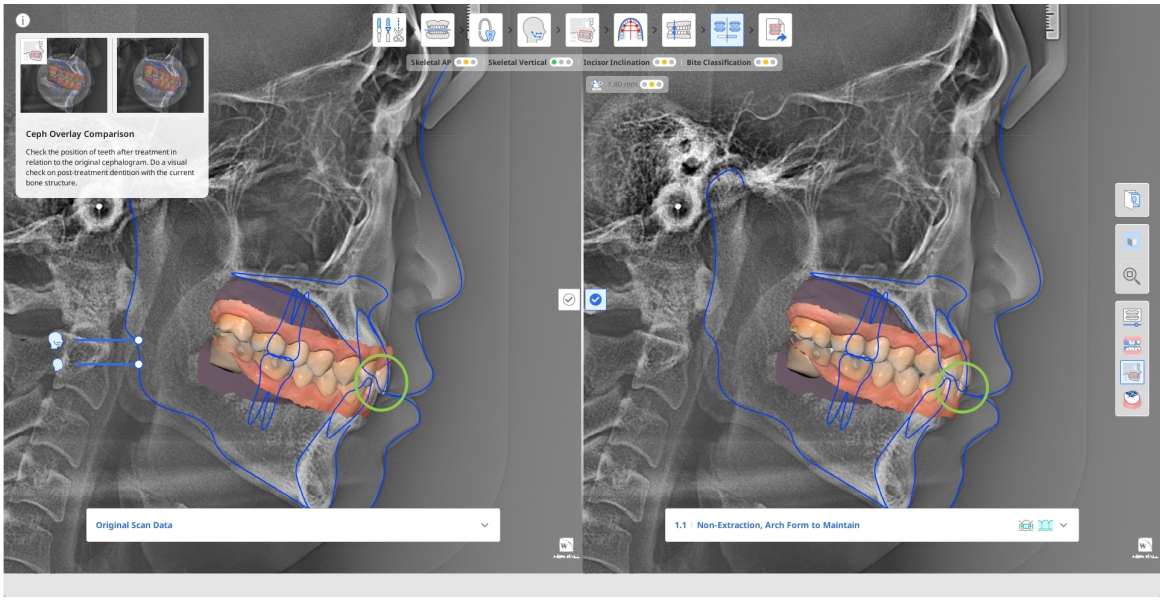
- 「アニメーション」を使用すると、選択したシナリオにおける歯の移動を視覚化できます。



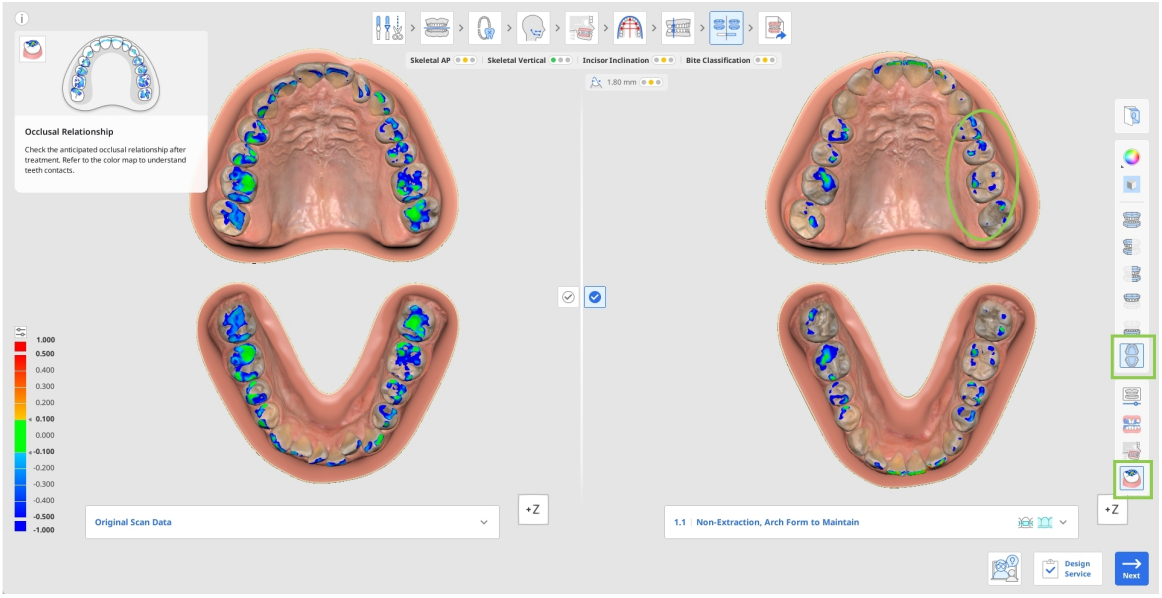
- 「重ね合わせ」を使用すると、開始点を紫色で表示し、各歯の始まりから終わりまでの予想される移動を評価できます。 重ね合わせたデータは便宜上、アニメーション化されます。

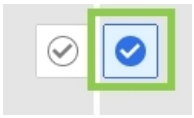


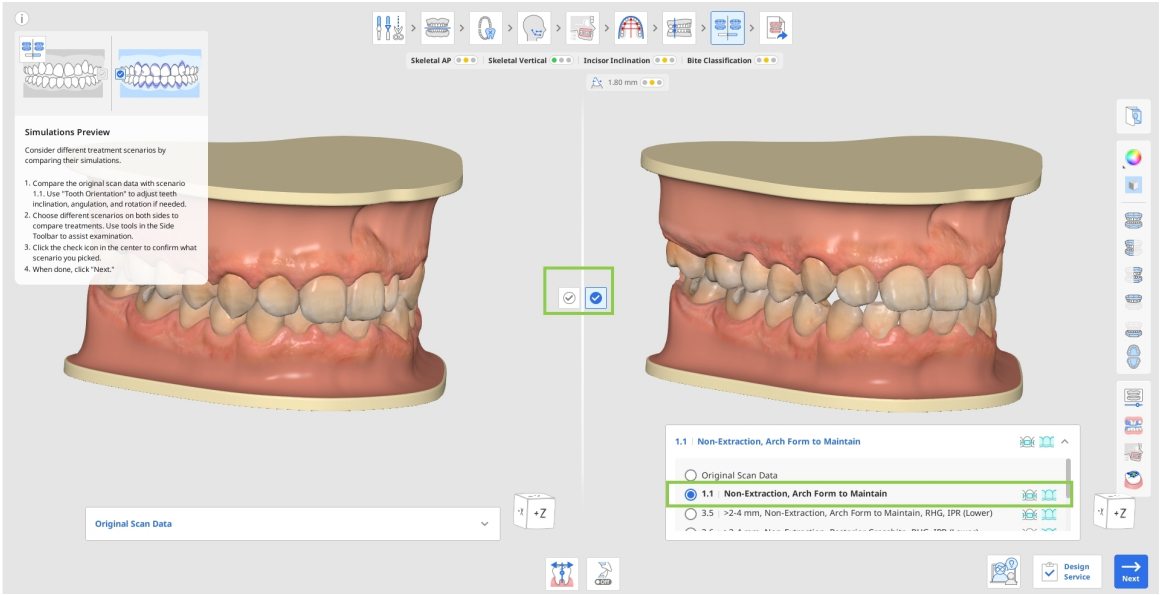
- ┌セファロを重ねて合わせて比較┘を使用すると、治療後の歯列と骨構造との関係で確認できます。例えば、右側の画像で緑色の円で強調表示された領域を確認し、左側の画像と比較すると、歯の移動を簡単に確認できます。



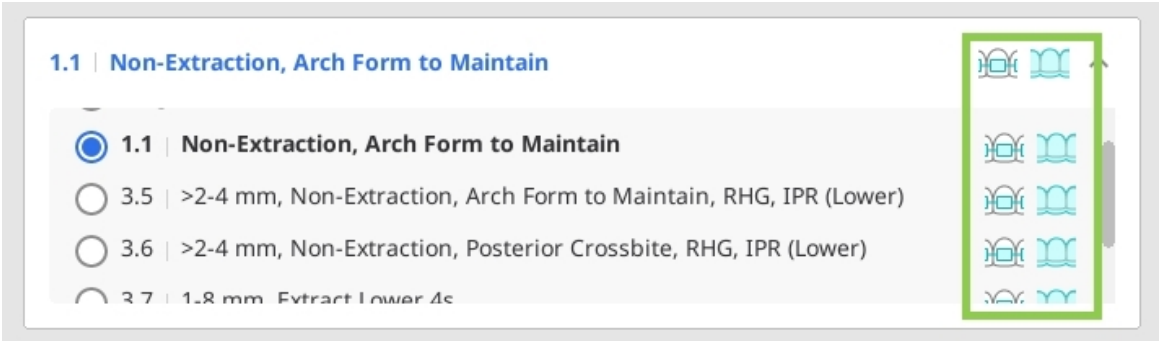
- ┌咬合関係┘を使用すると、治療後の歯列の咬合接触を分析できます(色の解釈については、左側のカラーバーを参照)。



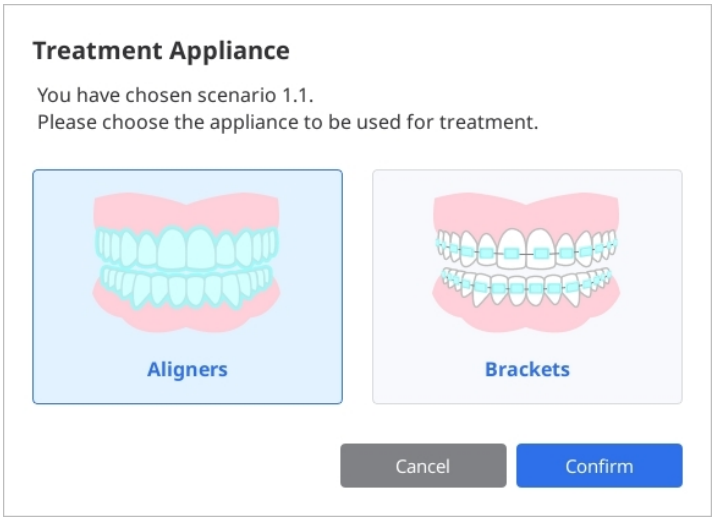
4. 最終的な治療を決定したら、画面中央のチェック  をクリックして、希望する治療シナリオの選択を確定します。



- 各シナリオに適用可能な治療タイプ(アライナー、ブラケット)は、リスト内のシナリオタイトルの横に表示されます。



5. ┌次へ┘をクリックして、最終ステップに移動します。 選択したシナリオがアライナーとブラケットの両方を使用して治療できる場合は、最終ステップに進む前にいずれかを選択するように要求されます。 元のスキャンデータが選択済みとしてマークされている場合は、次のステップに進むことができないのでご注意ください。



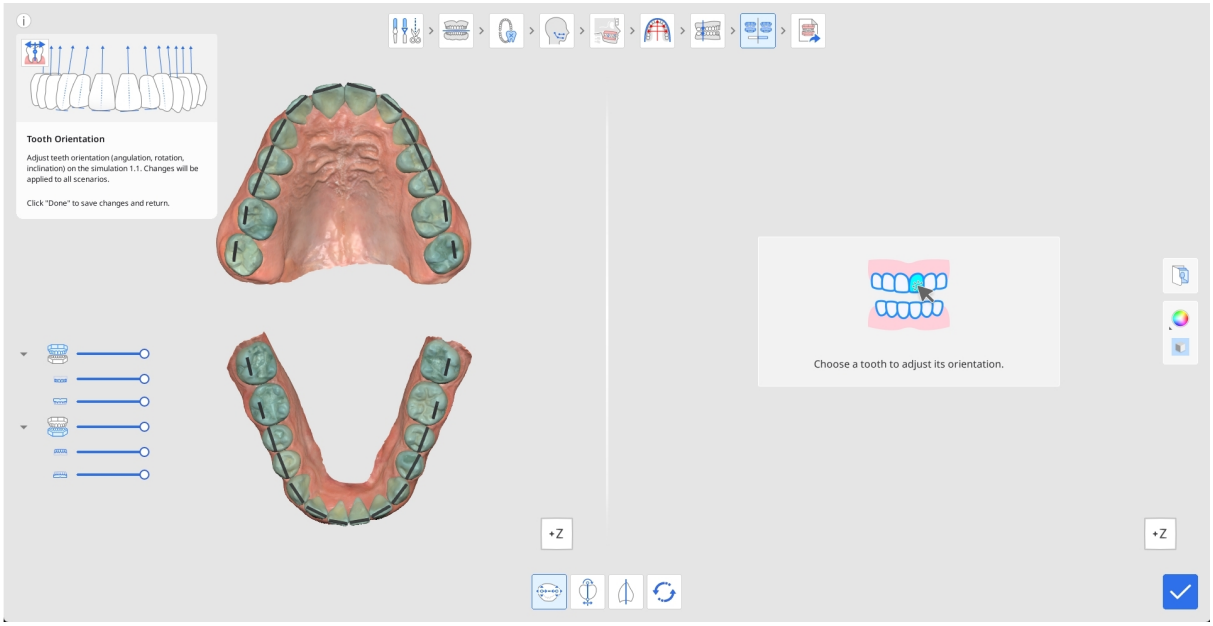
┌歯の向き┘の使用法

┌歯の向き┘は、ソフトウェアが次の平面で各歯の向きを正確に識別していることを確認するために使用します。

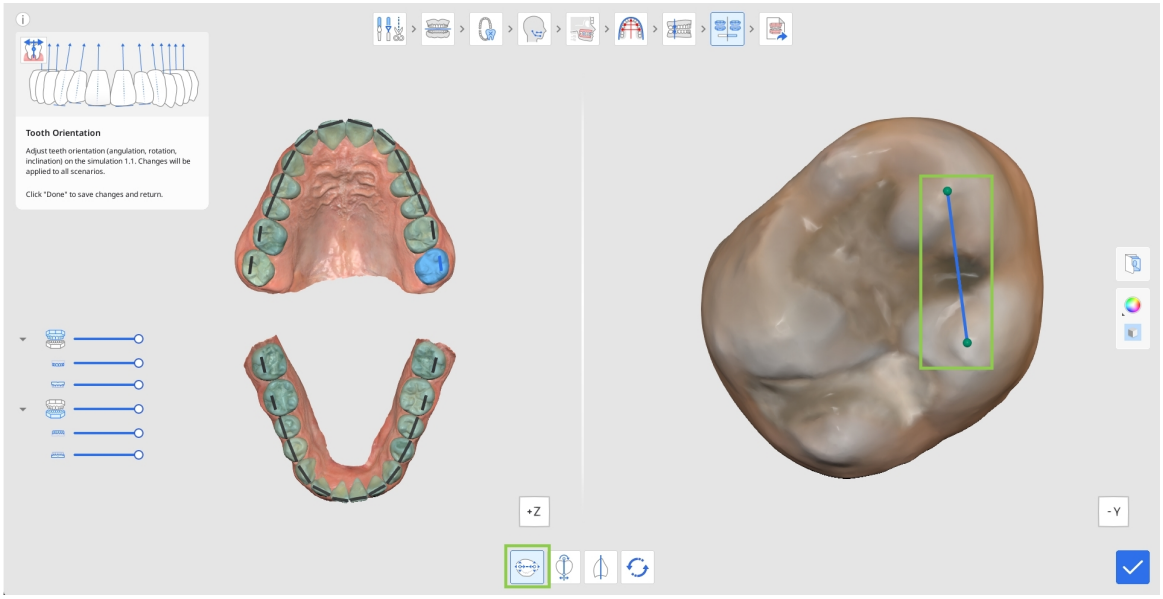
- 選択した歯列弓フォームを基準として維持される回転の量と方向。
- 咬合平面板からのアンギュレーション(傾斜)の程度。
- 咬合平面板からのインクリネーション(トルク)の程度。

歯の向きの検出エラーは、変形した歯、縁が摩耗または不均一な歯、埋伏歯や過密歯、スキャン品質の低下、その他の合併症によって発生する可能性があります。 これらのエラーは、シミュレーション1.1を元のスキャンデータと比較して確認する際、水平になっていない、整列していない、または何らかの方向にずれているように見える歯を確認することで検出できます。 このツールはシミュレーション1.1を使用して、すべての歯が水平に調整され、選択した歯列弓フォームに整列された後の向きを表示します。

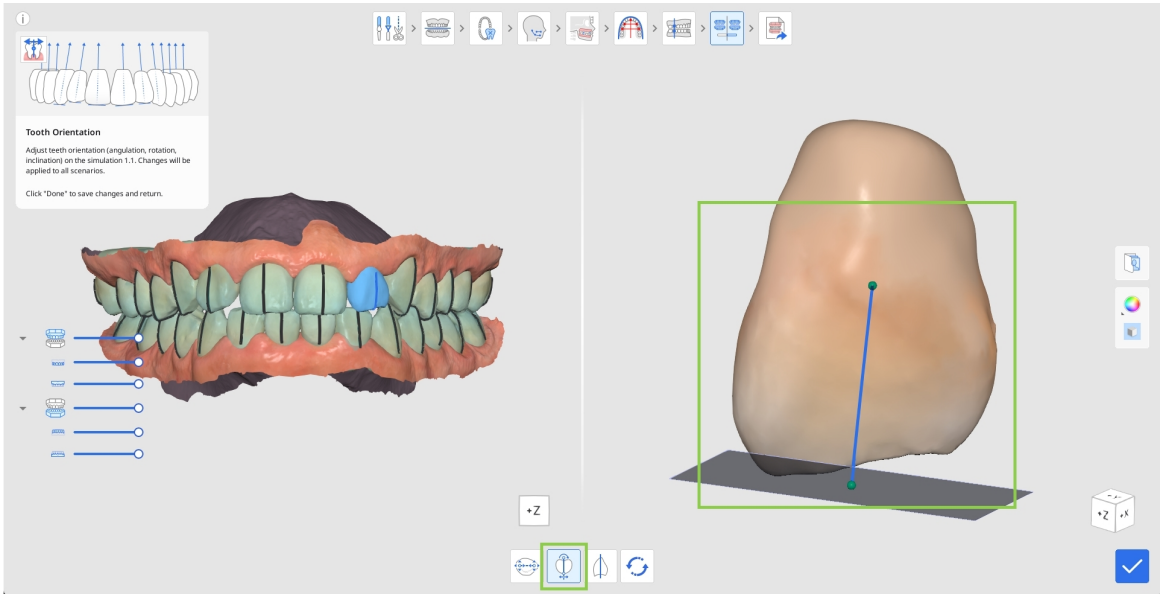
向きの変更は、ソフトウェアが各歯の現在の位置を識別する方法に適用され、そのため、すべてのシナリオに変更が自動的に適用されます。



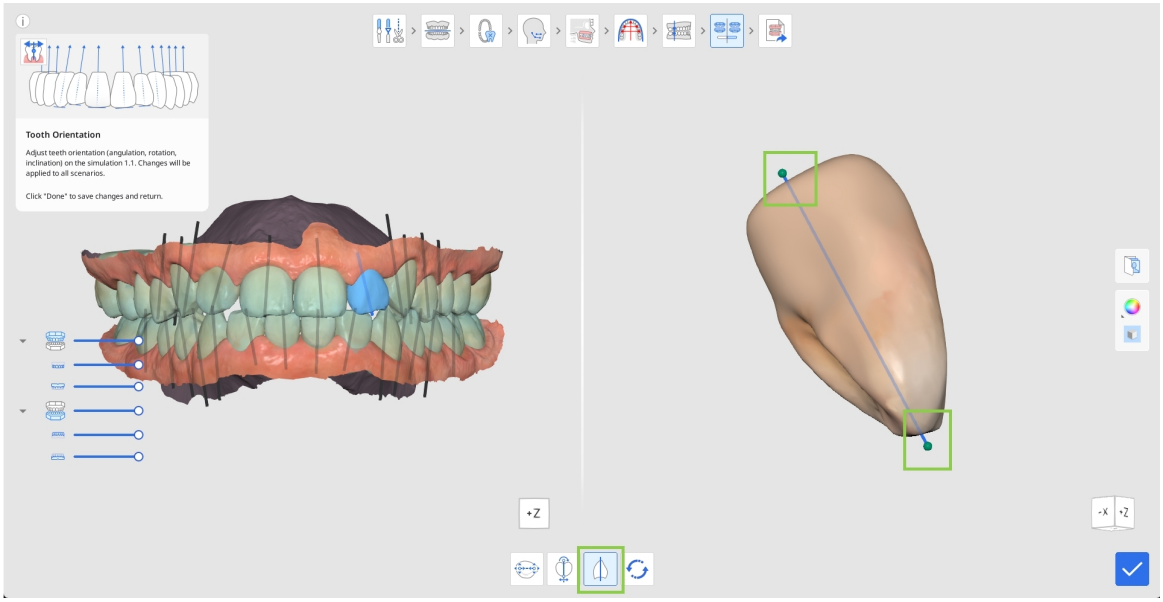
1. 任意の歯をクリックして、その向きの調整を開始します。デフォルトでは、「回転」ツールが最初にアクティブになります。 選択した歯は右側に表示され、回転は両端に緑色の制御点がある青い線で示されます。 回転を調整するには、いずれかの点をドラッグして、青色の線が各歯の検知された回転を正確に示すようにします。



2. 咬合平面板からのアンギュレーション(傾斜)の程度を編集するには、「アンギュレーション(傾斜)」をクリックします。 次に、歯を選択し、制御点をドラッグして位置を変更し、調整を開始します。 咬合平面は、参照用として青色の線の切縁に表示されます。



3. 咬合平面板からのインクリネーション(トルク)を編集するには、「インクリネーション(トルク)」をクリックします。 次に、歯を選択し、制御点の点をドラッグして調整を開始します。



4. 最初に特定した歯の向きに戻す場合は、下のツールボックスで「リセット」をクリックします。



5. 右下隅の「完了」をクリックすると、シミュレーションプレビューと比較に戻ります。

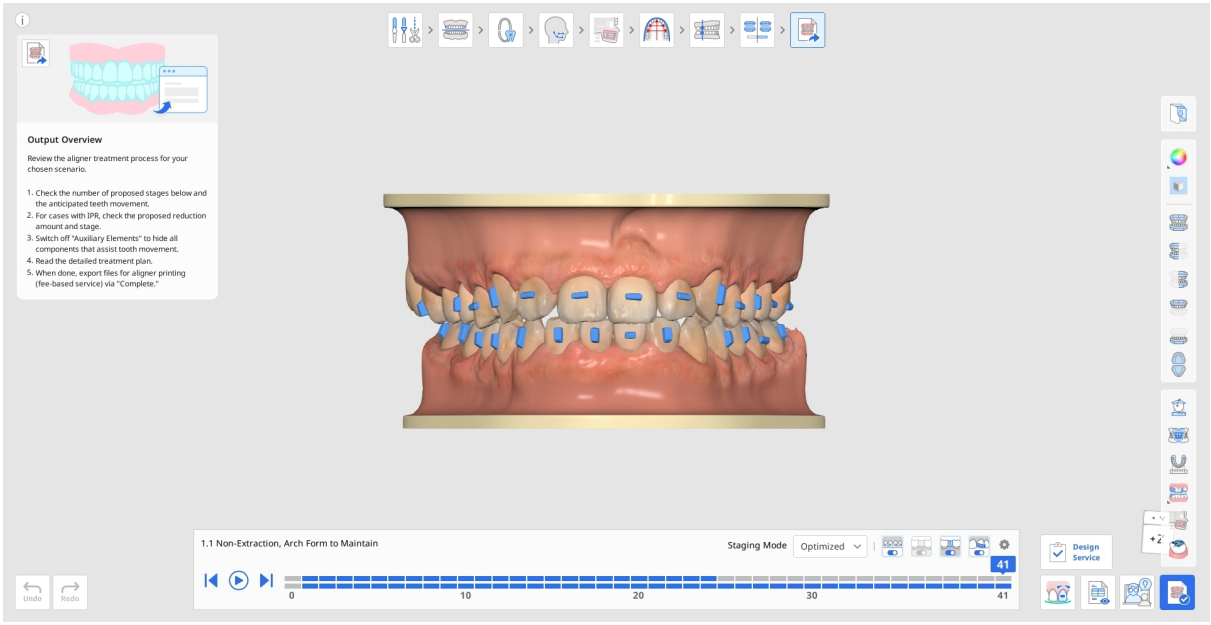


結果の概要

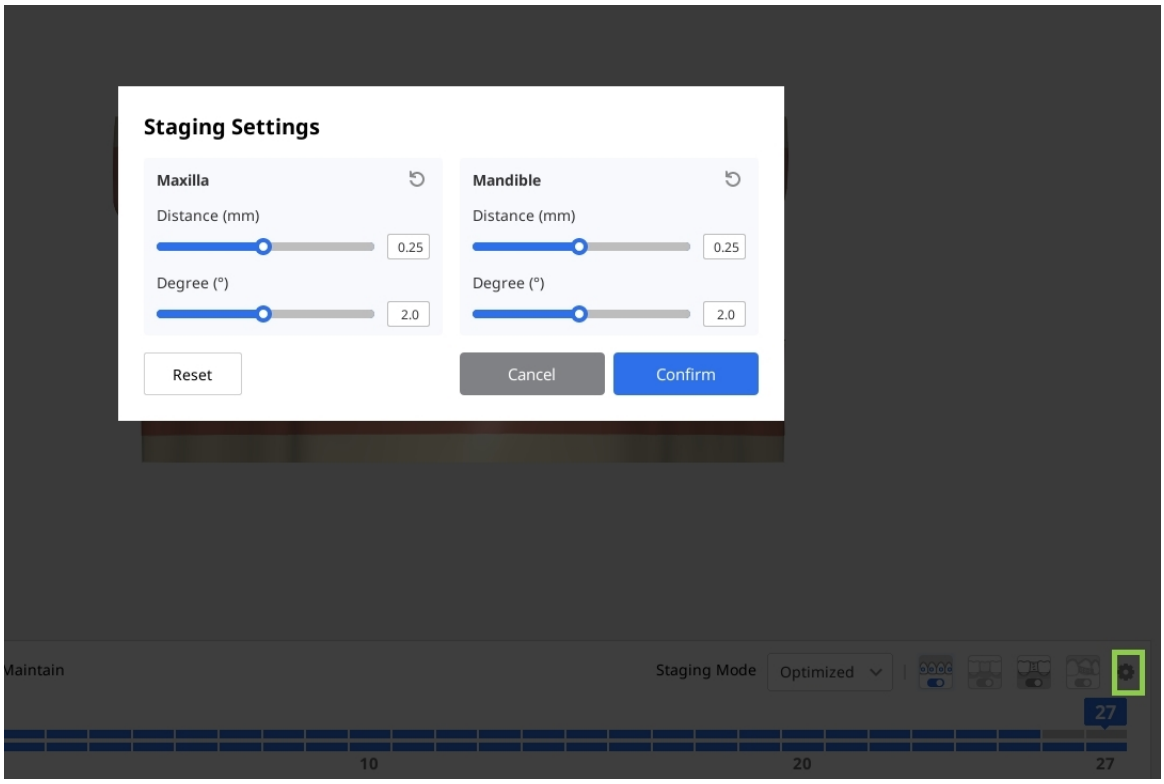
┌結果の概要┘はワークフローの最後のステップです。 ここでは、器具の製造または注文に進む前に、選択した治療シナリオの詳細を確認できます。 このステップの目的と機能は、以前に選択した器具オプション(アライナーまたはブラケット)によって異なります。

アライナー

前のステップで┌アライナー┘のオプションを選択した場合には、治療シミュレーションの模型、模型の調整用の機能、アライナー工程のセットアップオプションが表示されます。

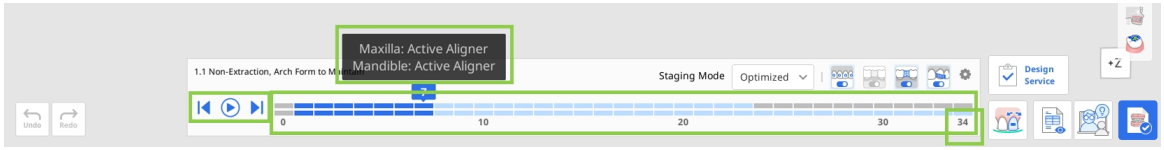


1. 入力すると、┌工程設定┘で工程の速度を調整するよう提案されます。 すぐに必要な調整を行うか、工程ナビゲーションボックスの右上すみの歯車アイコンを使用して後で戻ることができます。 デフォルト工程の速度は0.25 mm / 2.0°です。



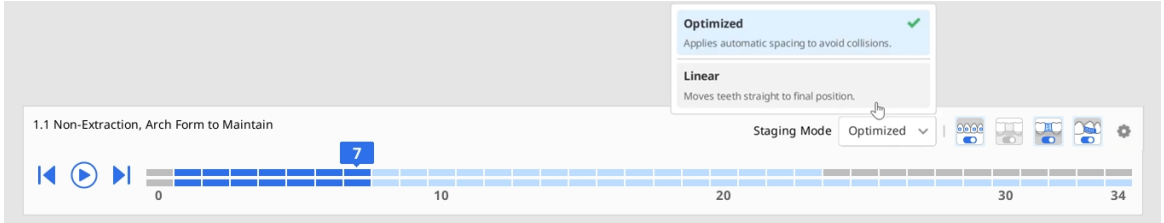
2. まず、アライナー作成の推奨工程を確認します。 画面下部の工程ナビゲーションボックスでは、ソフトウェアによって治療全体がどのような工程に分割されているかを確認できます。 上の線は上顎の工程、下の線は下顎の工程を表しています。 各工程は、作成される1つのアライナーに対応しています。

   再生ボタンを使用すると、治療シーケンス全体をアニメーション化したり、任意の工程をクリックしてその詳細を確認することもできます。



3. 「工程モード」を使用して工程をコントロールすることもできます。このモードでは最適または最短を選択できます。

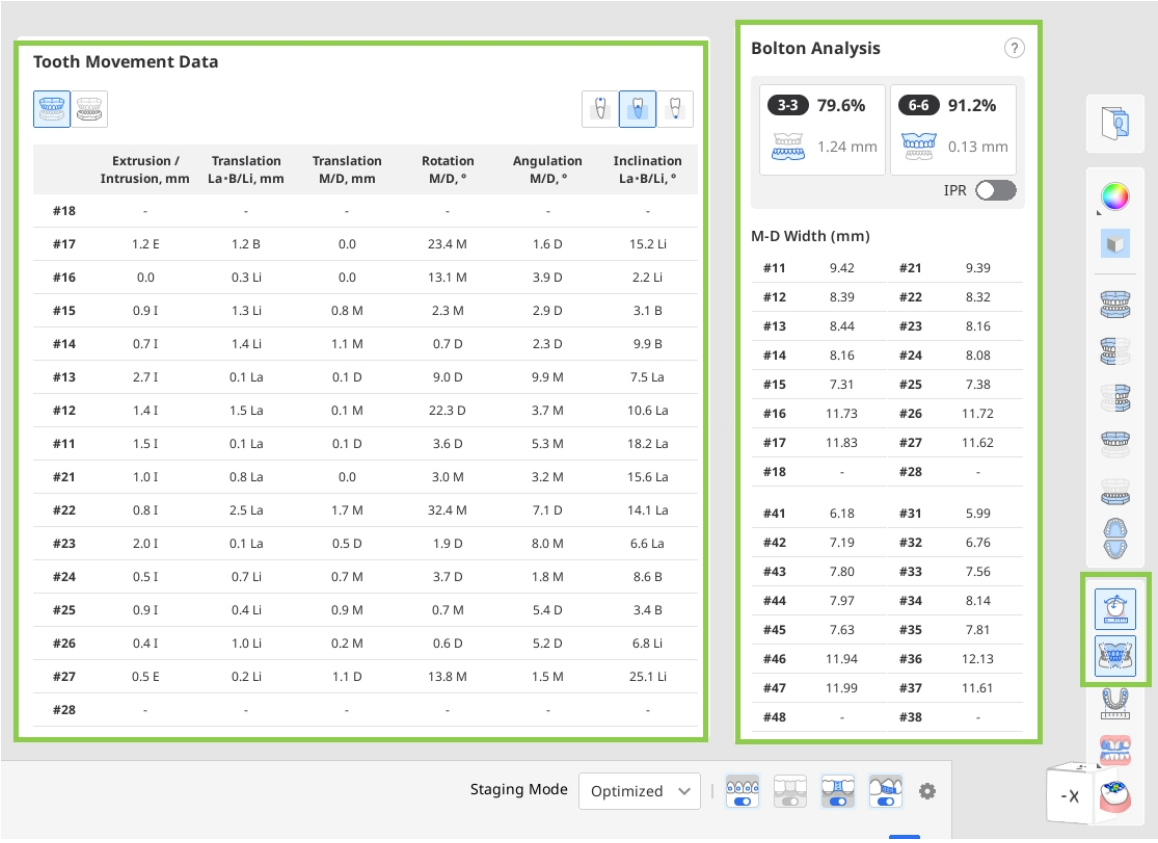
   最適モードを使用すると、自動で間隔が調整され、干渉を避けながら、歯を徐々に移動することができます。 その結果、工程合計数が増える可能性があります。 最短モードを使用すると、歯は最終の位置へすぐに移動されます。 これにより、最小限の歯の移動のケースで合計工程数を削減できます。



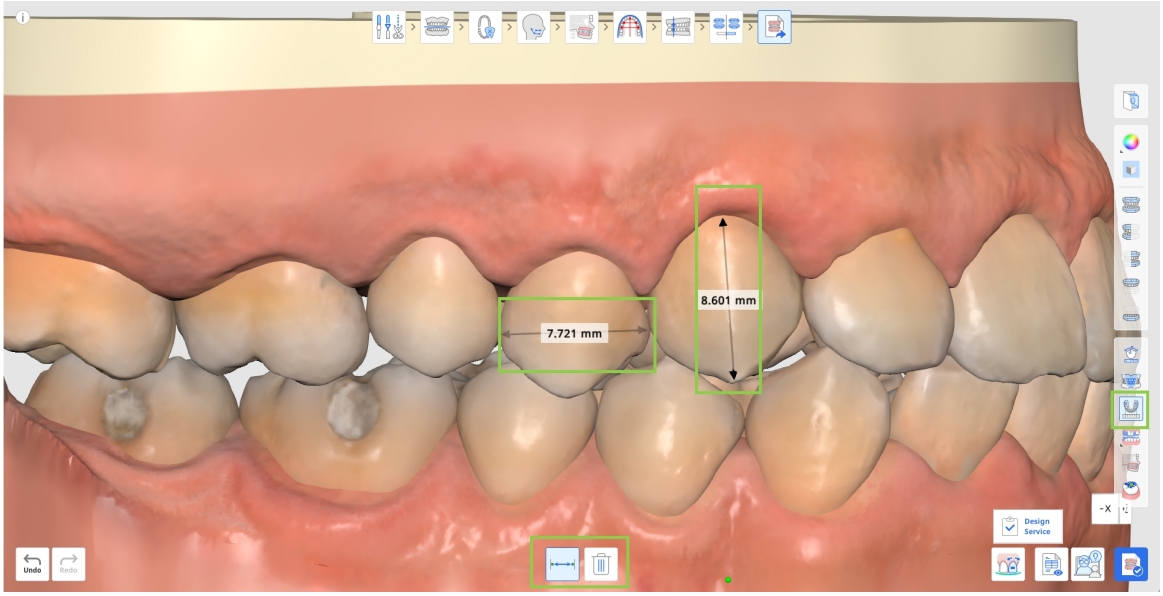
4. ナビゲーションボックス内の表示トグルを使用して、矯正歯の移動装置、ポンティック、歯間部閉鎖、IPRの表示・非表示を操作します。



5. サイドツールバーのツール群を使用して、歯の移動とボルトン比の詳細な分析を表示します。

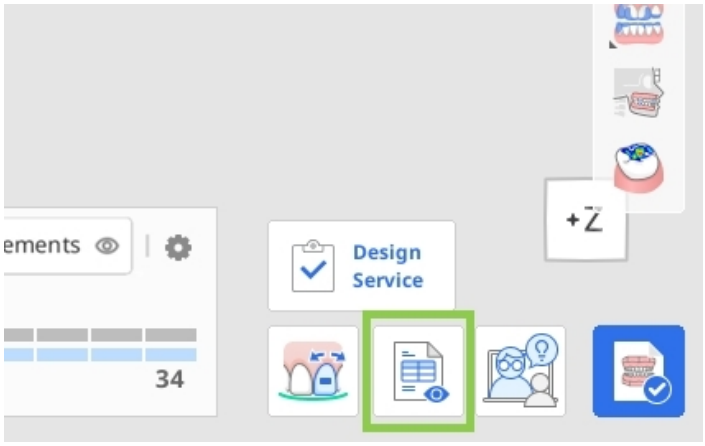


6. サイドツールバーの[測定]を使用して、任意の2点間の距離を素早く測定できます。 測定された距離は、3Dモデル上で注釈として表示されます。 このツールを使用中のみ、測定結果が表示されることにご注意ください。

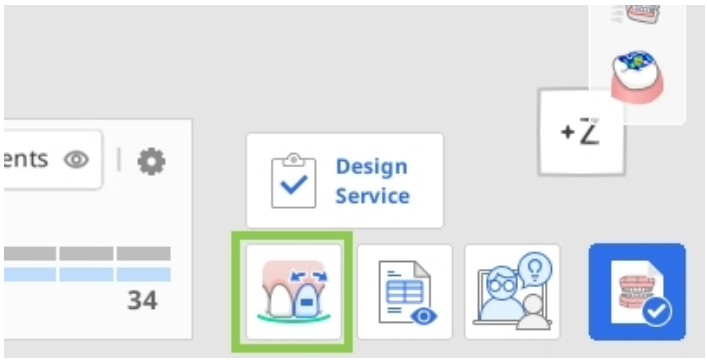


7. また、治療シナリオに合わせて提供されたステップバイステップの詳細な治療プランを開いて読むこともできます。

> **注意**
>
> この機能はオンライン環境でのみ利用できます。



8. 必要に応じて、「治療の調整」機能を使用して、生成された治療シミュレーションを改善できます。使用法の詳細については、本章の後半で説明します。



9. 完了したら、「完了」ボタンをクリックして、プロジェクトを保存し、自分でプリントするためにアライナーのファイルをエクスポートするか、Medit Aligners製品を注文するかします。 後者の2つ(ファイルのエクスポートと製品の注文)は有料オプションですので、ご注意ください。

> **有料機能**
>
> 後者の2つのオプションは有料機能ですので、ご注意ください。 料金はスキャナー所有の状態や場所により異なります。
> 有料でのファイルエクスポートの詳細については、こちらをクリックしてください。
> Medit Aligners注文の詳細については、こちらをクリックしてください。

治療の調整機能の使用法

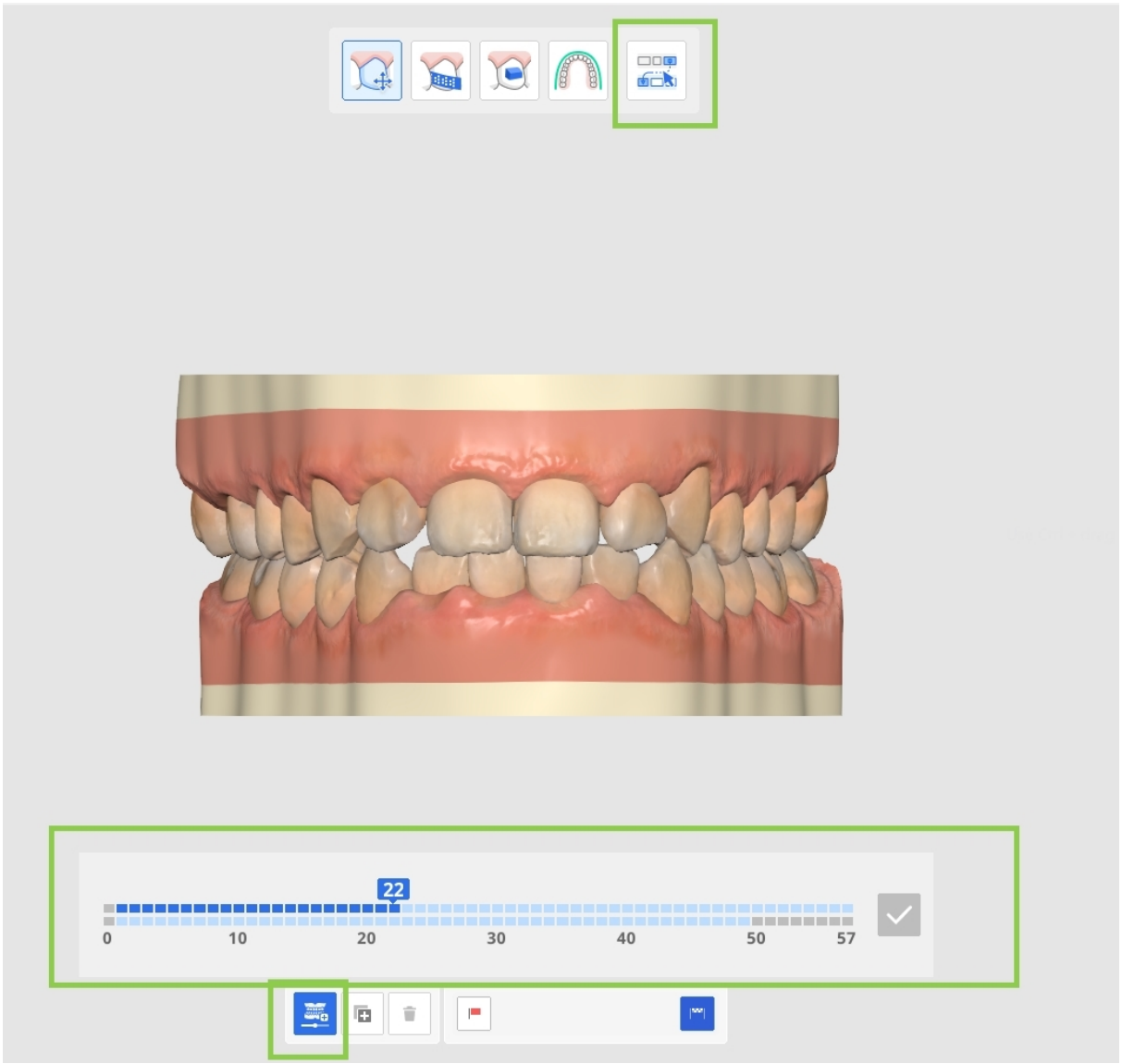
この機能により、歯の移動、歯列弓フォーム、IPR値、矯正補助要素を手動で調整して、生成された治療をより正確に修正できます。 このモードに入ると、歯の移動調整ツールがデフォルトで選択されます。

	歯を移動	シミュレーションで歯の最終的な位置をそれぞれ手動で調整します。
	IPRと隙間を編集	隣接歯間の削除(IPR)と歯の隙間を調整し管理します。
	矯正補助装置を編集	矯正補助要素のタイプ、大きさ、位置を変更します。
	歯列弓フォームを編集	歯列弓フォームの形を調整します。
	レイヤー編集	自動的に生成される工程間に中間レイヤーを追加し、歯の位置決めとIPR設定の両方を手動で調整して、治療進行をより細かくコントロールできるようにします。

レイヤー編集

この機能を使用すると、自動生成された工程間に中間レイヤーを追加・編集できるため、歯の移動や治療の進行をより細かくコントロールできるようになります。 各レイヤーごとに歯の位置とIPR設定値を別個に調整できます。

画面の一番下にある[レイヤーを追加]をクリックし、新しいレイヤーを挿入する工程を選択します。 上顎と下顎の工程の両方を選択する必要があります。

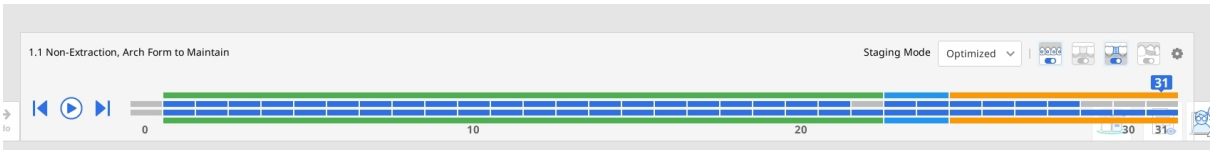


次に、選択したレイヤーの歯の位置とIPRの値を、必要に応じて調整します。

既存のレイヤーを複製するには、そのレイヤーを選択し、[コピー]をクリックします。 最初と最後のレイヤーを含めて、最大10レイヤーを作成できます。
すべての調整が完了したら、[完了]をクリックし、メイン画面に戻ります。



作成されたレイヤーは、ナビゲーションボックス内に色付きで表示され、治療の一連の流れの中で識別しやくなっています。 必要に応じて[工程設定]を使用し、各レイヤーの開始点を同期させてください。

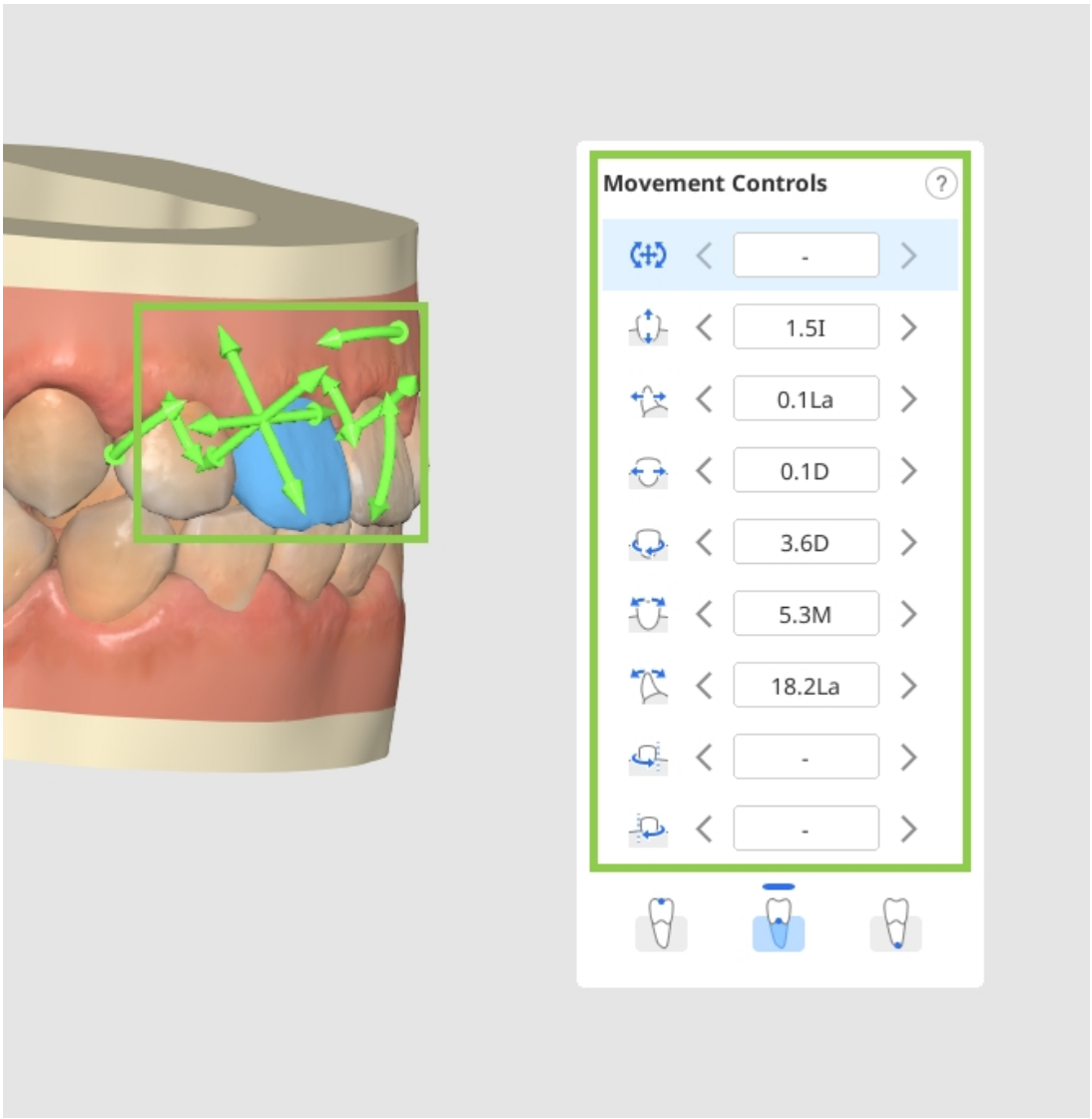


歯を移動

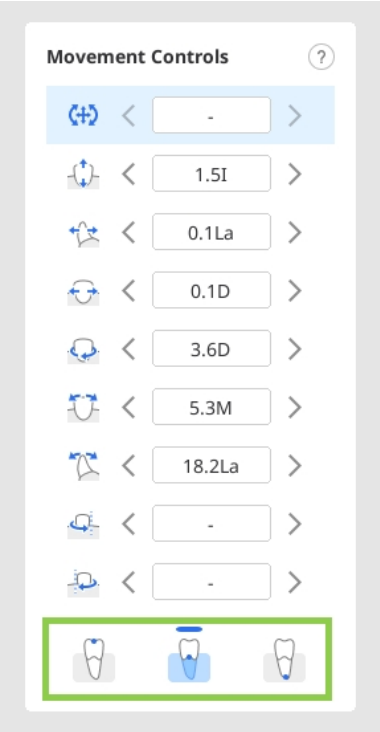
┌運動コントロール┘パネルで移動タイプを選択するか、対象の歯を直接選択します。 次に、緑色のコントロール矢印、または┌運動コントロール┘パネルの数値を操作して、歯の位置を調整します。

ヒント

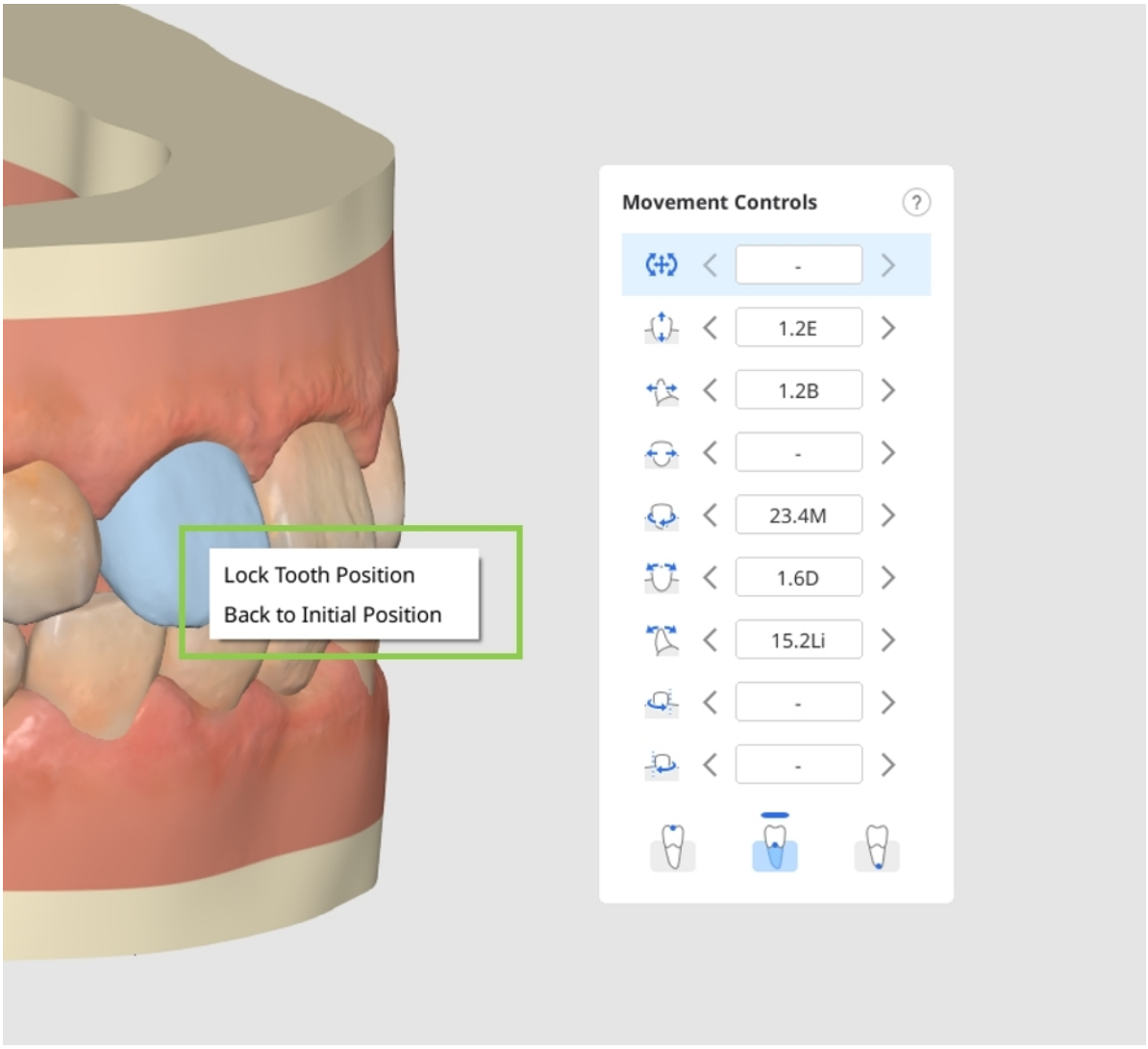
Ctrl/Commandキーと┌自由に移動┘オプションを使用して、データを回転させることもできます。



歯の移動は、歯冠、抵抗中心、または根尖によって行うことができます。 移動コントロールウェジェットで必要なものを選択します。



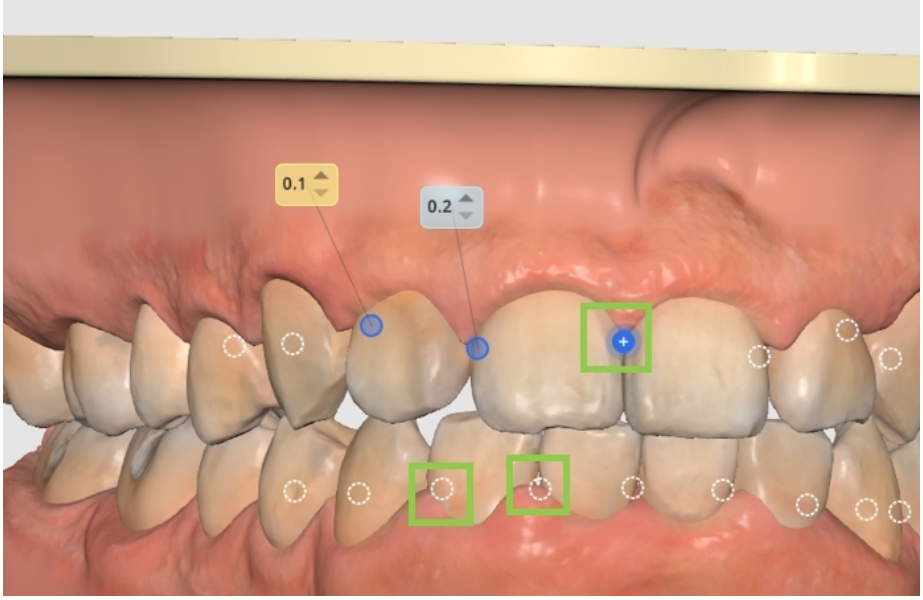
シミュレーション内のどの歯でも、「元の位置に戻す」オプションを使用して治療前の位置に戻すことができます。 使用する歯を右クリックします。右クリックして歯の位置をロックすることもできます。



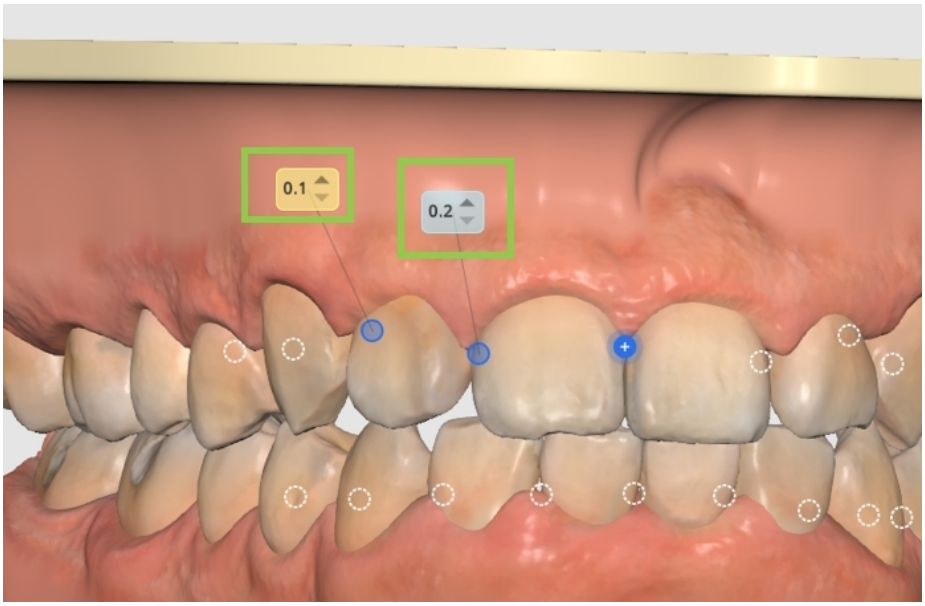
IPRと隙間を編集

隙間またはIPRを追加する歯の間にある円をクリックします。

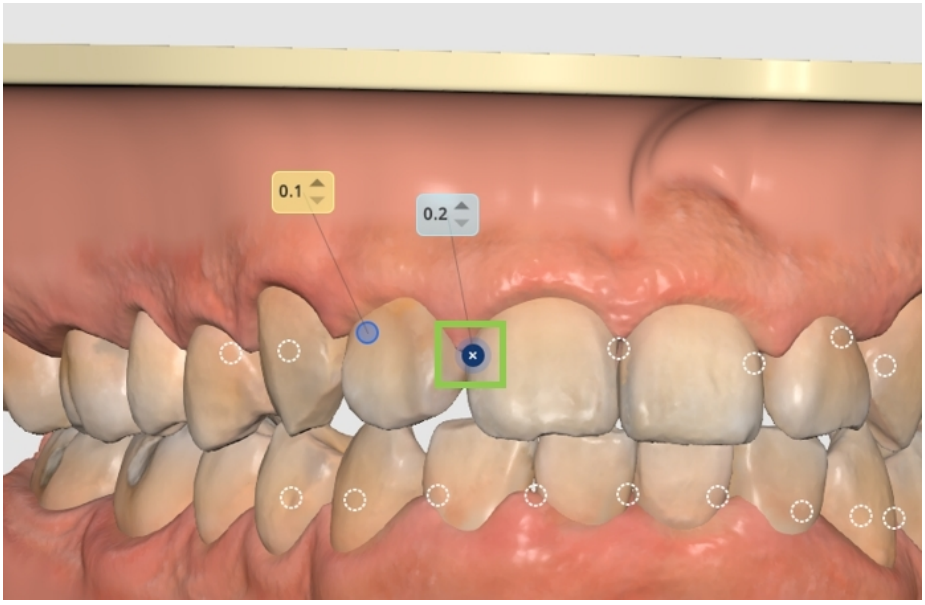
> ⚠ **注意**
>
> レイヤーを含むシミュレーションに対しては、間隔機能を追加することができません。



次に、必要に応じて値を調整して、希望する隙間またはIPRを設定します。青色の値はIPRを表し、黄色の値は隙間を示します。



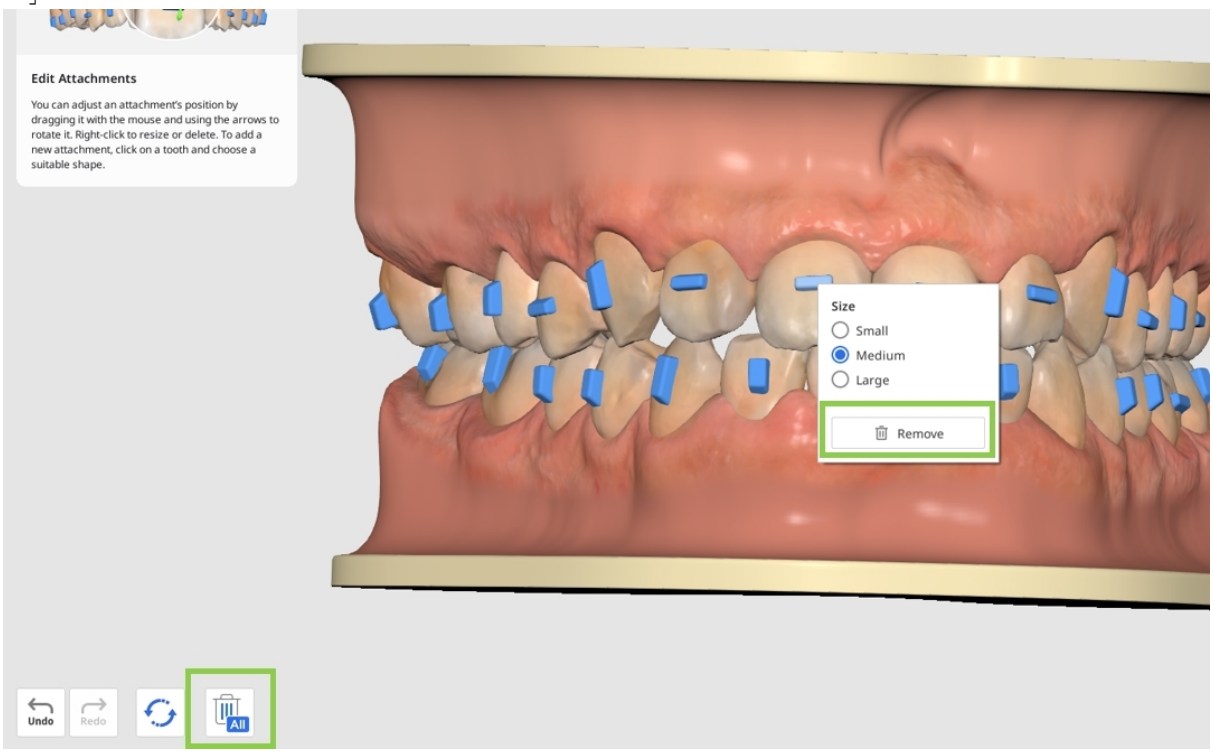
隙間/IPRを削除するには、円をもう一度クリックするだけです。 ロックする歯を右クリックして位置をロックできます。



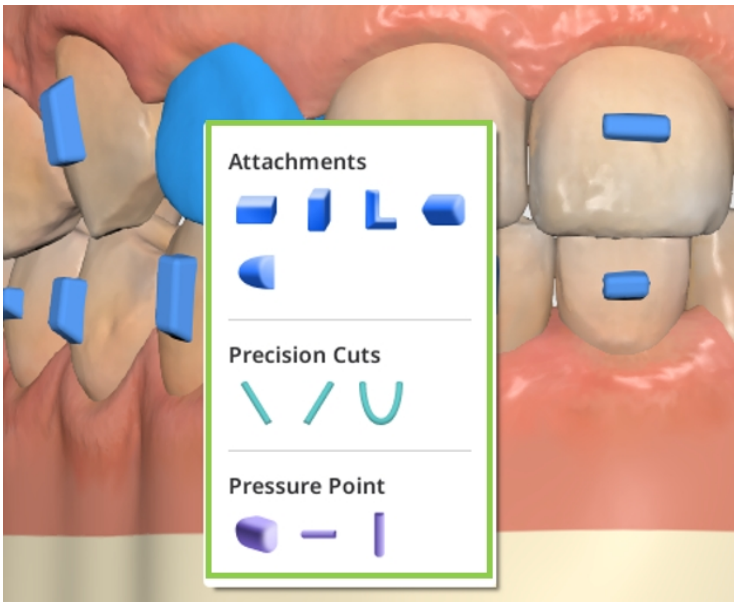
> ⚠ **注意**
>
> 解消されていない歯の重複が許容されるIPR値を超えた場合、対象の歯と治療レイヤーを特定する通知が表示されます。 治療計画は、処理前に調整する必要があります。

矯正補助装置を編集

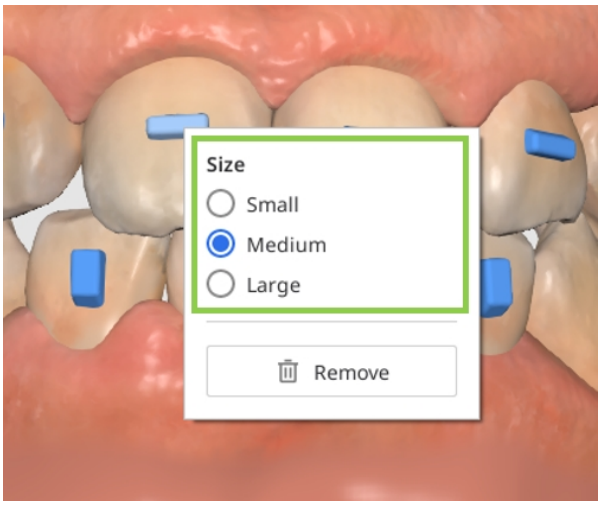
デフォルトのアタッチメントは、右クリックして個別に削除することも、左下隅の「矯正補助装置を削除」オプションを使用してすべてを一度に削除することもできます。



歯をクリックして、デフォルトのアタッチメントを変更したり、新しい矯正補助要素を追加したりします。 使用できる補助要素のタイプには、基本形のアタッチメント(水平、垂直、楕円など)、エラスティックを使用する際に必要となるプレシジョンカット用のガイドライン、プレッシャーポイント用の要素の3種類があります。



いずれかの要素を右クリックすると、大きさを調整したり、マウスを使ってドラッグして位置を自由に変更したりできます。

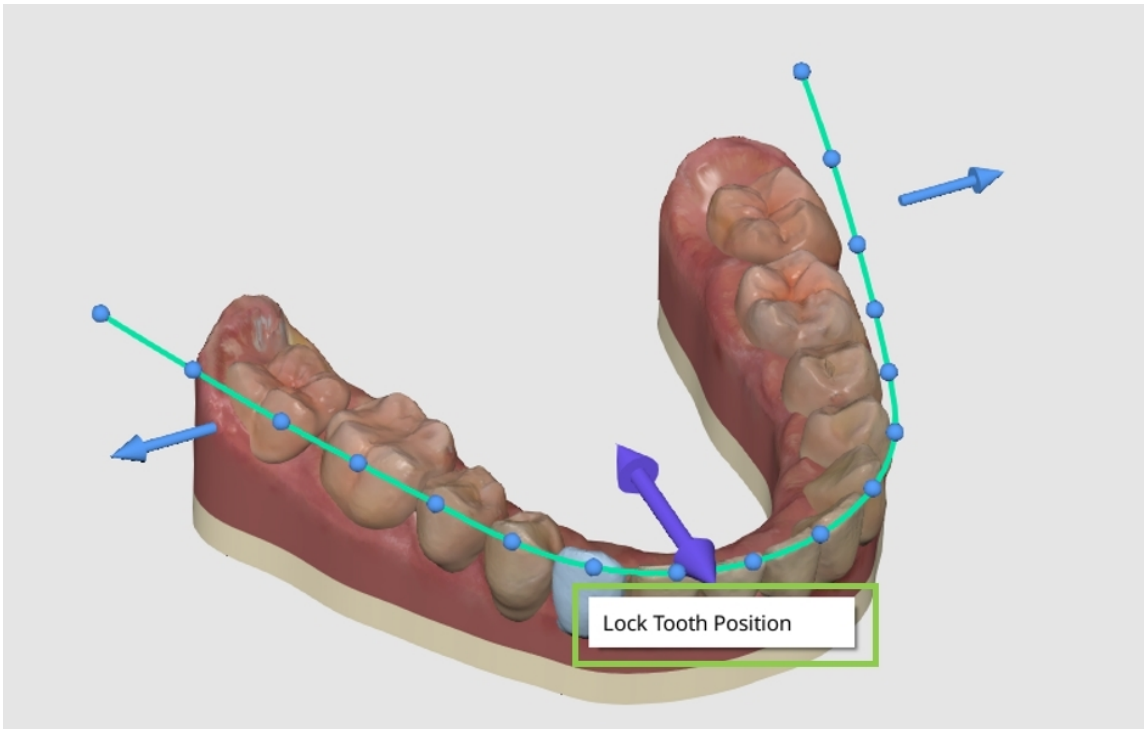


歯列弓フォームを編集

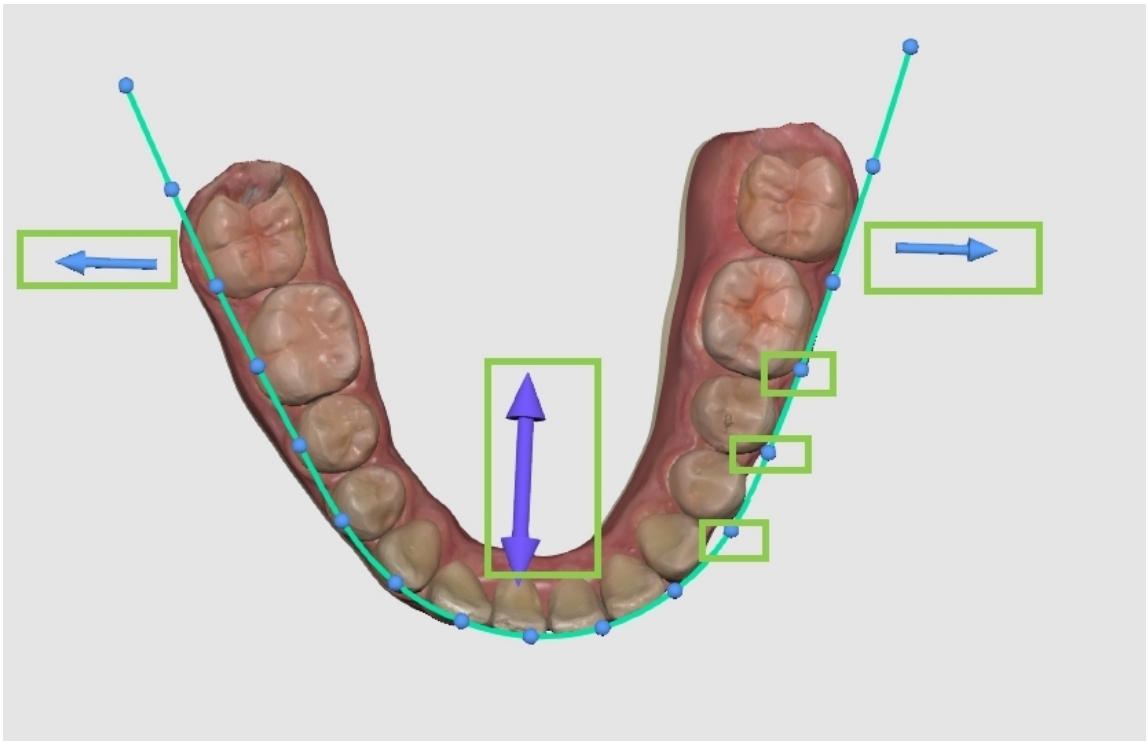
ヒント

この機能を使用する際の快適性を高めるには、サイドツールバーの表示オプションをご利用ください。

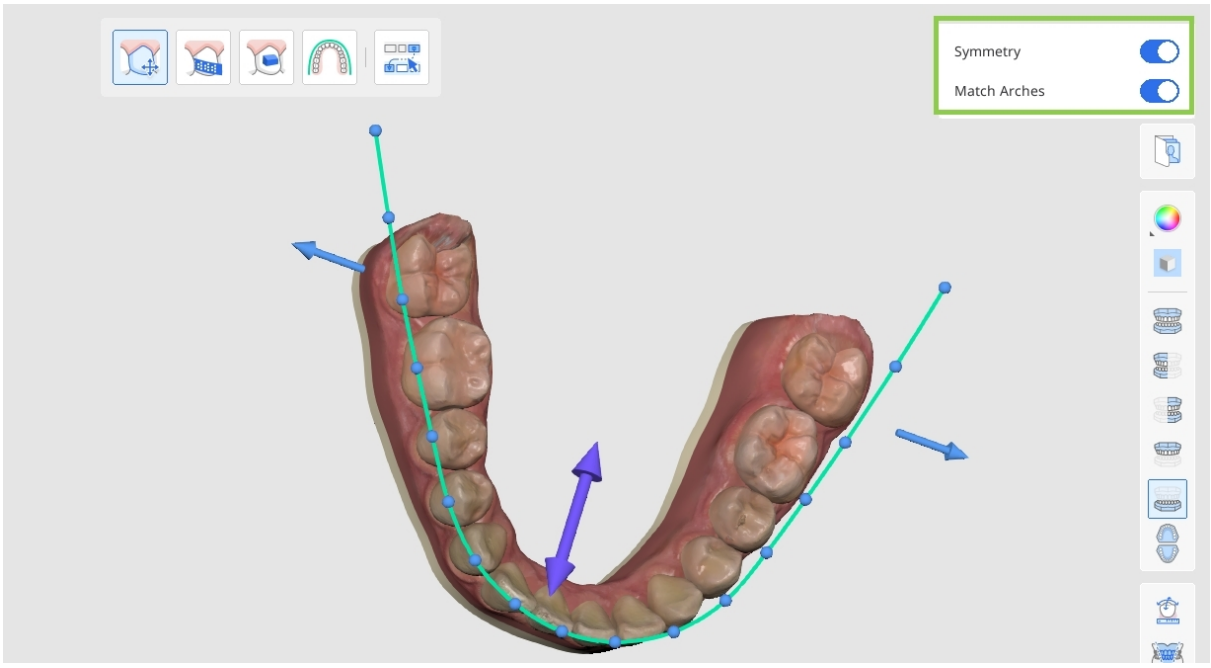
歯列弓フォームを調整すると、歯の移動に影響が出るので注意してください。 不要な変更を防ぐため、開始する前に歯を右クリックして歯の位置をロックすることができます。



次に、コントロール矢印で歯列弓フォーム全体を修正するか、コントロールの点を用いて歯ごとに細かく調整を行います。

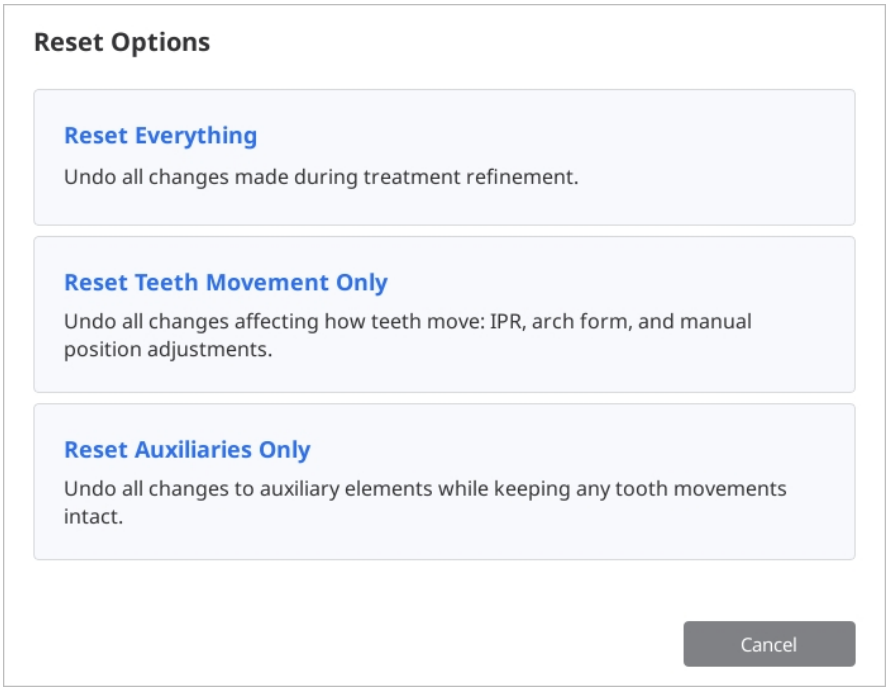


右上のトグルを使用し、「対称」を使用して歯列弓内、または「歯列弓を同期」を使用して歯列弓間で、変更をミラーリングします。



変更のリセット

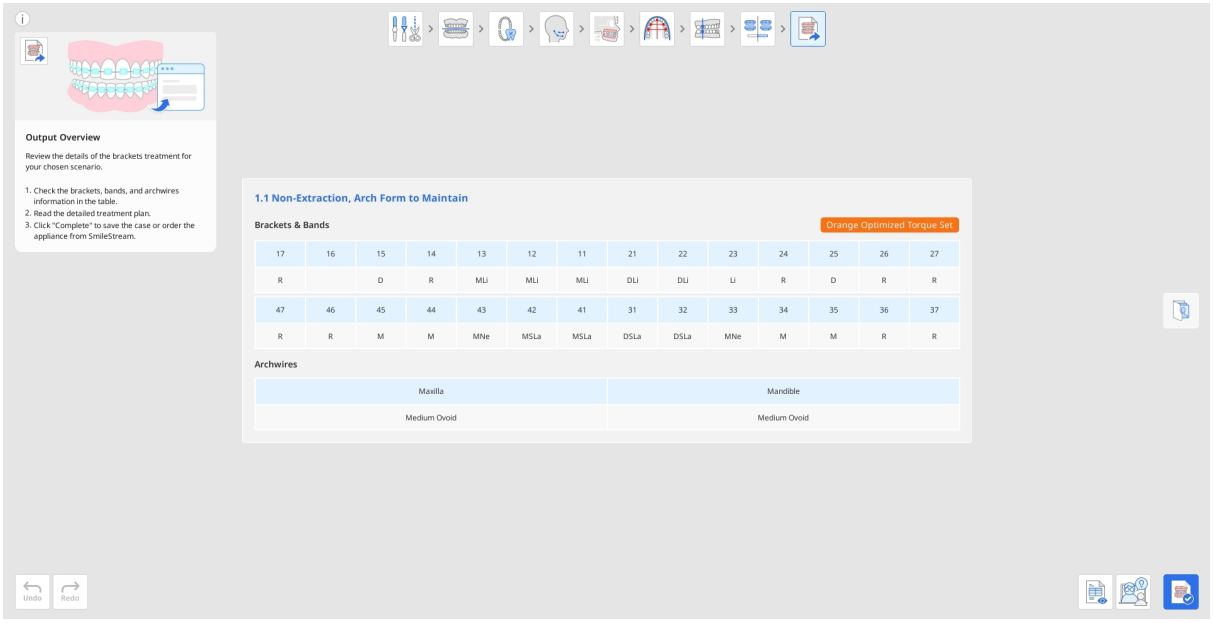
左下にある[元に戻す]ボタンを使って最近の変更を元に戻したり、[リセット]オプションを使用して複数の変更を元に戻すことができます。この変更には、すべての治療調整での変更、矯正補助要素だけの変更、または歯の運動に関連するすべての修正(IPR、スペース、手動での歯の運動、歯列形状の調整)が含まれます。



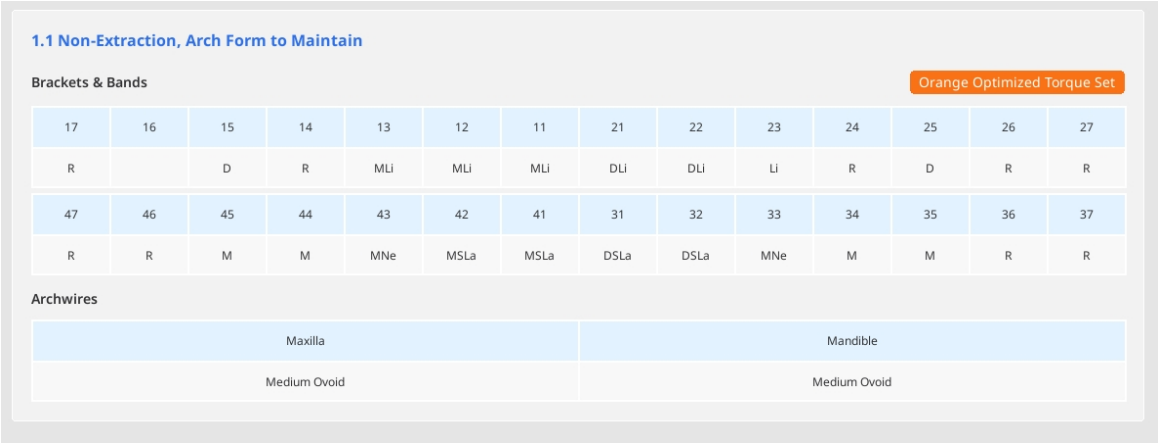
完了したら、右下隅の[完了]をクリックして治療の調整を保存し、[結果の概要]に戻ります。

ブラケット

前のステップで[ブラケット]オプションを選択した場合、治療に必要な器具の詳細な表が表示されます。



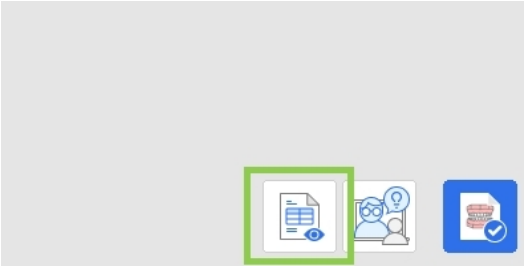
1. アーチワイヤー、バンド、トルク処方などの生成されたブラケット情報を確認します。これらの情報は注文プロセスを完了するためにSmileStreamに送信されます。



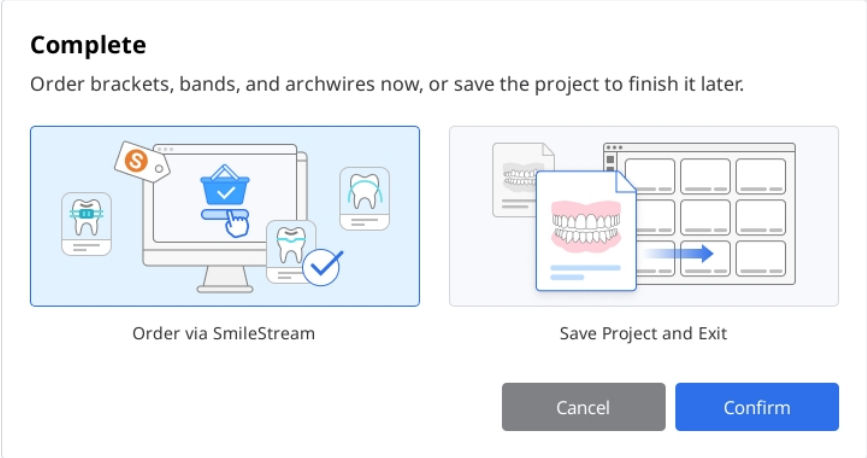
2. 選択したシナリオに合わせて提供されたステップバイステップの詳細な治療プランを開いて確認してください。

注意

この機能はオンライン環境でのみ利用できます。

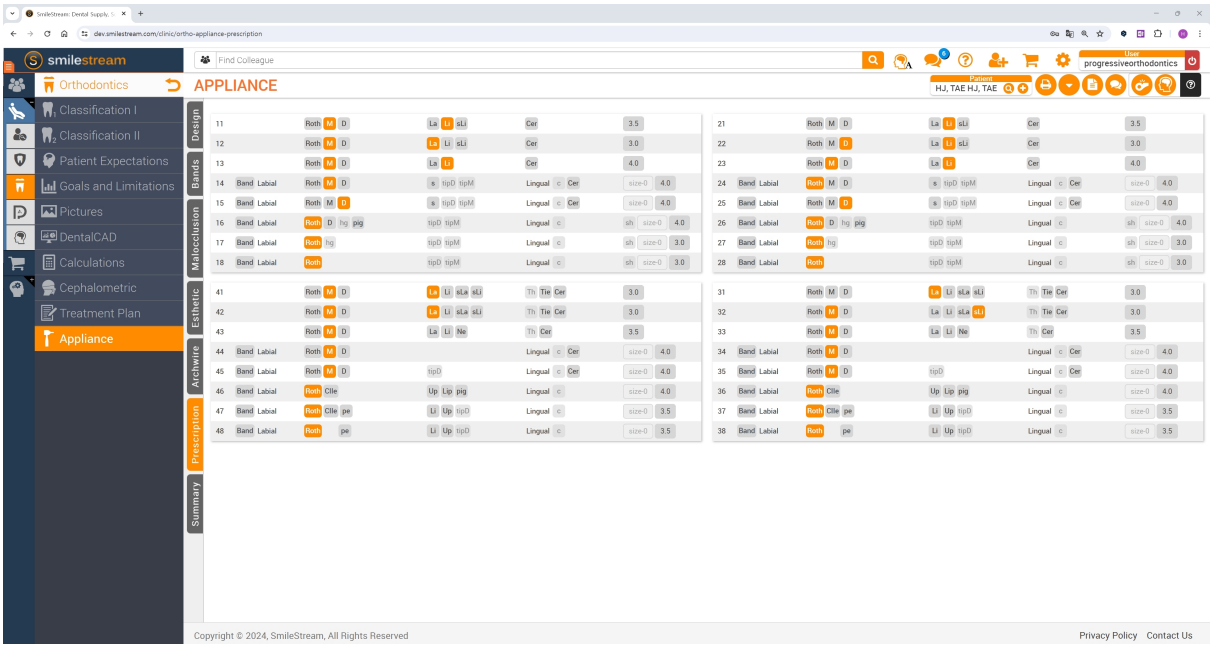


3. 終了したら、右下隅の[完了]をクリックし、プロジェクトを確定して保存します。 選択肢は2つあります。プロジェクトを保存してSmileStreamに移動し、注文プロセスを完了するか、プログラムを閉じてケースの進行状況をプロジェクトファイルとしてMedit Linkに保存し、後で注文するかです。



4. すぐに器具を注文することを選択した場合、ブラケットの注文に必要なすべての情報がSmileStreamと共有され、ユーザーは次のページにリダイレクトされます。 自動入力された情報をもう一度再確認してください。 すべての情報は、注文前であればSmileStreamで変更できますが、アプリでは更新されません。

> **注意**
>
> この機能はオンライン環境でのみ利用できます。

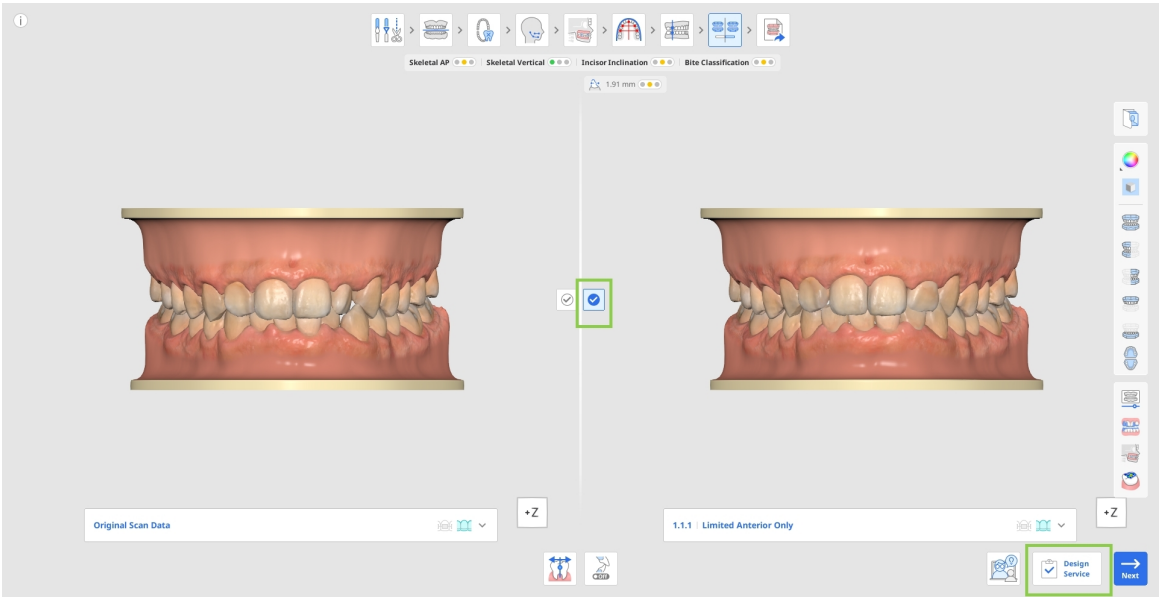

smilestream
Find Colleague
progressiveorthodontics
Orthodontics
APPLIANCE
Classification I
Classification II
Patient Expectations
Goals and Limitations
Pictures
DentalCAD
Calculations
Cephalometric
Treatment Plan
Appliance
Design
Bands
Malocclusion
Esthetic
Archwire
Prescription
Summary
Copyright © 2024, SmileStream, All Rights Reserved
Privacy Policy
Contact Us

別表

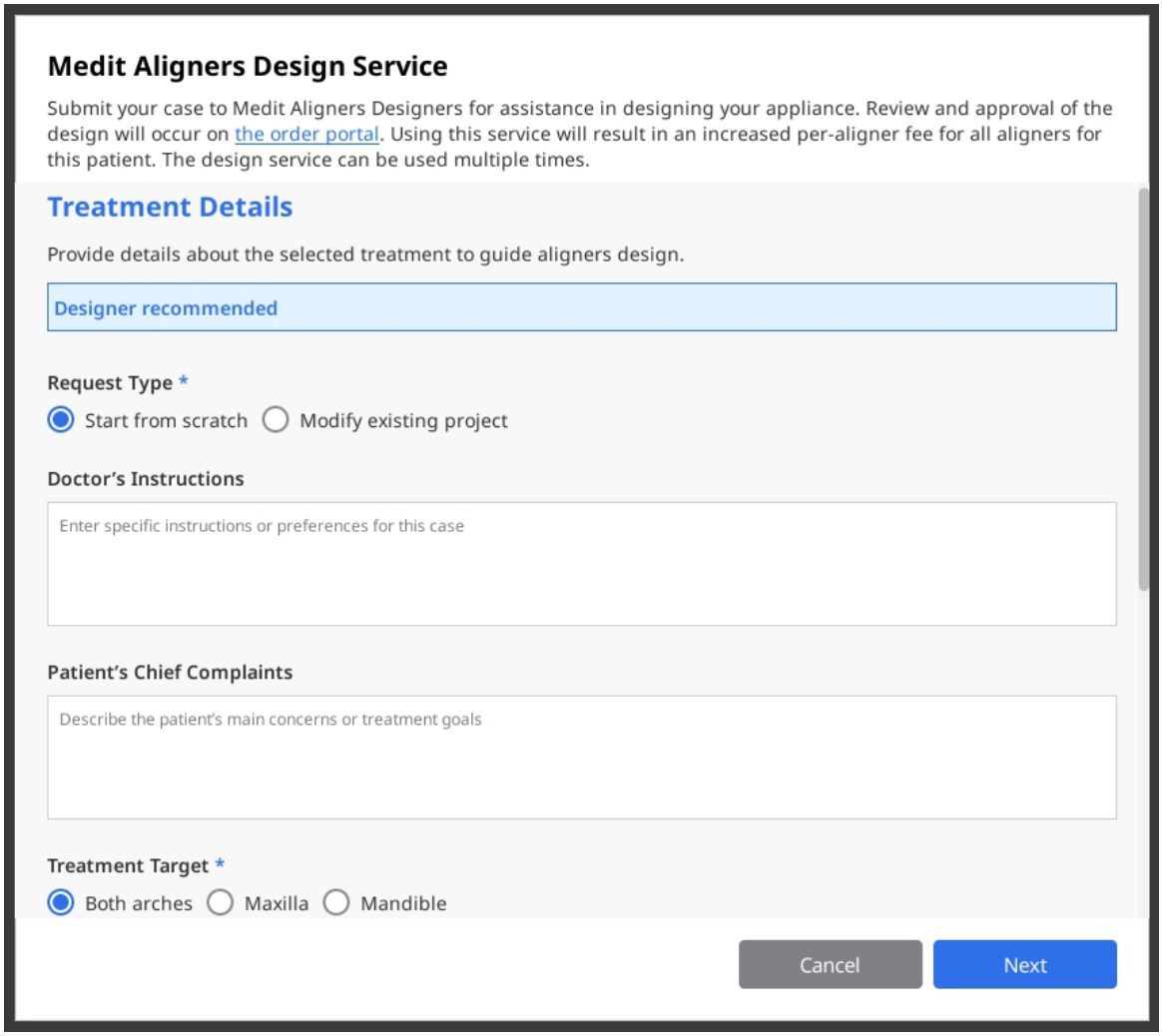
Medit Aligners設計サービス

Medit Aligner設計サービスでは、ユーザーはアライナーの設計と製作の両方を一度に依頼することができます。 このサービスは、「シミュレーションプレビュー」ステップで右下隅に表示される「設計サービス」ボタンをクリックして、ご利用いただけます。

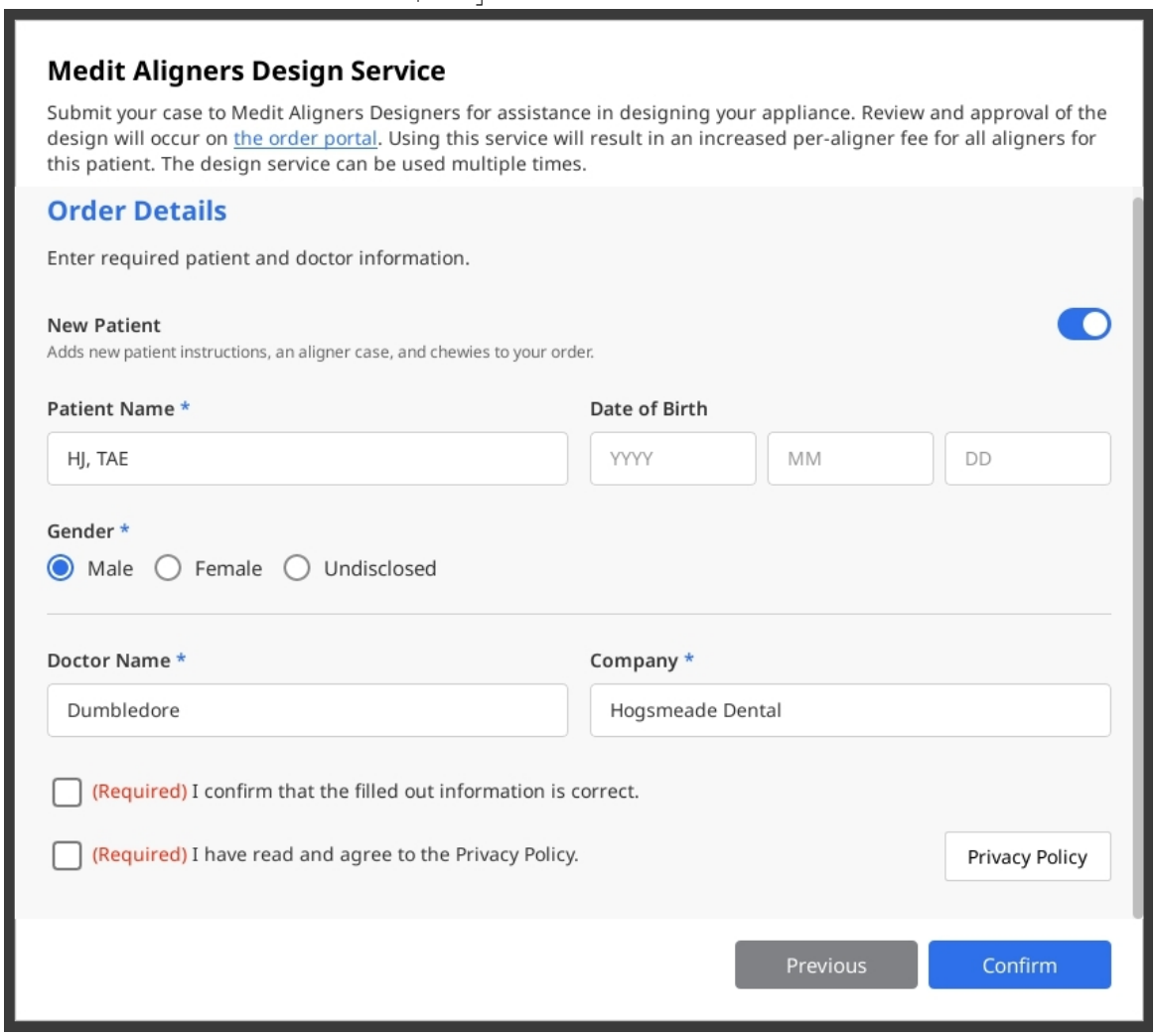
1. ご希望の治療シミュレーションを選択し、「設計サービス」をクリックします。



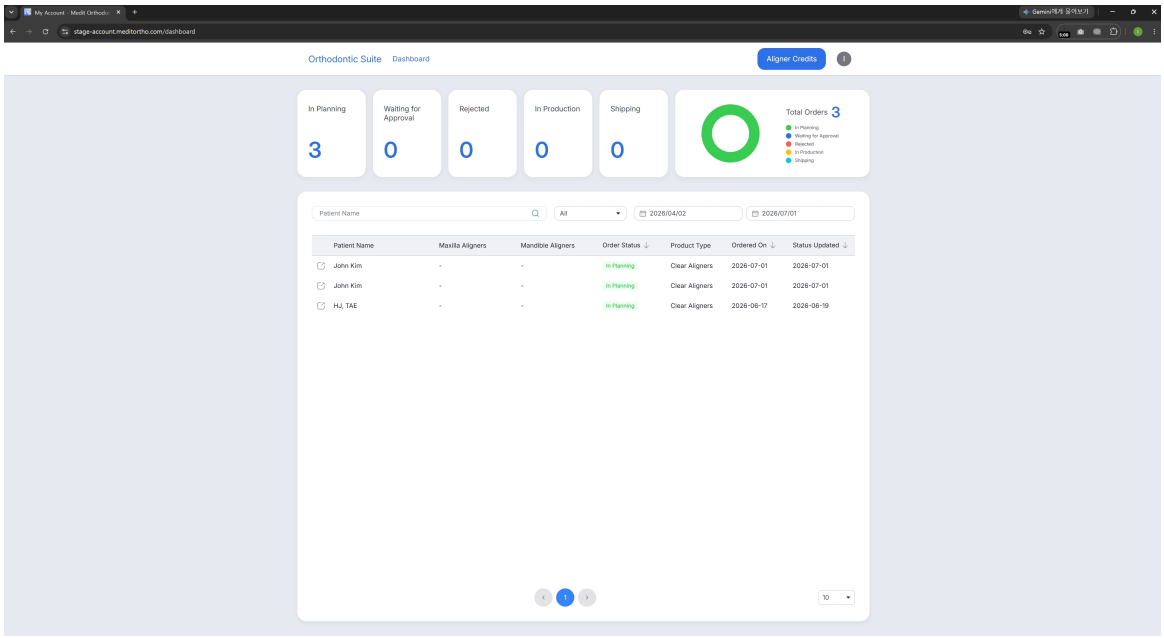
2. 必要な治療と注文情報を入力します。 入力必須欄は、アステリスク(*)が付いています。 設計者が意図されている結果を達成し、修正依頼を最小限に抑えるため、詳細な医師の指示書と患者の主訴を記載されることを強くお勧めします。



3. すべての入力必須欄を確認のうえ、[確認]をクリックし、注文を提出します。

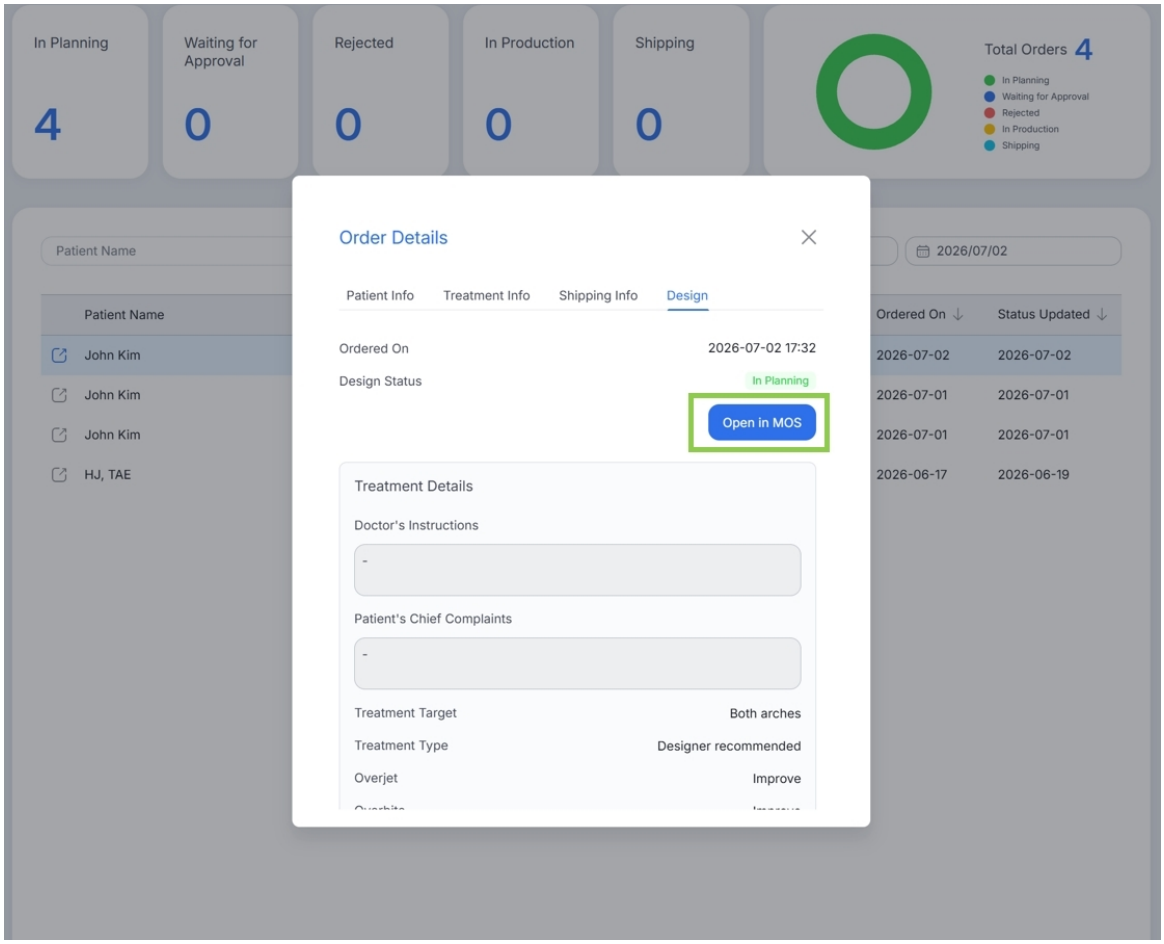


4. 計画、設計、製作のご依頼が加工を行う製作施設に送信されます。 注文詳細と注文状況の更新は、注文ポータルから確認・追跡できます。



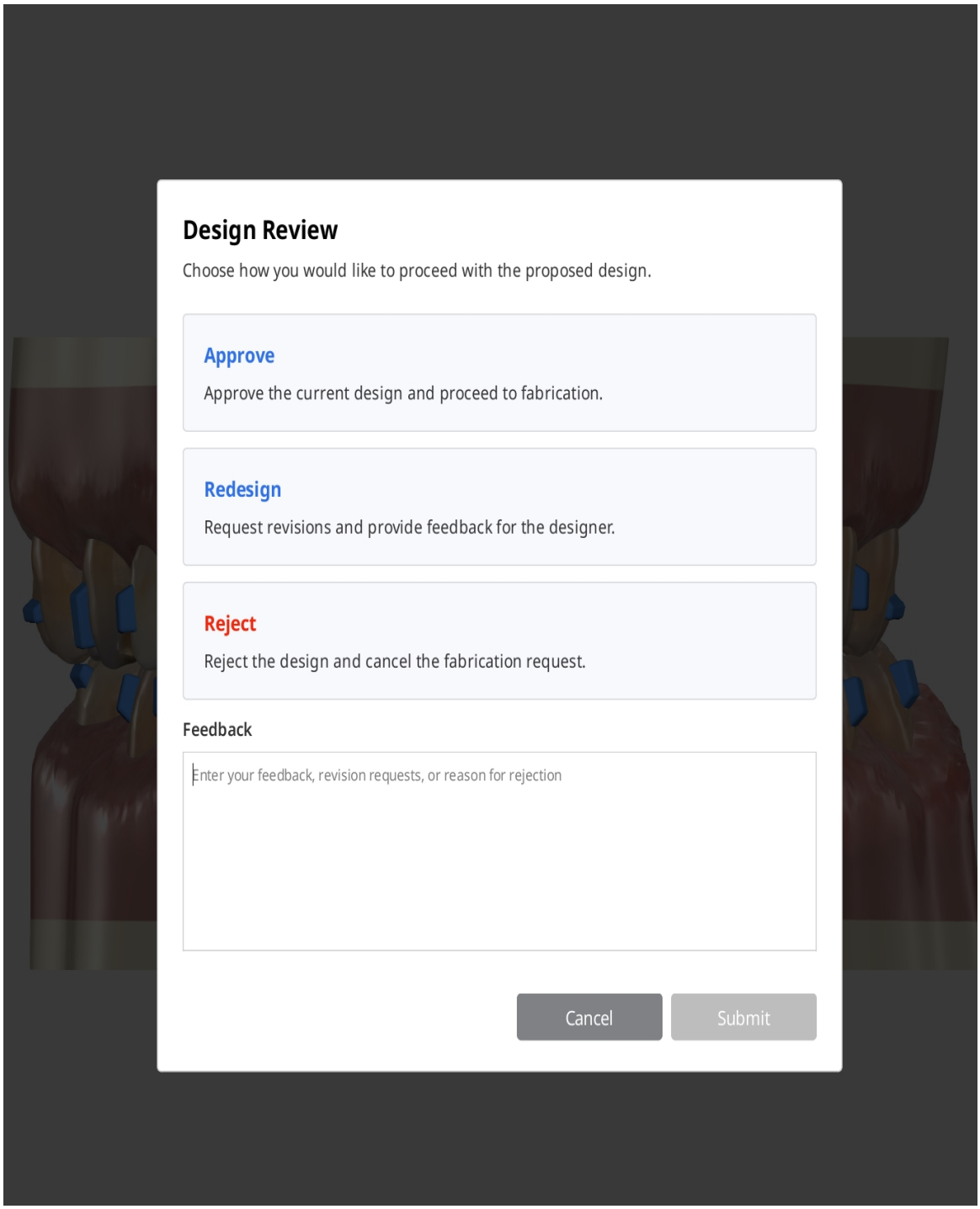
5. 治療計画の準備が完了しましたら、メール経由で通知が届きます。

6. 注文ポータルからケースを開き、Medit Orthodontic Suiteを起動し、計画の結果を確認します。 治療結果、治療工程、設計の詳細を確認してください。



7. 確認したら、次の操作のいずれかを選択します:承認、再設計、拒否 設計のやり直しまたは拒否を選択する場合には、設計者が必要な変更に対応できるようにフィードバックを必ず入力してください。

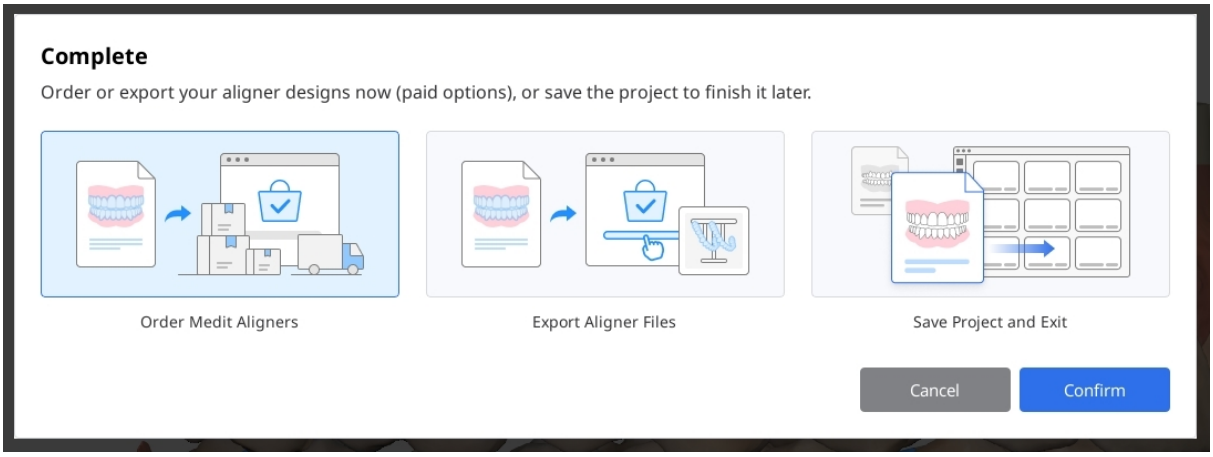
注意:設計を拒否にすると、設計の依頼とそれに関連する製作の注文の両方がキャンセルされます。



8. 設計が承認されると、アライナーの製作が自動的に開始されます。 製作と納品の状況は、注文ポータルから確認できます。

アライナーの注文とエクスポート

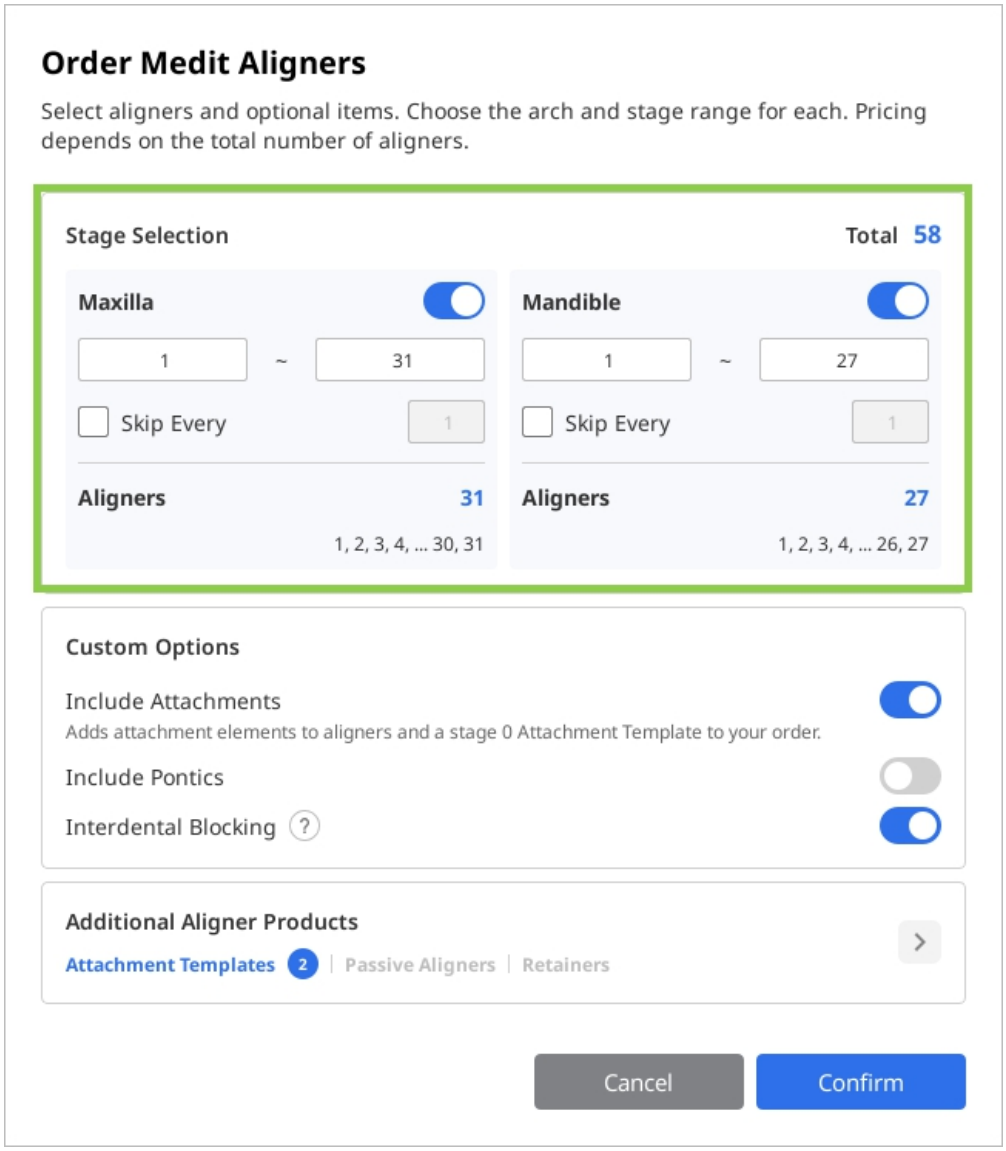
アライナーワークフローの最後で「完了」をクリックすると、次の3つのオプションのいずれかを選択できます:Medit Alignersを注文、院内での製作用アライナーファイルをエクスポート、今の状態のままプロジェクトを保存 最初の2つのオプションは、有料の機能です。 詳しい料金情報についてはMeditヘルプセンターをご覧ください。



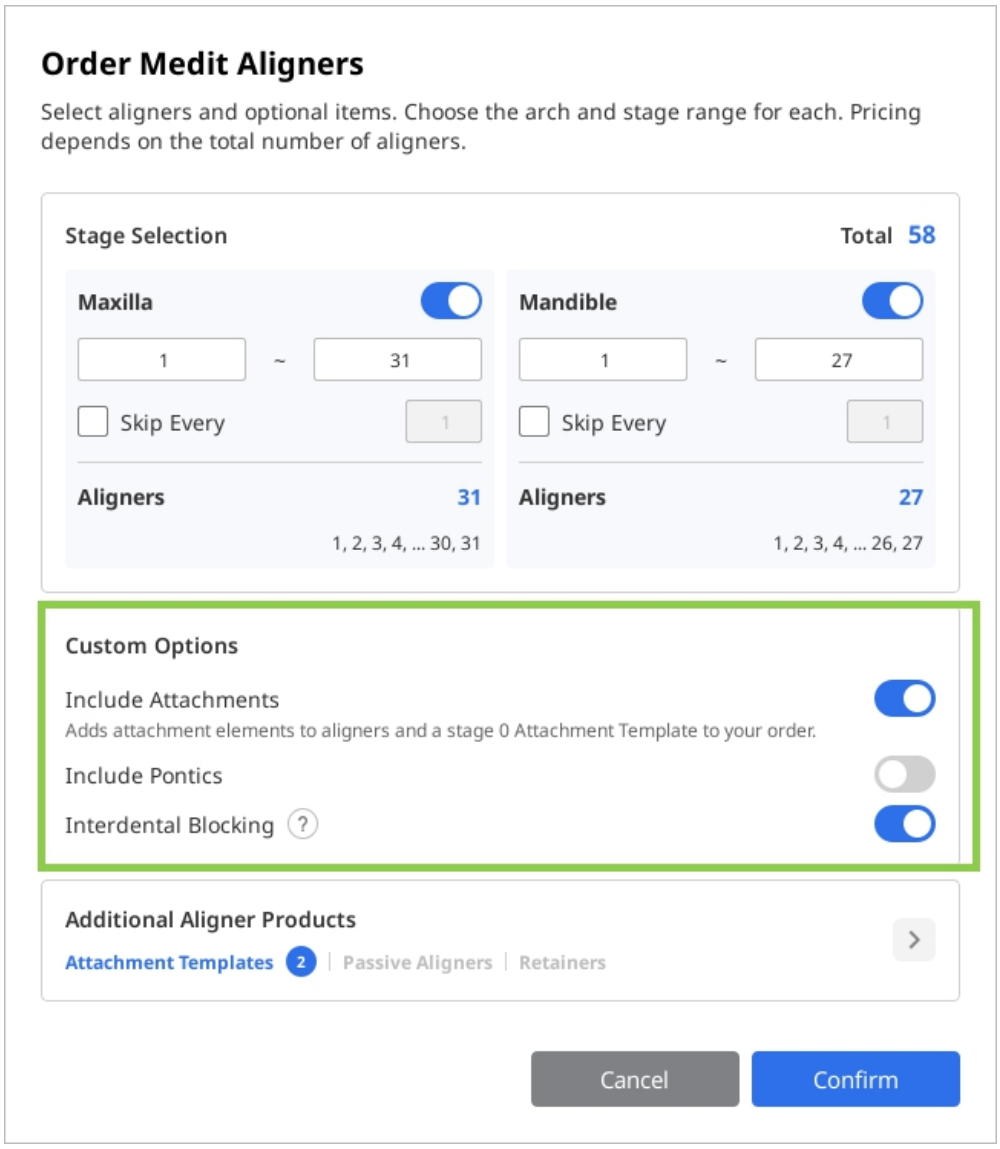
Medit Alignersを注文

このオプションを選択すると、承認された治療計画と工程に基づいてアライナーの製作を注文できます。

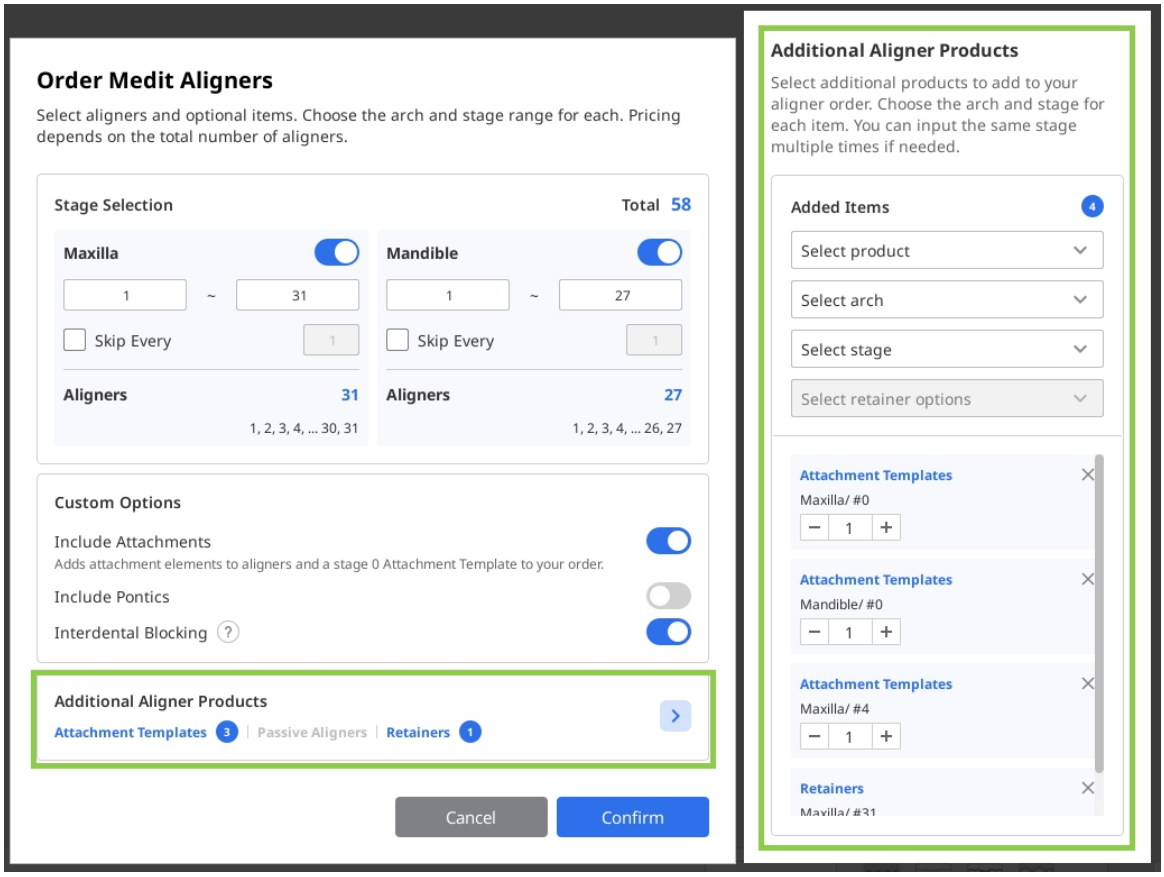
1. アライナーに必要な工程を選択して開始します。 このトグルを使用してそれぞれの歯列を有効または無効にできます。 注文に含める最初と最後の工程番号を入力します。 必要に応じて、┌スキップ間隔┘を有効にし、定期的な間隔でアライナーを製作するための間隔を入力します。 以下に表示されるアライナーの合計数を確認します。 料金はこの数によって決まります。



2. 次に、カスタムオプションを設定します。 アライナー製作時にポンティックやアタッチメントを含めるか除外するかを選択できます。

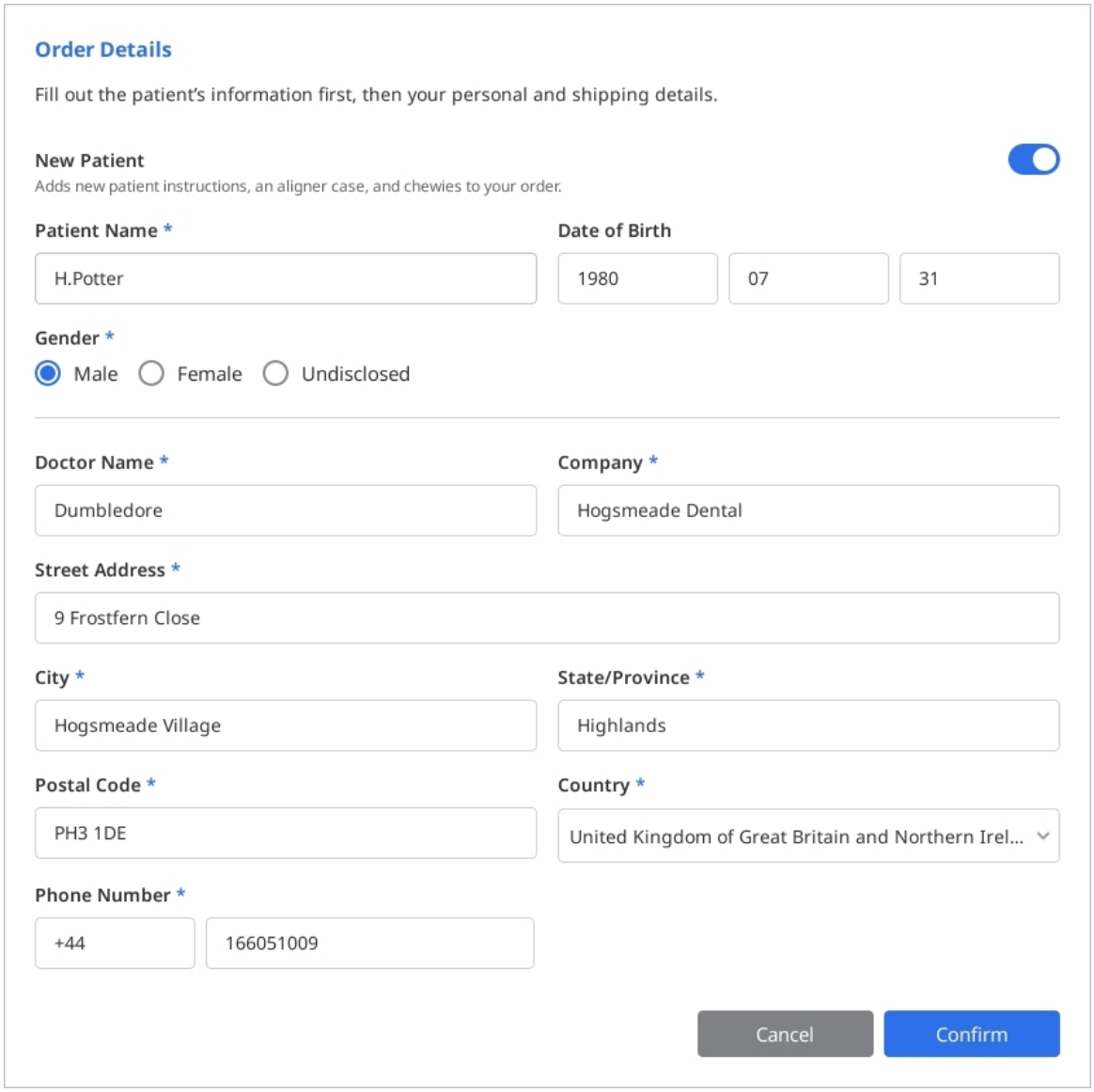


3. 追加のアライナー製品パネルを開き、追加したい製品、歯列弓、対象の工程を選択します。 追加された項目はすべて追加項目リストに表示され、必要に応じて削除することもできます。

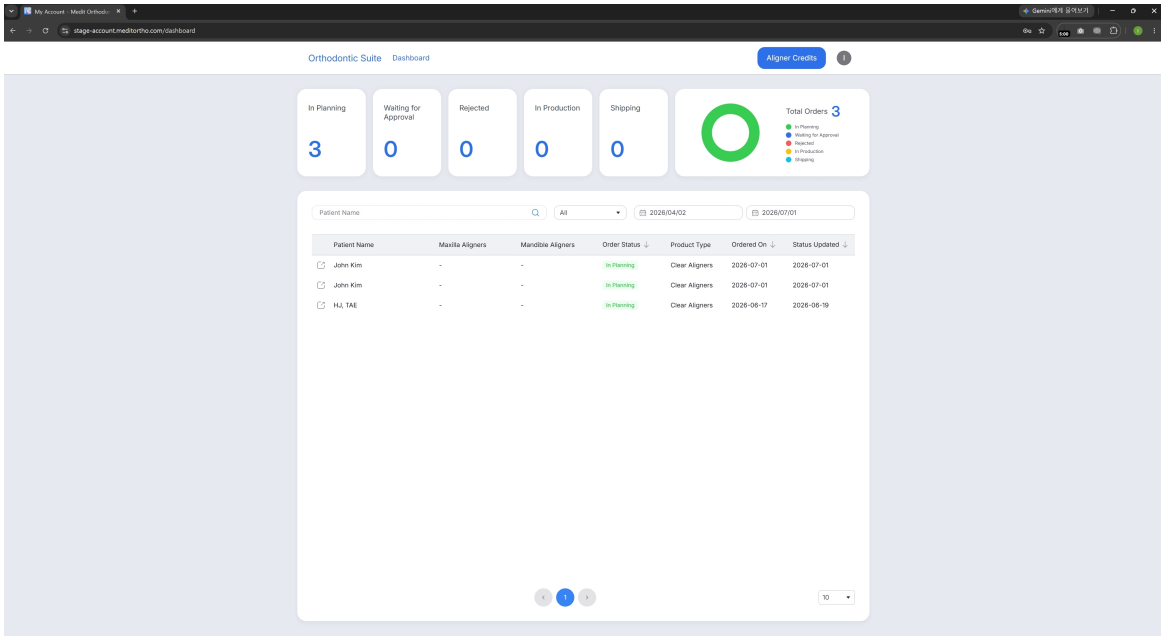


4. 選択項目を確認し、「確認」をクリックします。

5. 次のダイアログ画面で、注文するために必要な患者情報と医師情報を入力します。
これが新規患者の注文の場合には、アライナーケース、チューイー、指示書を注文に含めるために、対応するトグルを有効にします。



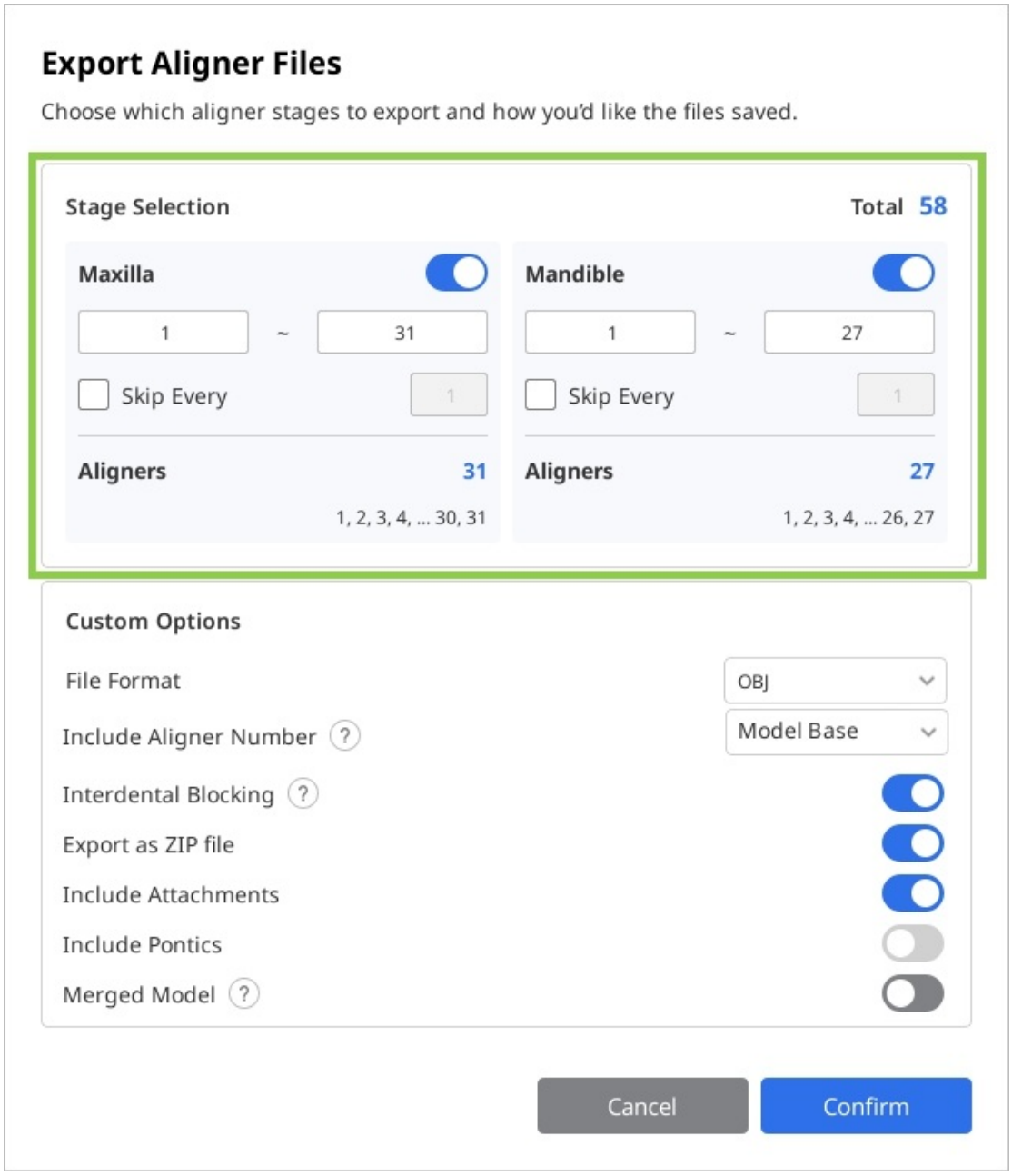
6. 注文が確定したら、注文ポータルから注文状況を追跡できます。 アプリのメニュー > 注文ポータル、または**https://www.meditortho.com**のMedit OrthoWebサイトでご利用いただけます。



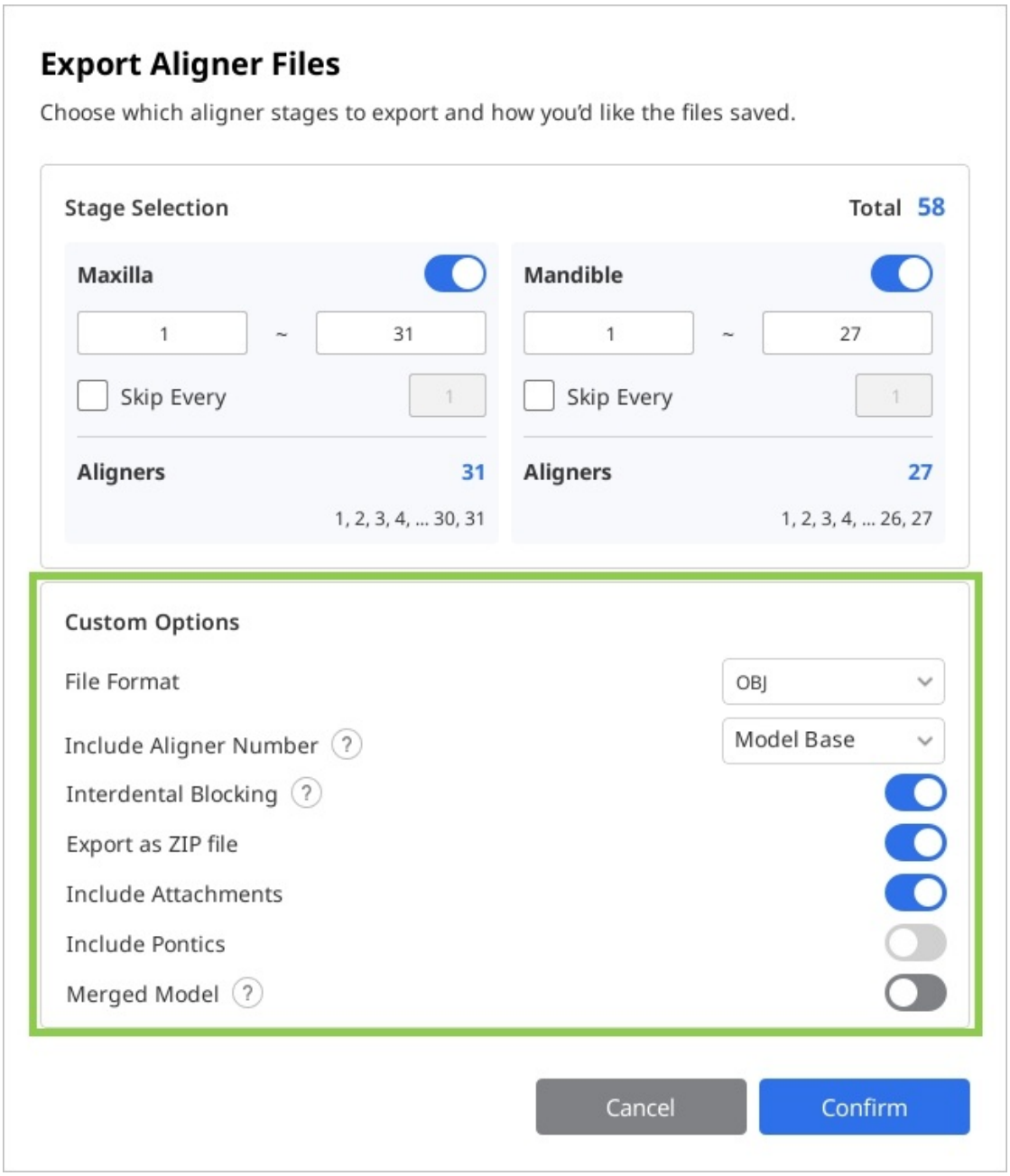
院内製作用にエクスポート

院内でのアライナー製作用にアライナーファイルをエクスポートするには、このオプションを選択します。

1. アライナーに必要な工程を選択して開始します。 このトグルを使用してそれぞれの歯列を有効または無効にできます。 エクスポートに含める最初と最後の工程番号を入力します。 必要に応じて、「スキップ間隔」を有効にし、定期的な間隔のアライナー用に間隔を入力します。 以下に表示されるアライナーの合計数を確認します。 料金はこの数によって決まります。



2. 次に、最終アライナーファイルのエクスポート設定を、必要に応じて調整します。



3. 選択項目を確認し、「確認」をクリックします。
4. 完了したら、エクスポートされたファイルはMedit Linkケースで利用できます。

Progressive Orthodontics USA
135 Columbia #101, Aliso Viejo
California 92656, United Sates

Developed by **Medit Corp.**

Contact for Product Support
Email: support@medit.com
Tel: +82-2-2193-9600

Powered by Document360